



三重県公報

平成31年3月18日（月）

号 外

目 次

(番号)	(題 名)	(担当)	(頁)
	条 例		
1	三重県林業研究所みえ森林・林業アカデミー受講手数料条例	(森林・林業経営課)	9
2	三重県立学校体育施設の使用料に関する条例	(教 育 委 員 会)	11
3	三重県犯罪被害者等支援条例	(くらし・交通安全課)	13
4	住民基本台帳法に基づく本人確認情報の利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例	(市 町 行 財 政 課)	17
5	三重県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	(健康づくり課)	19
6	三重県行政機関設置条例の一部を改正する条例	(総 務 課)	20
7	三重県立熊野古道センター条例の一部を改正する条例	(東紀州振興課)	21
8	三重県木曾岬干拓地わんぱく原っぱ条例の一部を改正する条例	(水資源・地域プロジェクト課)	23
9	三重県職員定数条例の一部を改正する条例	(総 務 課)	24
10	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	(人 事 課)	25
11	三重県安心こども基金条例の一部を改正する条例	(少子化対策課)	26
12	行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例の一部を改正する条例	(管 財 課)	27
13	三重県手数料条例の一部を改正する条例	(建 築 開 発 課)	29
14	審査請求に係る提出書類等の写し等の交付手数料条例の一部を改正する条例	(法 務 ・ 文 書 課)	46
15	三重県試験研究機関関係工業等に係る設備等使用料及び試験等手数料条例の一部を改正する条例	(ものづくり・イノベーション課)	47
16	三重県家畜保健衛生所手数料条例の一部を改正する条例	(畜 産 課)	60
17	三重県法定外公共用財産等使用料等徴収条例の一部を改正する条例	(公 共 用 地 課)	63
18	三重県道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	(道 路 管 理 課)	66
19	三重県河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例	(河 川 課)	67
20	三重県砂防設備占用料等徴収条例の一部を改正する条例	(防 災 砂 防 課)	70
21	三重県海岸占用料等徴収条例の一部を改正する条例	(港 湾 ・ 海 岸 課)	72
22	港湾区域内の水域又は公共空地に係る占用料等徴収条例の一部を改正する条例	(同)	74
23	三重県介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	(長 寿 介 護 課)	76
24	三重県身体障害者総合福祉センター条例の一部を改正する条例	(障 がい 福 祉 課)	78
25	三重県生活環境の保全に関する条例の一部を改正する条例	(大 気 ・ 水 環 境 課)	80
26	三重県環境学習情報センター条例の一部を改正する条例	(地球温暖化対策課)	82
27	大気汚染防止法第四条第一項の規定に基づく排出基準及び水質汚濁防止法第三条第三項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部を改正する条例	(大 気 ・ 水 環 境 課)	84
28	三重県人権センター条例の一部を改正する条例	(人 権 課)	86
29	みえ県民交流センター条例の一部を改正する条例	(ダイバーシティ社会推進課)	88
30	三重県地方卸売市場条例の一部を改正する条例	(農産物安全・流通課)	90
31	三重県漁港管理条例の一部を改正する条例	(水産基盤整備課)	92
32	三重県港湾施設管理条例の一部を改正する条例	(港 湾 ・ 海 岸 課)	96
33	三重県都市公園条例の一部を改正する条例	(都 市 政 策 課)	101
34	三重県流域下水道条例の一部を改正する条例	(下 水 道 課)	110

35	三重県営住宅条例の一部を改正する条例	(住 宅 政 策 課)	111
36	公立学校職員定数条例の一部を改正する条例	(教 育 委 員 会)	112
37	三重県総合博物館条例の一部を改正する条例	(同)	114
38	斎宮歴史博物館条例の一部を改正する条例	(同)	116
39	三重県立美術館条例の一部を改正する条例	(同)	118
40	三重県営鈴鹿スポーツガーデン条例の一部を改正する条例	(スポーツ推進課)	127
41	三重県営サンアリーナ条例の一部を改正する条例	(観 光 政 策 課)	134
42	三重県営松阪野球場条例の一部を改正する条例	(スポーツ推進課)	138
43	三重県営ライフル射撃場条例の一部を改正する条例	(同)	139
44	三重県立鈴鹿青少年センター条例の一部を改正する条例	(教 育 委 員 会)	140
45	三重県立熊野少年自然の家条例の一部を改正する条例	(同)	142
46	三重県立ゆめドームうえの条例の一部を改正する条例	(水資源・地域プロジェクト課)	144
47	三重県総合文化センター条例の一部を改正する条例	(文 化 振 興 課)	148
48	三重県病院事業条例の一部を改正する条例	(病 院 事 業 庁)	158
49	三重県水道供給条例の一部を改正する条例	(企 業 庁)	162
50	三重県工業用水道条例の一部を改正する条例	(同)	163
51	三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	(県 議 会)	164
52	三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	(同)	166
53	三重県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	(同)	167

公布された条例のあらまし

- ◎ **三重県林業研究所みえ森林・林業アカデミー受講手数料条例（条例第1号）**
 - 1 三重県林業研究所が林業の担い手となる人材の育成を目的として実施する事業の講座の受講手数料について、必要な事項を定めることとしました。
 - 2 この条例は、平成31年4月1日から施行することとしました。
- ◎ **三重県立学校体育施設の使用料に関する条例（条例第2号）**
 - 1 スポーツ基本法第13条の趣旨を踏まえ、県立学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で一般のスポーツ活動に使用する際の使用料に関し、行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例の特例として必要な事項を定めることとしました。
 - 2 この条例は、平成31年10月1日（一部公布の日）から施行することとしました。
- ◎ **三重県犯罪被害者等支援条例（条例第3号）**
 - 1 犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復又は軽減及び犯罪被害者等の生活の再建に対する支援を行うとともに、犯罪被害者等を支える社会の形成を促進するため、必要な事項を定めることとしました。
 - 2 この条例は、平成31年4月1日から施行することとしました。
- ◎ **住民基本台帳法に基づく本人確認情報の利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例（条例第4号）**
 - 1 住民の利便性の向上及び行政事務の効率化に資するため、本人確認情報を利用及び提供できる事務について改正することとしました。
 - 2 この条例は、平成31年4月1日から施行することとしました。
- ◎ **三重県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例（条例第5号）**
 - 1 地方自治法第252条の17の2第1項の規定に基づき、知事の権限に属する事務の一部を市町が処理することについて改正を行うこととしました。
 - 2 この条例は、平成31年4月1日から施行することとしました。
- ◎ **三重県行政機関設置条例の一部を改正する条例（条例第6号）**
 - 1 新たに児童相談所を設置することに伴い、行政機関の設置に係る規定の改正を行うこととしました。
 - 2 この条例は、平成31年4月1日から施行することとしました。
- ◎ **三重県立熊野古道センター条例の一部を改正する条例（条例第7号）**
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県立熊野古道センターの施設等の利用に係る料金の額を改定するとともに、新たに貸付対象とする場所の利用に係る料金の額について定めることとしました。
 - 2 この条例は、公布の日、平成31年10月1日及び平成32年4月1日から施行することとしました。
- ◎ **三重県木曽岬干拓地わんぱく原っぱ条例の一部を改正する条例（条例第8号）**
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県木曽岬干拓地わんぱく原っぱの施設の使用料の額を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成31年10月1日から施行することとしました。
- ◎ **三重県職員定数条例の一部を改正する条例（条例第9号）**
 - 1 平成31年度の職員定数の見直しに伴い、知事の事務部局等の職員の定数の改正を行うこととしました。
 - 2 この条例は、平成31年4月1日から施行することとしました。

◎ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（条例第 10 号）

- 1 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律による労働基準法の一部改正等に鑑み、規定を整備することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 4 月 1 日から施行することとしました。

◎ 三重県安心こども基金条例の一部を改正する条例（条例第 11 号）

- 1 三重県安心こども基金の設置の目的を達成するための一部の事業の実施期間の延長に鑑み、規定を整備することとしました。
- 2 この条例は、公布の日から施行することとしました。

◎ 行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例の一部を改正する条例（条例第 12 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、使用料の額についての規定を整備することとしました。
- 2 この条例は、公布の日から施行することとしました。

◎ 三重県手数料条例の一部を改正する条例（条例第 13 号）

- 1 建築基準法の一部改正等に鑑み、手数料についての規定を整備することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 4 月 1 日、同年 6 月 1 日及び建築基準法の一部を改正する法律の施行の日から施行することとしました。

◎ 審査請求に係る提出書類等の写し等の交付手数料条例の一部を改正する条例（条例第 14 号）

- 1 工業標準化法の一部改正に伴い、規定を整理することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 7 月 1 日から施行することとしました。

◎ 三重県試験研究機関関係工業等に係る設備等使用料及び試験等手数料条例の一部を改正する条例（条例第 15 号）

- 1 試験等に要する費用及び消費税法等の一部改正に鑑み、試験等の手数料の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。

◎ 三重県家畜保健衛生所手数料条例の一部を改正する条例（条例第 16 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、手数料の額を改定するとともに、家畜伝染病予防法施行規則の一部改正等に鑑み、規定を整備することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。

◎ 三重県法定外公共用財産等使用料等徴収条例の一部を改正する条例（条例第 17 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、道路使用料等の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。

◎ 三重県道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例（条例第 18 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑みた占用料の額の改定等を行うこととしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。

◎ 三重県河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例（条例第 19 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、流水占用料等の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。

◎ 三重県砂防設備占用料等徴収条例の一部を改正する条例（条例第 20 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、占用料及び土石等採取料の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。

- ◎ 三重県海岸占用料等徴収条例の一部を改正する条例（条例第 21 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、占用料及び土石採取料の額を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 港湾区域内の水域又は公共空地に係る占用料等徴収条例の一部を改正する条例（条例第 22 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、占用料及び土砂採取料の額を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 三重県介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（条例第 23 号）
 - 1 介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準の一部改正に鑑み、規定を整備することとしました。
 - 2 この条例は、公布の日から施行することとしました。
- ◎ 三重県身体障害者総合福祉センター条例の一部を改正する条例（条例第 24 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑みた三重県身体障害者総合福祉センターの施設の利用に係る料金の額の改定等を行うこととしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。
- ◎ 三重県生活環境の保全に関する条例の一部を改正する条例（条例第 25 号）
 - 1 土壤汚染対策法の一部改正に鑑み、土壤汚染対策に係る意見の聴取についての規定を整備することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 4 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。
- ◎ 三重県環境学習情報センター条例の一部を改正する条例（条例第 26 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県環境学習情報センターの施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。
- ◎ 大気汚染防止法第四条第一項の規定に基づく排出基準及び水質汚濁防止法第三条第三項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部を改正する条例（条例第 27 号）
 - 1 工業標準化法の一部改正に伴い、規定を整理することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 7 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 三重県人権センター条例の一部を改正する条例（条例第 28 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県人権センターの施設の利用に係る料金の額を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ みえ県民交流センター条例の一部を改正する条例（条例第 29 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、みえ県民交流センターの施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。
- ◎ 三重県地方卸売市場条例の一部を改正する条例（条例第 30 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、卸売金額等の算定に用いる率を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。

- ◎ 三重県漁港管理条例の一部を改正する条例（条例第 31 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、漁港施設利用料等の額を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 三重県港湾施設管理条例の一部を改正する条例（条例第 32 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、入港料及び港湾施設使用料の額を改定するとともに、納付期限の規定等を整備することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 三重県都市公園条例の一部を改正する条例（条例第 33 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、都市公園の施設等に係る使用料の額の改定等を行うこととしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。
- ◎ 三重県流域下水道条例の一部を改正する条例（条例第 34 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、下水道に関する普及啓発を目的とする施設の使用料の額を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 三重県営住宅条例の一部を改正する条例（条例第 35 号）
 - 1 住生活基本法第 6 条の趣旨を踏まえ、子どもを育成する世帯の優先入居の要件についての規定を整備することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 4 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 公立学校職員定数条例の一部を改正する条例（条例第 36 号）
 - 1 平成 31 年度における公立学校の児童生徒数の増減による教職員定数の変動等に伴い、公立学校職員の定数の改正を行うこととしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 4 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 三重県総合博物館条例の一部を改正する条例（条例第 37 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県総合博物館の施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 斎宮歴史博物館条例の一部を改正する条例（条例第 38 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、斎宮歴史博物館の施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 三重県立美術館条例の一部を改正する条例（条例第 39 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県立美術館の施設等の利用に係る料金の額を改定するとともに、指定管理者制度に係る利用料金制の導入に鑑み、規定を整備することとしました。
 - 2 この条例は、公布の日、平成 31 年 10 月 1 日及び平成 32 年 4 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 三重県営鈴鹿スポーツガーデン条例の一部を改正する条例（条例第 40 号）
 - 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県営鈴鹿スポーツガーデンの施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。

◎ 三重県営サンアリーナ条例の一部を改正する条例（条例第 41 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県営サンアリーナの施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。

◎ 三重県営松阪野球場条例の一部を改正する条例（条例第 42 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県営松阪野球場の施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。

◎ 三重県営ライフル射撃場条例の一部を改正する条例（条例第 43 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県営ライフル射撃場の施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。

◎ 三重県立鈴鹿青少年センター条例の一部を改正する条例（条例第 44 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県立鈴鹿青少年センターの施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。

◎ 三重県立熊野少年自然の家条例の一部を改正する条例（条例第 45 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県立熊野少年自然の家の施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。

◎ 三重県立ゆめドームうえの条例の一部を改正する条例（条例第 46 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県立ゆめドームうえのの施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。

◎ 三重県総合文化センター条例の一部を改正する条例（条例第 47 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、三重県総合文化センターの施設等の利用に係る料金の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日（一部公布の日）から施行することとしました。

◎ 三重県病院事業条例の一部を改正する条例（条例第 48 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、使用料及び手数料の額を改定するとともに、三重県立志摩病院の診療科目の名称を変更することとしました。
- 2 この条例は、公布の日、平成 31 年 4 月 1 日及び同年 10 月 1 日から施行することとしました。

◎ 三重県水道供給条例の一部を改正する条例（条例第 49 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、給水に係る料金の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。

◎ 三重県工業用水道条例の一部を改正する条例（条例第 50 号）

- 1 消費税法等の一部改正に鑑み、工業用水の料金の額を改定することとしました。
- 2 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行することとしました。

- ◎ 三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例（条例第 51 号）
- 1 一般職に属する職員の勤勉手当の支給割合の改正等を考慮し、三重県議会議員の期末手当の支給割合の改正を行うこととしました。
 - 2 この条例は、公布の日（一部平成 31 年 4 月 1 日）から施行することとしました。
- ◎ 三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例（条例第 52 号）
- 1 議会経費の削減のため、議員報酬を減ずることとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 4 月 1 日から施行することとしました。
- ◎ 三重県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例（条例第 53 号）
- 1 議会経費の削減のため、議会における会派に係る政務活動費の一部を減ずることとしました。
 - 2 この条例は、平成 31 年 4 月 1 日から施行することとしました。

条 例

三重県林業研究所みえ森林・林業アカデミー受講手数料条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第一号

三重県林業研究所みえ森林・林業アカデミー受講手数料条例

(趣旨)

第一条 この条例は、三重県林業研究所が林業の担い手となる人材の育成を目的として実施する事業（次条において「みえ森林・林業アカデミー」という。）の講座の受講手数料について、必要な事項を定めるものとする。

(講座の種類)

第二条 みえ森林・林業アカデミーに、次の講座を設ける。

- 一 ディレクター育成コース
- 二 マネージャー育成コース
- 三 プレーヤー育成コース
- 四 選択講座
- 五 市町職員講座
- 六 林業体験講座

(受講手数料の額)

第三条 前条各号（第五号及び第六号を除く。）に掲げる講座を受講しようとする者は、次の表の上欄に掲げる区分に応じ、同表の下欄に掲げる受講手数料を納付しなければならない。

区 分	金 額
ディレクター育成コース	一、五〇〇円に知事が別に定める受講日数を乗じて得た額
マネージャー育成コース	一、二五〇円に知事が別に定める受講日数を乗じて得た額
プレーヤー育成コース	一、〇〇〇円に知事が別に定める受講日数を乗じて得た額
選択講座	一、〇〇〇円に知事が別に定める受講日数を乗じて得た額

(受講手数料の納付時期)

第四条 受講手数料は、前納しなければならない。ただし、知事が必要があると認めるときは、この限りでない。

(受講手数料の不還付)

第五条 既に納付された受講手数料は、還付しない。ただし、災害その他やむを得ない事情があるときその他知事が必要があると認めるときは、この限りでない。

(他の条例との関係)

第六条 この条例に定めるもののほか、三重県公債権の徴収に関する条例（昭和二十九年三重県条例第十三号）に定める事項については、その定めるところによる。

(委任)

第七条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成三十一年四月一日から施行する。

三重県立学校体育施設の使用料に関する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第二号

三重県立学校体育施設の使用料に関する条例

(趣旨)

第一条 この条例は、スポーツ基本法（平成二十三年法律第七十八号）第十三条の趣旨を踏まえ、県立学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で一般のスポーツ活動に使用する際の使用料に関し、行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例（昭和三十九年三重県条例第十五号）の特例として必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第二条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 一 体育施設 三重県立高等学校及び三重県立特別支援学校の施設であつて、別表の上欄に掲げるものをいう。
- 二 一般のスポーツ活動 学校教育以外で行われるスポーツ活動であつて、個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動をいう。

(使用の許可)

第三条 一般のスポーツ活動のために体育施設を使用しようとする者は、三重県教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用料)

第四条 前条の許可を受け体育施設を使用した者は、知事が指定する日までに、次の各号に掲げる金額を納付しなければならない。

- 一 別表の上欄に掲げる体育施設ごとに、同表の下欄に掲げる金額に前条の許可を受けた時間を乗じて得た額
- 二 照明設備を使用した場合における実費を基準として知事が定める額

(他の条例との関係)

第五条 この条例に定めるもののほか、三重県公債権の徴収に関する条例（昭和三十九年三重県条例第十三号）に定める事項については、その定めるところによる。

(委任)

第六条 この条例に定めるもののほか、体育施設の使用に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 第三条の規定による許可の申請及びそれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

別表（第二条、第四条関係）

体 育 施 設	単 位	金 額
---------	-----	-----

運動場	10,000平方メートル未満1時間につき	1100円
	10,000平方メートル以上1時間につき	1600円
テニスコート	1面1時間につき	1100円
体育館	600平方メートル未満1時間につき	1100円
	600平方メートル以上1時間につき	1600円
トレーニング場	全面1時間につき	1000円
武道場	半面1時間につき	1000円
	全面1時間につき	1100円
弓道場	全面1時間につき	1000円
レスリング場	全面1時間につき	1000円
卓球場	全面1時間につき	1000円
体操場	全面1時間につき	1100円
ウエイトリフティング場	全面1時間につき	1000円
フェンシング場	全面1時間につき	1000円
ボクシング場	全面1時間につき	1000円

備考

- 一 1時間に満たない時間は、1時間とする。
- 二 体育施設の設備（照明設備を除く。）又は備品の使用に係る使用料については、無料とする。

三重県犯罪被害者等支援条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第三号

三重県犯罪被害者等支援条例

目次

第一章 総則（第一条―第七条）

第二章 推進体制の整備（第八条―第十四条）

第三章 基本的施策（第十五条―第二十四条）

附則

第一章 総則

（目的）

第一条 この条例は、犯罪被害者等に対する支援（以下「犯罪被害者等支援」という。）に関し、基本理念を定め、並びに県、県民、事業者及び民間支援団体の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者等支援の基本となる事項を定めることにより、犯罪被害者等支援を総合的かつ計画的に推進し、もって犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復又は軽減及び犯罪被害者等の生活の再建に対する支援を行うとともに、犯罪被害者等を支える社会の形成を促進することを目的とする。

（定義）

第二条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

一 犯罪等 犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為をいう。

二 犯罪被害者等 犯罪等により害を被った者及びその家族又は遺族をいう。

三 再被害 犯罪被害者等が当該犯罪等の加害者から再び危害を加えられることをいう。

四 二次被害 犯罪等による直接的な被害を受けた後に、周囲の偏見や心無い言動、プライバシーの侵害、インターネットを通じて行われる誹謗中傷、報道機関等による過剰な取材等により犯罪被害者等が受ける精神的な苦痛、身体の不調、経済的な損失等の被害をいう。

五 民間支援団体 犯罪被害者等支援を行うことを主たる目的とする民間の団体をいう。

（基本理念）

第三条 犯罪被害者等支援は、犯罪被害者等が個人としての尊厳を重んぜられるとともに、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利が尊重されるよう、犯罪被害者等の立場に立って適切に推進されなければならない。

2 犯罪被害者等支援は、犯罪被害者等が受けた被害又は二次被害の状況及び原因、犯罪被害者等の置かれている生活環境その他犯罪被害者等の事情に応じて適切に推進されなければならない。

- 3 犯罪被害者等支援は、犯罪被害者等の心身の状況の変化に応じた必要な支援が途切れることなく提供されることを旨として推進されなければならない。

（県の責務）

第四条 県は、前条に定める基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、国及び市町との適切な役割分担を踏まえて、犯罪被害者等支援に関する施策（以下「犯罪被害者等支援施策」という。）を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

- 2 県は、犯罪被害者等支援施策の策定及び実施に当たっては、国、市町等関係機関及び民間支援団体その他犯罪被害者等支援に関係する者と相互に連携を図るものとする。

（県民の責務）

第五条 県民は、基本理念にのっとり、犯罪被害者等の置かれている状況及び犯罪被害者等支援の必要性について理解を深め、二次被害が生じることのないよう十分配慮するとともに、県が実施する犯罪被害者等支援施策に協力するよう努めるものとする。

（事業者の責務）

第六条 事業者は、基本理念にのっとり、犯罪被害者等の置かれている状況及び犯罪被害者等支援の必要性について理解を深め、その事業活動を行うに当たっては、二次被害が生じることのないよう十分配慮するとともに、県が実施する犯罪被害者等支援施策に協力するよう努めるものとする。

- 2 事業者は、犯罪被害者等である従業員の就労の支援及び勤務に十分配慮するとともに、必要な支援を行うよう努めるものとする。

（民間支援団体の責務）

第七条 民間支援団体は、基本理念にのっとり、犯罪被害者等支援に関する知識及び経験を活用し、犯罪被害者等を支援するとともに、県が実施する犯罪被害者等支援施策に協力するよう努めるものとする。

第二章 推進体制の整備

（総合的な支援体制の整備）

第八条 県は、国、市町等関係機関及び民間支援団体その他犯罪被害者等支援に関係する者と連携し、犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復又は軽減及び犯罪被害者等の生活の再建に対する支援を行うとともに、必要な犯罪被害者等支援施策を推進するための総合的な支援体制の整備に努めるものとする。この場合において、県は、再被害及び二次被害の防止並びに犯罪被害者等が受けた被害の潜在化の防止について留意するものとする。

- 2 県は、前項の総合的な支援体制の整備に当たっては、それぞれの犯罪等による被害の状況を踏まえ、犯罪被害者等が犯罪被害者等支援に関係する行政機関及び民間支援団体その他犯罪被害者等支援に関係する者のいずれに支援を求めた場合であっても、必要な支援を途切れることなく受けることができるよう、必要な措置を講ずるものとする。

（推進計画）

第九条 県は、犯罪被害者等支援施策を総合的かつ計画的に推進するため、犯罪被害者等支援に関する計画（以下この条において「推進計画」という。）を定めるものとする。

- 2 推進計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

1 犯罪被害者等支援に関する基本方針

二 犯罪被害者等支援に関する具体的施策

三 前二号に掲げるもののほか、犯罪被害者等支援施策を推進するために必要な事項

3 県は、推進計画を定めるに当たっては、あらかじめ、県民の意見を反映するために必要な措置を講ずるものとする。

4 県は、推進計画を定めたときは、遅滞なく、これを公表するものとする。

5 前二項の規定は、推進計画の変更について準用する。

6 県は、推進計画に基づく施策の実施状況について公表するものとする。

(支援従事者の育成)

第十条 県は、犯罪被害者等が必要な支援を受けることができるよう、県及び市町の職員その他犯罪被害者等支援に従事する者（以下「支援従事者」という。）に対し、犯罪被害者等支援に関する研修の実施その他の必要な施策を講ずるものとする。

2 県は、支援従事者に対し、自らの配慮に欠けた言動により、犯罪被害者等に対し二次被害を与えることがないように、犯罪被害者等支援に関する研修の実施その他の必要な施策を講ずるものとする。

(支援従事者に対する支援)

第十一条 県は、支援従事者が犯罪被害者等支援を行う過程において犯罪被害者等と同様の心理的外傷を受けることを防止するため、支援従事者に対する研修の実施その他の必要な施策を講ずるものとする。

(民間支援団体に対する支援)

第十二条 県は、民間支援団体の活動の促進を図るため、犯罪被害者等支援に関する情報の提供及び助言その他の必要な施策を講ずるものとする。

(市町に対する支援等)

第十三条 県は、市町が相談体制の充実その他の犯罪被害者等支援施策を実施するに当たっては、情報の提供及び助言その他の必要な支援を行うものとする。

2 市町は、地域の状況に応じ、犯罪被害者等支援において、県と相互に連携し、協力するものとする。

(財政上の措置)

第十四条 県は、犯罪被害者等支援施策を推進するために必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

第三章 基本的施策

(相談及び情報の提供)

第十五条 県は、犯罪被害者等が早期に日常生活及び社会生活を営むことができるようにするため、犯罪被害者等が直面している各般の問題について相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行い、専門的知識又は技能を有する者を紹介する等必要な施策を講ずるものとする。

(経済的負担の軽減)

第十六条 県は、犯罪被害者等が受けた被害による経済的負担の軽減を図るため、経済的な助成に関する情報の提供及び助言その他の必要な施策を講ずるものとする。

(保健医療サービス及び福祉サービスの提供)

第十七条 県は、犯罪被害者等が犯罪等による心理的外傷その他の心身に受けた影響から回復できるようにするため、その心身の状況等に応じた適切な保健医療サービス及び福祉サービスが提供されるよう必要な施策を講ずるものとする。

（損害賠償請求に関する支援）

第十八条 県は、犯罪被害者等の状況を踏まえ、犯罪被害者等が行う損害賠償請求に関し、情報の提供及び助言その他の必要な施策を講ずるものとする。

（安全の確保）

第十九条 県は、再被害及び二次被害を防止し、その安全を確保するため、一時保護、施設への入所による保護、防犯に係る指導及び助言、犯罪被害者等に係る個人情報等の適切な取扱いの確保その他の必要な施策を講ずるものとする。

（居住の安定）

第二十条 県は、犯罪等により従前の住居に居住することが困難となった犯罪被害者等の生活の安定を図り、又は再被害及び二次被害を防止するため、県営住宅への優先的な入居その他の必要な施策を講ずるものとする。

（雇用の安定）

第二十一条 県は、犯罪被害者等の雇用の安定を図るため、犯罪被害者等の就労に対する支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

- 2 県は、事業者が犯罪被害者等の置かれている状況及び犯罪被害者等支援の必要性について理解を深めるとともに、犯罪被害者等を支えるための職場環境の整備及び改善並びに二次被害の防止に向けた取組その他犯罪被害者等支援を促進できるよう、情報の提供その他の必要な施策を講ずるものとする。

（県民の理解の促進）

第二十二条 県は、犯罪被害者等の置かれている状況及び犯罪被害者等支援の必要性について県民の理解を深めるとともに、二次被害を防止し、犯罪被害者等を地域社会で孤立させることのないよう、犯罪被害を考える週間を設け、啓発を図るとともに情報の提供、教育の充実その他の必要な施策を講ずるものとする。

- 2 犯罪被害を考える週間は、十一月二十五日から十二月一日までとする。

（学校における教育の促進）

第二十三条 県は、学校の設置者等と連携し、学校において児童、生徒等に対して犯罪被害者等の置かれている状況及び犯罪被害者等支援の必要性について理解を深めるとともに、二次被害を防止するための教育その他の必要な施策を講ずるものとする。

（個人情報の適切な管理）

第二十四条 県は、個人情報の重要性を認識し、犯罪被害者等及び関係者の個人情報を適切に管理しなければならない。支援従事者が個人情報を取り扱う場合も同様とする。

附 則

この条例は、平成三十一年四月一日から施行する。

住民基本台帳法に基づく本人確認情報の利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第四号

住民基本台帳法に基づく本人確認情報の利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例

住民基本台帳法に基づく本人確認情報の利用及び提供に関する条例（平成二十二年三重県条例第五十八号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後		改 正 前	
別表第二（第四条関係）		別表第二（第四条関係）	
一 ～ 八 （略）		一 ～ 八 （略）	
九 三重県心身障害者扶養共済条例（昭和四十五年三重県条例第十号）に基づく年金の加入及び支給に関する事務であつて規則で定めるもの		九 三重県心身障害者扶養共済条例（昭和四十五年三重県条例第十号） <u>第二十一条第五項の規定による届出に関する事務であつて規則で定めるもの</u>	
十 三重県保健師助産師看護師等修学資金貸与規則（昭和三十七年三重県規則第八十九号の二）に基づく修学資金の貸与に係る債権の管理に関する事務であつて規則で定めるもの			
十一 三重県医師修学資金貸与規則（平成十六年三重県規則第十一号）に基づく修学資金の貸与に係る債権の管理に関する事務であつて規則で定めるもの			
別表第三（第五条関係）		別表第三（第五条関係）	
知事以外 の執行機関	事 務	知事以外 の執行機関	事 務
教育委員会	一 三重県高等学校等修学奨学金の貸与に関する規則（平成十四年三重県教育委員会規則第十六号）に基づく修学奨学金の貸与に係る債権の回収に関する事務であつて規則で定め	教育委員会	三重県高等学校等修学奨学金の貸与に関する規則（平成十四年三重県教育委員会規則第十六号）に基づく修学奨学金の貸与に係る債権の回収に関する事務であつて規則で定めるもの

会	公安委員会	道路交通法（昭和三十一年法律第百五号）第五十一条の四の規定による放置違反金等の徴収に関する事務であつて規則で定めるもの
	監査委員	（略）
		<p>るもの</p> <p>二 三重県高等学校等進学奨励金の貸与に関する規則を廃止する規則（平成十四年三重県教育委員会規則第十五号）による廃止前の三重県高等学校等進学奨励金の貸与に関する規則（昭和五十七年三重県教育委員会規則第十八号）に基づく進学奨励金の貸与に係る債権の回収に関する事務であつて規則で定めるもの</p> <p>三 三重県大学等進学資金貸付けに関する規則を廃止する規則（平成十四年三重県教育委員会規則第十七号）による廃止前の三重県大学等進学資金貸付けに関する規則（平成七年三重県教育委員会規則第十二号）に基づく進学資金の貸付けに係る債権の回収に関する事務であつて規則で定めるもの</p>
	監査委員	（略）

附 則

この条例は、平成三十一年四月一日から施行する。

三重県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第五号

三重県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例

三重県の事務処理の特例に関する条例（平成十二年三重県条例第二号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後		改 正 前	
別表第二（第二条関係）		別表第二（第二条関係）	
一〜四の二（略）	（略）	一〜四の二（略）	（略）
四の三 社会保険診療報酬 支払基金法（昭和二十三 年法律第百二十九号）第 十五条第三項の規定によ る特定疾患治療研究事 業、 <u>肝炎治療特別促進事 業及び肝がん・重度肝硬 変治療研究促進事業の医 療に関する給付に係る書 類の提出の受理及び知事 への送付</u>	四日市市	四の三 社会保険診療報酬 支払基金法（昭和二十三 年法律第百二十九号）第 十五条第三項の規定によ る特定疾患治療研究事業 及び <u>肝炎治療特別促進事 業の医療に関する給付に 係る書類の提出の受理及 び知事への送付</u>	四日市市
四の四〜三十六（略）	（略）	四の四〜三十六（略）	（略）

附 則

この条例は、平成三十一年四月一日から施行する。

三重県行政機関設置条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第六号

三重県行政機関設置条例の一部を改正する条例

三重県行政機関設置条例（平成十七年三重県条例第九十四号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後			改 正 前		
（児童相談所）			（児童相談所）		
第八条（略）			第八条（略）		
2 児童相談所の名称、位置及び所管区域は、次のとおりとする。			2 児童相談所の名称、位置及び所管区域は、次のとおりとする。		
名 称	位 置	所 管 区 域	名 称	位 置	所 管 区 域
三重県北勢児童相談所	四日市市	四日市市、桑名市、いなべ市、桑名郡、員弁郡及び三重郡	三重県北勢児童相談所	四日市市	四日市市、桑名市、 鈴鹿市、亀山市、 いなべ市、桑名郡、 員弁郡及び三重郡
三重県鈴鹿児童相談所	鈴鹿市	鈴鹿市及び亀山市			
（略）	（略）	（略）	（略）	（略）	（略）

附 則

- この条例は、平成三十一年四月一日から施行する。
- この条例の施行の際、改正前の三重県行政機関設置条例に規定する行政機関の長（以下この項において「旧行政機関の長」という。）がした処分その他の手続又は旧行政機関の長に対してなされた申請その他の手続は、旧行政機関の長に相当する改正後の三重県行政機関設置条例に規定する行政機関の長がした処分その他の手続又は当該行政機関の長に対してなされた申請その他の手続とみなす。

三重県立熊野古道センター条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第七号

三重県立熊野古道センター条例の一部を改正する条例

三重県立熊野古道センター条例（平成十八年三重県条例第四号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後										改 正 前																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表（第十一条、第十八条関係）										別表（第十一条、第十八条関係）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
区 分			利 用 料 金			非常設 展示室			映像ホ ール			会議室			和 室			区 分			利 用 料 金			非常設 展示室			映像ホ ール			会議室			和 室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
午前九 時から 正午ま で			午後一 時から 午後五 時まで			午後六 時から 午後十 時まで			四、三 七〇円			五、八 三〇円			五、八 三〇円			四、三 〇〇円			五、七 三〇円			五、七 三〇円			四、一 六〇円			八、二 〇〇円			八、二 〇〇円			九、二 三〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一 二〇円			三、一		

備考 (略)	大ホール	体験学 習室	徴収する 場合	〇〇円	七〇円	七〇円
			入場料を 徴収しな い場合	二、〇	二、七	二、七
				三〇円	一〇円	一〇円
		入場料を 徴収する 場合	三、〇	四、〇	四、〇	
			五〇円	八〇円	八〇円	
	小ホール	体験学 習室	入場料を 徴収しな い場合	五、六	七、五	八、八
			入場料を 徴収する 場合	九〇円	九〇円	五〇円
			入場料を 徴収する 場合	八、五	一一、	一二、
			三〇円	三八〇 円	六四〇 円	
備考 (略)	大ホール	体験学 習室	徴収する 場合	一〇円	五〇円	五〇円
			入場料を 徴収しな い場合	二、〇	二、六	二、六
				〇〇円	七〇円	七〇円
		入場料を 徴収する 場合	三、〇	四、〇	四、〇	
			〇〇円	一〇円	一〇円	
	小ホール	体験学 習室	入場料を 徴収しな い場合	三、〇	四、〇	四、〇
			入場料を 徴収する 場合	〇〇円	一〇円	一〇円

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。
 - 一 次項及び附則第三項の規定 公布の日
 - 二 別表の改正規定（別表体験学習室の項の次に二項を加える改正規定を除く。） 平成三十一年十月一日
 - 三 別表体験学習室の項の次に二項を加える改正規定 平成三十二年四月一日（準備行為）
- 2 前項第二号に掲げる規定の施行の日前において、三重県立熊野古道センター条例第三条第一項に規定する指定管理者から同条例第十八条第二項の規定により利用料金の承認の申請があつた場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、前項第二号に掲げる規定による改正後の三重県立熊野古道センター条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。
- 3 三重県立熊野古道センター条例第三条第一項の規定による指定及びそれに関し必要な手続その他の行為は、附則第一項第三号に掲げる規定の施行の日前においても同号に掲げる規定による改正後の三重県立熊野古道センター条例の規定の例により行うことができる。

三重県木曽岬干拓地わんぱく原っぱ条例の一部を改正する条例をここに
公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第八号

三重県木曽岬干拓地わんぱく原っぱ条例の一部を改正する条例

三重県木曽岬干拓地わんぱく原っぱ条例（平成二十五年三重県条例第七号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改

正

後

（使用料）

第六条 前条第一項の許可（同項第二号に係る許可を除く。）を受けた者は、次の表に定める額の使用料を当該許可を受けた際納付しなければならない。

区 分	単 位	金 額
（略）	（略）	（略）
業として写真、映画等を撮影する場合（他の利用者の利用を妨げるものに限る。）	日額一台	一、三二〇円
（略）	（略）	（略）

2 （略）

改

正

前

（使用料）

第六条 前条第一項の許可（同項第二号に係る許可を除く。）を受けた者は、次の表に定める額の使用料を当該許可を受けた際納付しなければならない。

区 分	単 位	金 額
（略）	（略）	（略）
業として写真、映画等を撮影する場合（他の利用者の利用を妨げるものに限る。）	日額一台	一、二九〇円
（略）	（略）	（略）

2 （略）

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前に三重県木曽岬干拓地わんぱく原っぱ条例第五条第一項に規定する使用の許可を受けたものについては、なお従前の例による。

三重県職員定数条例の一部を改正する条例をここに公布します。
平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第九号

三重県職員定数条例の一部を改正する条例

三重県職員定数条例（昭和二十四年三重県条例第二十五号）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>（職員の定数）</p> <p>第二条 職員の定数は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>一 知事の事務部局の職員 四、三三〇人</p> <p>二 （略）</p> <p>三 教育委員会の事務部局及び学校以外の教育機関の職員 二六一人</p> <p>四～十 （略）</p>	<p>（職員の定数）</p> <p>第二条 職員の定数は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>一 知事の事務部局の職員 四、三三五人</p> <p>二 （略）</p> <p>三 教育委員会の事務部局及び学校以外の教育機関の職員 二七六人</p> <p>四～十 （略）</p>

附 則

この条例は、平成三十一年四月一日から施行する。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第十号

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成七年三重県条例第一号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後		改 正 前	
（正規の勤務時間以外の時間における勤務） 第八条（略） 2（略） 3	前項に規定するもののほか、同項に規定する正規の勤務時間以外の時間における勤務に関し必要な事項は、人事委員会規則で定める。	（正規の勤務時間以外の時間における勤務） 第八条（略） 2（略）	

附 則

この条例は、平成三十一年四月一日から施行する。

三重県安心こども基金条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第十一号

三重県安心こども基金条例の一部を改正する条例

三重県安心こども基金条例（平成二十一年三重県条例第四号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>附 則</p> <p>1 (略)</p> <p>(条例の効力)</p> <p>2 この条例は、平成三十三年三月三十一日限り、その効力を失う。この場合において、基金に残余財産があるときは、当該残余財産の額に相当する金額を予算に計上して、国庫に納付するものとする。</p> <p>(経過措置)</p> <p>3 前項前段に規定する期限までに実施された基金の設置の目的を達成するための事業に係る精算については、この条例の規定は、平成三十三年六月三十日（同日までに当該精算が完了した場合にあつては、当該精算が完了した日）までの間は、なおその効力を有する。</p>	<p>附 則</p> <p>1 (略)</p> <p>(条例の効力)</p> <p>2 この条例は、平成三十一年三月三十一日限り、その効力を失う。この場合において、基金に残余財産があるときは、当該残余財産の額に相当する金額を予算に計上して、国庫に納付するものとする。</p> <p>(経過措置)</p> <p>3 前項前段に規定する期限までに実施された基金の設置の目的を達成するための事業に係る精算については、この条例の規定は、平成三十一年六月三十日（同日までに当該精算が完了した場合にあつては、当該精算が完了した日）までの間は、なおその効力を有する。</p>

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第十二号

行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例の一部を改正する条例

行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例（昭和三十九年三重県条例第十五号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>（使用料の額）</p> <p>第二条 使用料の額は、次の各号に定める算式により計算して得た額（その額が百円未満の場合には、百円）とする。</p> <p>一 土地の使用料の算式</p> <p>イ 使用許可日数が一月未満のもの</p> <p>使用する土地の1平方メートル当たりの価格 $\times \frac{4}{100} \times$ 使用許可面積 \times</p> $\frac{\text{使用許可日数}}{365} \times \frac{110}{100}$ <p>ロ （略）</p> <p>11 建物の使用料の算式</p> <p>（使用する建物の1平方メートル当たりの価格 $\times \frac{8}{100} \times$ 使用許可面積 $+$ 当該建物の建て面積に係る土地の年額使用料に相当する額 \times</p> $\frac{\text{当該建物のうち使用許可面積}}{\text{当該建物の延べ面積}} \times \frac{\text{使用許可日数}}{365} \times$ $\frac{110}{100}$ <p>2 （略）</p>	<p>（使用料の額）</p> <p>第二条 使用料の額は、次の各号に定める算式により計算して得た額（その額が百円未満の場合には、百円）とする。</p> <p>一 土地の使用料の算式</p> <p>イ 使用許可日数が一月未満のもの</p> <p>使用する土地の1平方メートル当たりの価格 $\times \frac{4}{100} \times$ 使用許可面積 \times</p> $\frac{\text{使用許可日数}}{365} \times \frac{108}{100}$ <p>ロ （略）</p> <p>11 建物の使用料の算式</p> <p>（使用する建物の1平方メートル当たりの価格 $\times \frac{8}{100} \times$ 使用許可面積 $+$ 当該建物の建て面積に係る土地の年額使用料に相当する額 \times</p> $\frac{\text{当該建物のうち使用許可面積}}{\text{当該建物の延べ面積}} \times \frac{\text{使用許可日数}}{365} \times$ $\frac{108}{100}$ <p>2 （略）</p>

附 則

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 改正後の第二条第一項の規定は、平成三十一年十月一日以後の期間に係る使用料の額

の計算について適用し、同日前の期間に係る使用料の額の計算については、なお従前の例による。

- 3 この条例の施行の日前に地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百二十八条の四第七項の規定による許可を受けたものについては、なお従前の例による。

三重県手数料条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第十三号

三重県手数料条例の一部を改正する条例

三重県手数料条例（平成十二年三重県条例第四号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
別表第一（第二条関係）				別表第一（第二条関係）			
項	手数料を徴収する事務	手数料の名称	手数料の金額	項	手数料を徴収する事務	手数料の名称	手数料の金額
一	土地収用法（昭和二十六年法律第二百十九号）第十五条の二第一項の規定によるあつせんの申請に対する審査（国の法令の規定により国の行政機関とみなされるものを含む。）又は都道府県（法令の規定により都道府県とみなされるものを含む。）に係るものを除く。以下この項から七の三の項までの	土地収用等あつせん申請手数料	九万三千円（同一の起業者が行う同一の事業に関し、土地収用法第二条又は第五条から第七条までの規定のうちいずれか二以上の規定による収用又は使用するため、事業の認定の申請、裁決の申請若しくは協議の確認の申請を一の	一	土地収用法（昭和二十六年法律第二百十九号）第十五条の二第一項の規定によるあつせんの申請に対する審査（国の法令の規定により国の行政機関とみなされるものを含む。）又は都道府県（法令の規定により都道府県とみなされるものを含む。）に係るものを除く。以下この項から七の三の項までの	土地収用等あつせん申請手数料	九万三千円（同一の起業者が行う同一の事業に関し、土地収用法第二条又は第五条から第七条までの規定のうちいずれか二以上の規定による収用又は使用するため、事業の認定の申請、裁決の申請若しくは協議の確認の申請を一の

二七の	一七二の	（略）	おいて同
	所有者不明	（略）	
	土地の利用増進事業		
	の円滑化等裁定申請 に関する特手数料		
別措置法（平成三十 年法律第四十九号） 第十条第一項の規定 による権利の取得又 は同法第十九条第一 項の規定による権利 の存続期間の延長 の裁定の申			じ。）
二七二の	一七二の	（略）	て同じ。）
		（略）	
		（略）	
		（略）	
二七二の	一七二の	（略）	申請によ
	所有者不明	（略）	つて行
	土地の利用増進事業		う場合
	の円滑化等裁定申請 に関する特手数料		又は同
別措置法（平成三十 年法律第四十九号） 第十条第一項の規定 による権利の取得又 は同法第十九条第一 項の規定による権利 の存続期間の延長 の裁定の申			法第九

請に対する	審査	
(一) 損失の補償金の見積額が十万円以下の場合		二万七千円
(二) 損失の補償金の見積額が十万円を超え百万円以下の場合		二万七千円に損失の補償金の見積額の十万円を超える部分が五万円に達すること
(三) 損失の補償金の見積額が百万円を超え五百万円以下の場合		七万五千円に損失の補償金の見積額の百円を超える部分が十万円に達すること
(四) 損失の補償金の見積額が五百万円を超え二千万円以下の場合		二十一万六千六百円に損失の補償金の見積額の五百万円を超える部分が百

[illegible]

の 九 十 一 ・ 四 の 十	四 十 の 一 の 十	七 一 の 十 の 六 十 九 条 の 七 第 二 項 の 規 定 に 基 づ く 介 護 支 援 専 門 員 再 研 修 の 実 施	四 十 の 一 の 十 の 六 十 九 条 の 二 第 一 項 の 規 定 に 基 づ く 介 護 支 援 専 門 員 実 務 研 修 の 実 施	三 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 実 務 研 修 事 務 手 数 料	四 十 の 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 実 務 研 修 事 務 手 数 料	二 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 実 務 研 修 事 務 手 数 料	一 四 十 の 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 実 務 研 修 事 務 手 数 料	四 十 の 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 実 務 研 修 事 務 手 数 料	九 千 円
の 九 十 一 ・ 四 の 十	四 十 の 一 の 十	七 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 再 研 修 事 務 手 数 料	四 十 の 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 実 務 研 修 事 務 手 数 料	三 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 実 務 研 修 事 務 手 数 料	四 十 の 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 実 務 研 修 事 務 手 数 料	二 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 実 務 研 修 事 務 手 数 料	一 四 十 の 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 実 務 研 修 事 務 手 数 料	四 十 の 一 の 十 の 六 十 九 条 専 門 員 実 務 研 修 事 務 手 数 料	七 千 円

三十九百	二八〇三三の四十一	四十一の十一	四十一の十一	四十一の十一
建築基準法（昭和二十五年法律第二百一十一号）第六十一条（同法第八十七条第一項、第八十七条の四又は第八十八条	建築基準法（昭和二十五年法律第二百一十一号）第六十一条（同法第八十七条第一項、第八十七条の四又は第八十八条	介護保険法の第六十九条の八第二項の規定に基づく介護支援専門員更新研修の実施	介護支援専門員実務研修受講試験の試験問題の作成及び合格基準の設定	介護支援専門員実務研修受講試験の試験問題の作成及び合格基準の設定
確認申請又は計画通知手数料	（略）	（略）	（略）	（略）
別表第十ーに定める金額（申請又は通知に係る建築物が建築基準法第六十一条た	（略）	（略）	（略）	（略）

三十九	二八百五十の三十一の四	建築基準法 （昭和二十五年法律第 二百一十号）第六 条第一項（同法第八 十七條第一項、第八十七 條の二又は第八十八條	（略）	介護保険法の第六十九 条第二項の規定に基 づく介護支援専門員 更新研修の実施	十一の十四
百	二八百五十の三十一の四	確認申請又は計画通 知手数料	（略）	介護支援専門員実務 研修受講試験の試 験問題の作成及び合 格基準の設定	十二の十四
十	二八百五十の三十一の四	別表第十ーに定め る金額（申請又は通 知に係る建築物が建 築基準法第六条の三 第一項た	（略）	介護支援専門員実務 研修受講試験問作手 数料	七の十四
九	二八百五十の三十一の四	（略）	（略）	（略）	二万二百円

三 百 十 九 の 二	三 百 二 十	建築基準法 第七条第一 項（同法第八 十七条の四又 は第八十八 条第一項若 しくは第二 項において 準用する場 合を含む。） の規定に基 づく通知に 対する審査	(略)	(略)	第一項若し しくは第二項 において準 用する場合 を含む。）の 規定に基づ く確認の申 請又は同法 第十八条第 二項（同法第 八十七条第 一項、第八十 七条の四又 は第八十八 条第一項若 しくは第二 項において 準用する場 合を含む。） の規定に基 づく通知に 対する審査	(略)	(略)	ただし書の 特定構造 計算基準 又は特定 増改築構 造計算基 準に適合 するかど うかを同 項ただし 書の建築 主事が審 査をする 場合には、 建築物ご とに、別 表第十四 第一号に 定める金 額を加算 した金 額)
三 百 十 九 の 二	三 百 二 十	建築基準法 第七条第一 項（同法第八 十七条の二又 は第八十八 条第一項若 しくは第二 項において 準用する場 合を含む。） の規定に基 づく通知に 対する審査	(略)	(略)	第一項若し しくは第二項 において準 用する場合 を含む。）の 規定に基づ く確認の申 請又は同法 第十八条第 二項（同法第 八十七条第 一項、第八十 七条の二又 は第八十八 条第一項若 しくは第二 項において 準用する場 合を含む。） の規定に基 づく通知に 対する審査	(略)	(略)	ただし書の 特定構造 計算基準 又は特定 増改築構 造計算基 準に適合 するかど うかを同 項ただし 書の建築 主事が審 査をする 場合には、 建築物ご とに、別 表第十四 第一号に 定める金 額を加算 した金 額)

三 百	建 築 基 準 法	検 査 済 証	十二万円	は 同 法 第 十 八 条 第 十 六 項 (同 法 第 八 十 七 条 の 四 又 は 第 八 十 八 条 第 一 項 若 し く は 第 二 項 に お い て 準 用 す る 場 合 を 含 む。) の 規 定 に 基 づ く 通 知 に 対 す る 審 査	三 百 二 十 一	建 築 基 準 法 第 七 条 の 三 第 一 項 (同 法 第 八 十 七 条 の 四 又 は 第 八 十 八 条 第 一 項 に お い て 準 用 す る 場 合 を 含 む。) の 規 定 に 基 づ く 検 査 の 申 請 又 は 同 法 第 十 九 条 第 十 九 項 (同 法 第 十 七 条 の 四 又 は 第 八 十 八 条 第 一 項 に お い て 準 用 す る 場 合 を 含 む。) の 規 定 に 基 づ く 通 知 に 対 す る 審 査	中 間 検 査 申 請 又 は 特 定 工 程 工 事 終 了 通 知 手 数 料	別 表 第 十 三 に 定 め る 金 額	
三 百	建 築 基 準 法	検 査 済 証	十二万円	は 同 法 第 十 八 条 第 十 六 項 (同 法 第 八 十 七 条 の 二 又 は 第 八 十 八 条 第 一 項 若 し く は 第 二 項 に お い て 準 用 す る 場 合 を 含 む。) の 規 定 に 基 づ く 通 知 に 対 す る 審 査	三 百 二 十 一	建 築 基 準 法 第 七 条 の 三 第 一 項 (同 法 第 八 十 七 条 の 二 又 は 第 八 十 八 条 第 一 項 に お い て 準 用 す る 場 合 を 含 む。) の 規 定 に 基 づ く 検 査 の 申 請 又 は 同 法 第 十 九 条 第 十 九 項 (同 法 第 十 七 条 の 二 又 は 第 八 十 八 条 第 一 項 に お い て 準 用 す る 場 合 を 含 む。) の 規 定 に 基 づ く 通 知 に 対 す る 審 査	中 間 検 査 申 請 又 は 特 定 工 程 工 事 終 了 通 知 手 数 料	別 表 第 十 三 に 定 め る 金 額	

37

八	二	十	第 四 十 八 条	に お け る
			第 一 項 た だ し	建 築 等 許
			書、第 二 項	可 申 請 手
			た だ し 書、第	数 料
			三 項 た だ し	
			書、第 四 項 た	
			だ し 書、第 五	
			項 た だ し 書、	
			第 六 項 た だ	
			し 書、第 七 項	
			た だ し 書、第	
			八 項 た だ し	
			書、第 九 項 た	
			だ し 書、第 十	
			項 た だ し 書、	
			第 十 一 項 た	
			だ し 書、第 十	
			二 項 た だ し	
			書、第 十 三 項	
			た だ し 書 又	
			は 第 十 四 項	
			た だ し 書（同	
			条 第 十 六 項	
			各 号 の い ず	
			れ か に 該 当	
			す る 場 合 を	
			除 き、同 法 第	
			八 十 七 条 第	
			二 項 若 し く	
			は 第 三 項 又	
			は 第 八 十 八	
			条 第 二 項 に	
			お い て 準 用	
			す る 場 合 を	
			含 む。）の 規	
			定 に 基 づ く	
			建 築 等 の 許	
			可 の 申 請 に	
			対 す る 審 査	

八	二	十	第 四 十 八 条	に お け る
			第 一 項 た だ し	建 築 等 許
			書、第 二 項	可 申 請 手
			た だ し 書、第	数 料
			三 項 た だ し	
			書、第 四 項 た	
			だ し 書、第 五	
			項 た だ し 書、	
			第 六 項 た だ	
			し 書、第 七 項	
			た だ し 書、第	
			八 項 た だ し	
			書、第 九 項 た	
			だ し 書、第 十	
			項 た だ し 書、	
			第 十 一 項 た	
			だ し 書、第 十	
			二 項 た だ し	
			書、第 十 三 項	
			た だ し 書 又	
			は 第 十 四 項	
			た だ し 書（同	
			法 第 八 十 七	
			条 第 二 項 若	
			し く は 第 三	
			項 又 は 第 八	
			十 八 条 第 二	
			項 に お い て	
			準 用 す る 場	
			合 を 含 む。）	
			の 規 定 に 基	
			づ く 建 築 等	
			の 許 可 の 申	
			請 に 対 す る	
			審 査	

三 二 八 の 二	三 百	建築基準法	特例許可	十二万円
	二 十	第四十八条	を受けた	
	八 の	第十六項第	建築物等	
	二	一号（同法第	に係る用	
		八十八条第	途地域に	
		二項におい	おける増	
		て準用する	築等許可	
		場合を合	申請手数	
		む。）の規定	料	
		に該当する		
	場合の増築			
	等の許可の			
	申請に対す			
	る審査			
三 二 八 の 三	三 百	建築基準法	日常生活	十四万円
	二 十	第四十八条	に必要な	
	八 の	第十六項第	建築物等	
	三	二号（同法第	に係る用	
		八十八条第	途地域に	
		二項におい	おける建	
		て準用する	築等許可	
		場合を合	申請手数	
		む。）の規定	料	
		に該当する		
	場合の建築			
	等の許可の			
	申請に対す			
	る審査			
三 二 九 ・ 三 百 三 十	三 百	(略)	(略)	(略)
	二 十			
	九 ・ 三			
	百 三 十			
三 三 十 の 二	三 百	建築基準法	建築物の	三万三千 円
	三 十	第五十三条	建築率に	
	の 二	第四項又は	関する制	
		第五項の規	限の特例	
		定に基づく	に係る許	
		建築物の建	可申請手	
三 二 九 ・ 三 百 三 十	三 百	(略)	(略)	(略)
	二 十			
	九 ・ 三			
	百 三 十			
三 三 十 の 二	三 百	建築基準法	建築物の	三万三千 円
	三 十	第五十三条	建築率に	
	の 二	第四項の規	関する制	
		定に基づく	限の特例	
		建築物の建	に係る許	
		蔽率に關	可申請手	

40

二二の二	三百五十二	三百四十	三百	建築基準法の第八十六條の八第一項の規定に基づく既存の建築物について二以上の工事に分けて増築等を含む工事を行う場合の制限の緩和に係る特例の許可の申請に対する審査料	（略）	建築基準法の第八十六條の八第一項の規定に基づく既存の建築物について二以上の工事に分けて増築等を含む工事を行う場合の制限の緩和に係る特例の許可の申請に対する審査料	十六万円
二二の二	三百五十二	三百四十	三百	建築基準法の第八十六條の八第一項の規定に基づく既存の建築物について二以上の工事に分けて増築等を含む工事を行う場合の制限の緩和に係る特例の許可の申請に対する審査料	（略）	建築基準法の第八十六條の八第一項の規定に基づく既存の建築物について二以上の工事に分けて増築等を含む工事を行う場合の制限の緩和に係る特例の許可の申請に対する審査料	十六万円

[illegible]

三 百 五 十 二 の 五	三 百 五 十 二 の 五	の申請に 対する審 査	建築基準法 第八十七 条の第三 第五項の 規定に基 づく建築 物の用途 を変更し て一時興 行的に興 行場等と して使用 する場合 の制限の 緩和に係 る許可の 申請に 対する審 査	建築物の 用途を一 時的に興 行場等と して使用 する場合 の制限の 緩和に係 る許可申 請手数料	十二万円
三 百 五 十 二 の 六	三 百 五 十 二 の 六	の申請に 対する審 査	建築基準法 第八十七 条の第三 第六項の 規定に基 づく建築 物の用途 を変更し て一時興 行的に特 別興行場 等として 使用する 場合の制 限の緩和 に係る許 可の申請 に対する 審査	建築物の 用途を一 時的に特 別興行場 等として 使用する 場合の制 限の緩和 に係る許 可申請手 数料	十六万円
三 百 五 十 二 の 七・三 百五 十二 の八	三 百 五 十 二 の 七・三 百五 十二 の八	(略)	(略)	(略)	(略)
三 百 五 十 二 の 五	三 百 五 十 二 の 四・三 百五 十二 の五	(略)	(略)	(略)	(略)
三 百 五 十 二 の 五	三 百 五 十 二 の 四・三 百五 十二 の五	(略)	(略)	(略)	(略)
三 百 五 十 二 の 五	三 百 五 十 二 の 四・三 百五 十二 の五	(略)	(略)	(略)	(略)

別表第二十七（第二条関係）

備考（略）	四	六	三	三	五
	四	六	十	百	十
別表第二十七（第二条関係）					
	事務の種類	手数料の 名称	指定機関		
	一 介護保険法第 六十九條の二第 一項の規定に基 づく介護支援専 門員実務研修受 講試験の実施	介護支援 専門員実 務研修受 講試験手 数料	介護保険 法第六十 九條の二 十七第一 項の規定 により知 事が指定 する者		
	二 介護保険法第 六十九條の二第 一項の規定に基 づく介護支援専 門員実務研修の 実施	介護支援 専門員実 務研修事 務手数料	介護保険 法第六十 九條の三 十三第一 項の規定 により知 事が指定 する者		
	三 介護保険法第 六十九條の七第 二項の規定に基 づく介護支援専 門員再研修の実 施	介護支援 専門員再 研修事務 手数料	介護保険 法第六十 九條の三 十三第一 項の規定 により知 事が指定 する者		
	四 介護保険法第 六十九條の八第 二項の規定に基 づく介護支援専 門員更新研修の 実施	介護支援 専門員実 務未経験 者更新研 修事務手 数料	介護保険 法第六十 九條の三 十三第一 項の規定 により知		

別表第二十七（第二条関係）

備考（略）	四	六	三	三	五
	四	六	十	百	十
別表第二十七（第二条関係）					
事務の種類	手数料の 名称	指定機関 の名称			
一 介護保険法第 六十九條の二第 一項の規定に基 づく介護支援専 門員実務研修受 講試験の実施	介護支援 専門員実 務研修受 講試験手 数料	社会福祉 法人三重 県社会福 祉協議会			
二 介護保険法第 六十九條の二第 一項の規定に基 づく介護支援専 門員実務研修の 実施	介護支援 専門員実 務研修事 務手数料	社会福祉 法人三重 県社会福 祉協議会			
三 介護保険法第 六十九條の八第 二項の規定に基 づく介護支援専 門員更新研修の 実施	介護支援 専門員実 務未経験 者更新研 修事務手 数料	社会福祉 法人三重 県社会福 祉協議会			

五 (略)	(略)	介 護 支 援 専 門 員 実 務 経 験 者 更 新 研 修 事 務 手 数 料	事 務 手 数 項 の 規 定 に よ り 知 事 が 指 定 す る 者	事 務 手 数 項 の 規 定 に よ り 知 事 が 指 定 す る 者	事 務 手 数 項 の 規 定 に よ り 知 事 が 指 定 す る 者
六 ～ 十 六 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

四 (略)	(略)	介 護 支 援 専 門 員 実 務 経 験 者 更 新 研 修 事 務 手 数 料	事 務 手 数 項 の 規 定 に よ り 知 事 が 指 定 す る 者	事 務 手 数 項 の 規 定 に よ り 知 事 が 指 定 す る 者	事 務 手 数 項 の 規 定 に よ り 知 事 が 指 定 す る 者
五 削 除					
六 ～ 十 六 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則

この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

- 一 別表第一第四十一号の二の項の改正規定、同表第四十一号の三の項の改正規定、同表第四十一号の七の項の改正規定、同表第四十一号の十の項の改正規定及び同表第四十一号の十二の項の改正規定並びに別表第二十七の改正規定 平成三十一年四月一日
- 二 別表第一第一号の項の改正規定及び同表第七号の項の次に二項を加える改正規定 平成三十一年六月一日
- 三 前二号に掲げる改正規定以外の改正規定 建築基準法の一部を改正する法律（平成三十年法律第六十七号）の施行の日

審査請求に係る提出書類等の写し等の交付手数料条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第十四号

審査請求に係る提出書類等の写し等の交付手数料条例の一部を改正する条例

審査請求に係る提出書類等の写し等の交付手数料条例（平成二十七年三重県条例第六十四号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
別表（第三条関係）				別表（第三条関係）			
区 分	交 付 の 方 法	単 位	額	区 分	交 付 の 方 法	単 位	額
文書又は図画	複写機により用紙に複写したものの	用紙一枚（日本産業規格A列三番（以下「A三判」という。）を超える大きさの用紙については、A三判に換算した枚数として算定し、両面に複写した場合にあっては、片面を一枚として算定する。）につき	白黒 十円	文書又は図画	複写機により用紙に複写したものの	用紙一枚（日本工業規格A列三番（以下「A三判」という。）を超える大きさの用紙については、A三判に換算した枚数として算定し、両面に複写した場合にあっては、片面を一枚として算定する。）につき	白黒 十円
			カラー 四十円				カラー 四十円
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則

この条例は、平成三十一年七月一日から施行する。

三重県試験研究機関関係工業等に係る設備等使用料及び試験等手数料条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第十五号

三重県試験研究機関関係工業等に係る設備等使用料及び試験等手数料条例の一部を改正する条例

三重県試験研究機関関係工業等に係る設備等使用料及び試験等手数料条例（昭和二十三年三重県条例第一号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後					改 正 前				
別表第一（第二条関係）					別表第一（第二条関係）				
区分	分析等の種類	項目	単位	金額	区分	分析等の種類	項目	単位	金額
全 般	定性	一 蛍光 X	一 測定	四、一四	全 般	定性	一 蛍光 X	一 測定	三、四七
	分析	線分析	につき	〇		分析	線分析	につき	〇
		二 X線回折分析	一 測定	三、六一			二 X線回折分析	一 測定	三、三四
		につき		〇			につき		〇
	定量	一 原子吸光分析、プラズマ発光分光分析又はこれらに類する分析	一 成分	二、八七		定量	一 原子吸光分析、プラズマ発光分光分析又はこれらに類する分析	一 成分	二、八六
	分析	につき		〇		分析	につき		〇
		二 蛍光 X線分析	一 測定	五、五七			二 蛍光 X線分析	一 測定	五、五四
		イ 一試料につき	につき	〇			イ 一試料につき	につき	〇
		き三成					き三成		
		分まで					分まで		
		のものの					のものの		
	ロ 一試料につき	一 測定		七、五四		ロ 一試料につき	一 測定		七、四八

別表第二（第二条関係）

別表第二（第一条関係）				
備考（略）				

別表第二（第二条関係）

別表第二（第一条関係）					
備考（略）					
食品		物性試験	区分	試験の種類	項目
		一 破断特性	一 試験料につき	一 箇所につき	イ 加工を要しないもの
		二 光学顕微鏡組織	一 測定につき	二 エネルギ分散型 X 線分析	ロ 加工を要するもの
		三 食品の粘度測定	一 試験料につき	子頭微鏡	加工を要しないものにつき
		四 デンプンの糊化特性	一 試験料につき	一 箇所につき	加工を要するものにつき
					測定
					分析機器を使用する測定
					測定
					解析・観察領域
					線放射率測定
					遠赤外線
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定
					測定

清酒	化学試験	一 一般成分分析	一 試料につき	三、三六〇	化学試験	一 味覚特性	一 試料につき	五、六〇〇	化学試験	一 味覚特性	一 試料につき	五、六〇〇
		二 香気成分分析	一 試料につき	五、六六〇		二 センサリを使用するもの	一 試料につき	二、四六〇		二 センサリを使用するもの	一 試料につき	二、四六〇
		三 麴のアルコール	一 試料につき	四、五五〇		ハ 塩基性苦味	一 試料につき	四、一三〇		ハ 塩基性苦味	一 試料につき	四、一三〇
		二 (略)	(略)	(略)		二 塩酸塩苦味	一 試料につき	二、四五〇		二 塩酸塩苦味	一 試料につき	二、四五〇
水質試験	醸造用水	一 試料につき	四、一二二	化学試験	イ 標準のセンサリを使用するもの	一 試料につき	五、六〇〇	化学試験	イ 標準のセンサリを使用するもの	一 試料につき	五、六〇〇	
	五 食品の色彩測定	一 試料につき	一、九八〇		六 熱特性	一 試料につき	四、七二〇		六 熱特性	一 試料につき	四、七二〇	
	七 粘弾性	一 試料につき	五、八七〇		七 粘弾性	一 試料につき	五、八七〇		七 粘弾性	一 試料につき	五、八七〇	
	六 評価	一 試料につき	〇		六 評価	一 試料につき	〇		六 評価	一 試料につき	〇	

清酒	化学試験	一 一般成分分析	一 試料につき	三、〇六〇	化学試験	一 味覚特性	一 試料につき	五、〇三〇	化学試験	一 味覚特性	一 試料につき	五、〇三〇
		二 香気成分分析	一 試料につき	五、〇三〇		二 センサリを使用するもの	一 試料につき	二、一三〇		二 センサリを使用するもの	一 試料につき	二、一三〇
		三 麴のアルコール	一 試料につき	四、〇四〇		ハ 塩基性苦味	一 試料につき	三、八一〇		ハ 塩基性苦味	一 試料につき	三、八一〇
		二 (略)	(略)	(略)		二 塩酸塩苦味	一 試料につき	二、一二二		二 塩酸塩苦味	一 試料につき	二、一二二
水質試験	醸造用水	一 試料につき	三、七〇〇	化学試験	イ 標準のセンサリを使用するもの	一 試料につき	五、〇三〇	化学試験	イ 標準のセンサリを使用するもの	一 試料につき	五、〇三〇	
	五 食品の色彩測定	一 試料につき	一、八一〇		六 熱特性	一 試料につき	四、二七〇		六 熱特性	一 試料につき	四、二七〇	
	七 粘弾性	一 試料につき	五、二二二		七 粘弾性	一 試料につき	五、二二二		七 粘弾性	一 試料につき	五、二二二	
	六 評価	一 試料につき	〇		六 評価	一 試料につき	〇		六 評価	一 試料につき	〇	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

イン ク ト デ ザ	デ ザ ー プ ロ ダ	溶出 試験			
		耐酸試験			
		一試験 につき	以上の メトル ・二 積の容 する炉 に使用 試験に 焼成につ つき	以上の メトル ・二 積の容 する炉 に使用 試験に 焼成につ つき	以上の メトル ・二 積の容 する炉 に使用 試験に 焼成につ つき
			四〇	二五、二	六〇
			三、三二	一一、二	六、三九
		〇			
イン ク ト デ ザ	デ ザ ー プ ロ ダ	溶出 試験			
		耐酸試験			
		一試験 につき	以上の メトル ・二 積の容 する炉 に使用 試験に 焼成につ つき	以上の メトル ・二 積の容 する炉 に使用 試験に 焼成につ つき	以上の メトル ・二 積の容 する炉 に使用 試験に 焼成につ つき
			三〇	一一、〇	六、一三
			三、〇一	一〇、四	六、一三
		〇			

備考	ザイン	一 商業デ	つき	五、九〇	〇
	ロ 立体	一 案に	つき	二六、二	〇〇
	イ 平面	一 案に	つき	七、二三	〇
	イン				

別表第五 (第一条関係)

備考 (略)	製品		木及び材	木	区分			
	試験	性能	試験強度	種類	等の試験			
	試験	含水率測定	一 材料強度	項目				
	つき	十本に	二 実大材					
	つき	一本に	三 木質パ ネルせん 断試験					
つき	一本に	二 実大材						
つき	十本に	二 実大材	単位	金額				
○	七、六七	九〇	一、四	〇〇	一、三、六	〇	六、〇五	円

別表第六（第一条関係）

製品	区分	試験の種類	項目	単位	金額
製品	コン	物理試験	実物強さ		円
	クトリ		イ重量		二、八九〇
			が三十	につき	
			キログ		
			ラム未		
			満のも		
			の		
			ロ重量		四、二二〇
			が三十	につき	
			キログ		
			ラム以		

[illegible]

別表第五（第一条関係）

区分	種類	項目	単位	金額
製木製品	試験強度	一 材料強	一 体 に	五、七二
		二 実大材	一 体 に	一、四
		三 木質パ	一 体 に	一七、二
		ネルせん断試験	つ き	八
試験	性能	含水率測定	十 本 に	七、一
	試験		つ き	〇

別表第六（第11条関係）

製 品	区 分	試 験 等 の 種 類	項 目	単 位	金 額
コ ン ト リ ン	物 理 試 験	実 物 強 さ	イ 重 量	一 項 目	円
			が三十キログラム未満のもの	につき	二、三八〇
			ロ 重 量	一 項 目	円
			が三十キログラム以上	につき	三、四四〇

備考（略）				上のもの			
別表第七（第二条関係）				別表第七（第二条関係）			
区分	項目	単位	金額	区分	項目	単位	金額
報告書の副本	一 和文	一通につき	三二〇円	報告書の副本	一 和文	一通につき	三〇〇円
	二 （略）	（略）	（略）		二 （略）	（略）	（略）
証明書	一 和文	一通につき	六六〇	証明書	一 和文	一通につき	六〇〇
	二 英文	一通につき	一、三二〇		二 英文	一通につき	一、二〇〇
別表第八（第二条関係）				別表第八（第二条関係）			
区分	項目	単位	金額	区分	項目	単位	金額
試料調製	一 定量	一 試料につき	二、二四〇円	試料調製	一 定量	一 試料につき	一、九六〇円
	二 食品（化学試験の味覚特性に限る。）	一 試料につき	一、〇三〇円		二 食品（化学試験の味覚特性に限る。）	一 試料につき	九一〇円

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前にあつた試験等の依頼に係る手数料の額については、なお従前の例による。

三重県家畜保健衛生所手数料条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第十六号

三重県家畜保健衛生所手数料条例の一部を改正する条例

三重県家畜保健衛生所手数料条例（昭和五十二年三重県条例第二十七号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後		改 正 前	
別表第一（第二条関係）		別表第一（第二条関係）	
区 分	手 数 料 の 額	区 分	手 数 料 の 額
一 法第四条の二第五項、第五条第一項又は第三十一条第一項の規定に基づく家畜の検査（法第五条第一項の規定に基づく家畜の検査にあつては、監視伝染病の発生を予防するためのもに 限る。） イ・ト（略）	（略）	一 法第四条の二第五項、第五条第一項又は第三十一条第一項の規定に基づく家畜の検査（法第五条第一項の規定に基づく家畜の検査にあつては、監視伝染病の発生を予防するためのもに 限る。） イ・ト（略）	（略）
チ・リ（略）	（略）	チ 馬伝染性貧血検査 ○円	一頭につき 一、二〇〇円
ニ・三（略）	（略）	リ・ヌ（略）	（略）
		ニ・三（略）	（略）
別表第二（第二条関係）		別表第二（第二条関係）	
区 分	手 数 料 の 額	区 分	手 数 料 の 額
一 検査		一 検査	
イ・ロ（略）	（略）	イ 生乳検査 円	一件につき 三〇〇円
ハ 寒天ゲル内 沈降反応によ	馬疾病に係るもの 一頭につき 一、七九	ロ・ハ（略）	（略）
		ニ 寒天ゲル内 沈降反応によ	馬疾病に係るもの 一頭につき 一、七八

る 検 査	〇円
牛 疾 病 に 係 る も の	
一 頭 に つ き	四二一〇
円	
豚 疾 病 に 係 る も の	
一 頭 に つ き	一一三〇
円	
鶏 疾 病 に 係 る も の	
一 羽 に つ き	五〇円
ト P C R 法 に	一件につき 三、一四
よ る 遺 伝 子 学	〇円
的 検 査	
チ (略)	(略)
二 予 防 注 射	
イ 豚 萎 縮 性 鼻	一回につき 一、二八
炎	〇円
ロ 豚 伝 染 性 胃	生ウイルスの噴霧及
腸 炎	び不活化ウイルスに
	よる予防液を使用す
	る場合にあつては、一
	頭につき 三、一八〇
	円
	生ウイルスによる予
	防液を使用する場合
	にあつては、一回につ
	き 七九〇円
ハ アカバネ病	一回につき 一、八九
	〇円
ニ 牛 五 種 混 合	生ウイルスによる予
	防液を使用する場合
	一回につき 一、〇二
	〇円
ホ 牛 異 常 産 三	不活化ウイルスによ

る 検 査	〇円
牛 疾 病 に 係 る も の	
一 頭 に つ き	四二一〇
円	
豚 疾 病 に 係 る も の	
一 頭 に つ き	一一三〇
円	
鶏 疾 病 に 係 る も の	
一 羽 に つ き	五〇円
チ P C R 法 に	一件につき 三、一〇
よ る 遺 伝 子 学	〇円
的 検 査	
リ (略)	(略)
二 予 防 注 射	
イ 豚 萎 縮 性 鼻	一回につき 一、二六
炎	〇円
ロ 豚 伝 染 性 胃	生ウイルスの噴霧及
腸 炎	び不活化ウイルスに
	よる予防液を使用す
	る場合にあつては、一
	頭につき 三、一五〇
	円
	生ウイルスによる予
	防液を使用する場合
	にあつては、一回につ
	き 七八〇円
ハ アカバネ病	一回につき 一、八七
	〇円
ニ 削 除	削 除
ホ 牛 四 種 混 合	生ウイルスによる予
	防液を使用する場合
	一回につき 一、八〇
	〇円
ヘ 牛 五 種 混 合	生ウイルスによる予
	防液を使用する場合
	一回につき 一、〇〇
	〇円
ト 牛 異 常 産 三	不活化ウイルスによ

種混合		る予防液を使用する 場合
一回につき		二、一七
〇円		
イ 馬インフル		不活化ウイルスによ
エンザ		る予防液を使用する 場合
一回につき		二、五二
〇円		
三〜五 (略)		(略)

種混合		る予防液を使用する 場合
一回につき		二、一五
〇円		
チ 馬インフル		不活化ウイルスによ
エンザ		る予防液を使用する 場合
一回につき		二、五〇
〇円		
三〜五 (略)		(略)

附 則
この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。

三重県法定外公共用財産等使用料等徴収条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第十七号

三重県法定外公共用財産等使用料等徴収条例の一部を改正する条例

三重県法定外公共用財産等使用料等徴収条例（平成十二年三重県条例第十五号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
別表第一（第三条関係）				別表第一（第三条関係）			
道路使用料				道路使用料			
種 別	単 位	使 用 料		種 別	単 位	使 用 料	
		市の区域	町の区域			市の区域	町の区域
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
備 考				備 考			
一～七 (略)				一～七 (略)			
八 許可の期間が一月未満であるときは消費税及び地方消費税を徴収し、この表の使用料をもつて計算した額に百分の百十を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、許可の期間が一月以上であるときには消費税及び地方消費税は徴収しない。				八 許可の期間が一月未満であるときは消費税及び地方消費税を徴収し、この表の使用料をもつて計算した額に百分の百八を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、許可の期間が一月以上であるときには消費税及び地方消費税は徴収しない。			
九・十 (略)				九・十 (略)			
別表第二（第三条関係）				別表第二（第三条関係）			
河川海岸等使用料				河川海岸等使用料			
種 別	単 位	年 額 使 用 料		種 別	単 位	年 額 使 用 料	
		市の区域	町の区域			市の区域	町の区域
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
備 考				備 考			
一～五 (略)				一～五 (略)			
六 許可の期間が一月未満であるときは消費税及び地方消費税を徴収し、この表の年額使用料をもつて計算した額に百分の百十を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、許可の期				六 許可の期間が一月未満であるときは消費税及び地方消費税を徴収し、この表の年額使用料をもつて計算した額に百分の百八を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、許可の期			

間が一月以上であるときには消費税
及び地方消費税は徴収しない。

七・八 (略)

別表第三 (第三条関係)

収益料

種 別	単 位	収 益 料
土 砂	一立方メートルにつき	一一一〇円
砂	一立方メートルにつき	一一一〇円
砂 利	一立方メートルにつき	一一一〇円
かき込み砂利	一立方メートルにつき	一一一〇円
栗石及び玉石	径八センチメートル以上二〇センチメートル未満のもの一立方メートルにつき	一一一〇円
野 面 石	控長二〇センチメートル以上三〇センチメートル未満のもの一個につき	六六円
	控長三〇センチメートル以上四〇センチメートル未満のもの一個につき	八八円
	控長四〇センチメートル以上六〇センチメートル未満のもの一個につき	一五四円
	控長六〇センチ	

間が一月以上であるときには消費税
及び地方消費税は徴収しない。

七・八 (略)

別表第三 (第三条関係)

収益料

種 別	単 位	収 益 料
土 砂	一立方メートルにつき	一一六円
砂	一立方メートルにつき	一一六円
砂 利	一立方メートルにつき	一一六円
かき込み砂利	一立方メートルにつき	一一六円
栗石及び玉石	径八センチメートル以上二〇センチメートル未満のもの一立方メートルにつき	一一六円
野 面 石	控長二〇センチメートル以上三〇センチメートル未満のもの一個につき	六四円
	控長三〇センチメートル以上四〇センチメートル未満のもの一個につき	八六円
	控長四〇センチメートル以上六〇センチメートル未満のもの一個につき	一五一円
	控長六〇センチ	

<div> <div> <div>転</div> <div>石</div> </div> <div> <div>(割石を含む。)</div> </div> </div>	<div> <div>チメートル以</div> <div>上のも</div> <div>ー</div> <div>立方メートル</div> <div>につき</div> </div>	<div> <div>二、二〇〇円</div> </div>
備考（略）		

<div> <div> <div>転</div> <div>石</div> </div> <div> <div>(割石を含む。)</div> </div> </div>	<div> <div>チメートル以</div> <div>上のも</div> <div>ー</div> <div>立方メートル</div> <div>につき</div> </div>	<div> <div>二、一六〇円</div> </div>
備考（略）		

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- この条例の施行の日前に国有財産法（昭和二十三年法律第七十三号）第十八条第六項の規定による許可を受けたものについては、なお従前の例による。

三重県道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第十八号

三重県道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例

三重県道路占用料等徴収条例（昭和四十三年三重県条例第十号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>（占用料の額）</p> <p>第二条 （略）</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、消費税法（昭和六十三年法律第百八号）第六条の規定により非課税とされるものを除くものについての占用料の額は、前項本文の規定により算定した額（その額が百円に満たない場合にあつては、かつこ書により百円とする前の額）に百分の百十を乗じて得た額（その額が百円に満たない場合にあつては、百円）とする。ただし、前項ただし書により算定することとなる場合にあつては、各年度の占用料の額に百分の百十を乗じて得た額（その額が百円に満たない場合にあつては、百円）の合計額とする。</p> <p>（占用料の減免）</p> <p>第三条 知事は、次の各号に掲げる占用物件（法第三十九条の八に規定する占用物件をいう。以下同じ。）に係る占用料については、前条の規定にかかわらず、免除するものとする。</p> <p>一 九 （略）</p> <p>2・3 （略）</p>	<p>（占用料の額）</p> <p>第二条 （略）</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、消費税法（昭和六十三年法律第百八号）第六条の規定により非課税とされるものを除くものについての占用料の額は、前項本文の規定により算定した額（その額が百円に満たない場合にあつては、かつこ書により百円とする前の額）に百分の百八を乗じて得た額（その額が百円に満たない場合にあつては、百円）とする。ただし、前項ただし書により算定することとなる場合にあつては、各年度の占用料の額に百分の百八を乗じて得た額（その額が百円に満たない場合にあつては、百円）の合計額とする。</p> <p>（占用料の減免）</p> <p>第三条 知事は、次の各号に掲げる占用物件（法第四十条に規定する占用物件をいう。以下同じ。）に係る占用料については、前条の規定にかかわらず、免除するものとする。</p> <p>一 九 （略）</p> <p>2・3 （略）</p>

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、第三条の改正規定は、公布の日から施行する。
- この条例の施行の日前に道路法（昭和二十七年法律第百八十号）第三十二条第一項若しくは第三項の規定により許可を受け、又は同法第三十五条の規定により協議が成立したもののについては、なお従前の例による。

三重県河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第十九号

三重県河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例

三重県河川流水占用料等徴収条例（平成十二年三重県条例第十六号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
別表第一（第二条関係）				別表第一（第二条関係）			
流水占用料				流水占用料			
一 発電用流水占用料 発電のための流水占用料は、次の表の上欄に掲げる発電所の種別に応じ、同表の下欄に掲げる式により算出した額に百分の百十を乗じて得た額をもってその年額とする。				一 発電用流水占用料 発電のための流水占用料は、次の表の上欄に掲げる発電所の種別に応じ、同表の下欄に掲げる式により算出した額に百分の百八を乗じて得た額をもってその年額とする。			
発電所の種別			式	発電所の種別			式
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
備考（略）				備考（略）			
二 発電用流水占用料以外の流水占用料				二 発電用流水占用料以外の流水占用料			
種 別	単 位	年額占用料		種 別	単 位	年額占用料	
工業の用に供するもの	一秒ごとに	三、八三九		工業の用に供するもの	一秒ごとに	三、七六九	
	一リットルにつき	円			工業の用以外の用に供するもの	一リットルにつき	円
工業の用以外の用に供するもの	一秒ごとに	一九二円		工業の用以外の用に供するもの		一秒ごとに	一八九円
	一リットルにつき	円			工業の用以外の用に供するもの	一リットルにつき	円
備考（略）				備考（略）			
別表第二（第二条関係）				別表第二（第二条関係）			
土地占用料				土地占用料			
種 別	単 位	年額占用料		種 別	単 位	年額占用料	
		市の区域	町の区域			市の区域	町の区域

(略)	(略)	(略)	(略)
備考			
一～四 (略)			
五 許可の期間が一月未満であるとき には消費税及び地方消費税を徴収し、 この表の年額占用料をもつて計算し た額に百分の百十を乗じて得た額を 徴収する額とする。ただし、許可の期 間が一月以上であるときには消費税 及び地方消費税は徴収しない。			
六・七 (略)			
別表第三(第二条関係)			
土石採取料その他の河川産出物採取料			
種 別	単 位	採取料	
土 砂	一立方メートルにつき	一一〇円	
砂	一立方メートルにつき	一一〇円	
砂 利	一立方メートルにつき	一一〇円	
かき込み砂利	一立方メートルにつき	一一〇円	
栗石及び玉石	径八センチメートル以上二〇センチメートル未満のもの一立方メートルにつき	一一〇円	
野 面 石	控長二〇センチメートル以上三〇センチメートル未満のもの一個につき	六六円	
	控長三〇センチメートル以上四〇センチメートル未満のもの一個につき	八八円	

(略)	(略)	(略)	(略)
備考			
一～四 (略)			
五 許可の期間が一月未満であるとき には消費税及び地方消費税を徴収し、 この表の年額占用料をもつて計算し た額に百分の百八を乗じて得た額を 徴収する額とする。ただし、許可の期 間が一月以上であるときには消費税 及び地方消費税は徴収しない。			
六・七 (略)			
別表第三(第二条関係)			
土石採取料その他の河川産出物採取料			
種 別	単 位	採取料	
土 砂	一立方メートルにつき	一一六円	
砂	一立方メートルにつき	一一六円	
砂 利	一立方メートルにつき	一一六円	
かき込み砂利	一立方メートルにつき	一一六円	
栗石及び玉石	径八センチメートル以上二〇センチメートル未満のもの一立方メートルにつき	一一六円	
野 面 石	控長二〇センチメートル以上三〇センチメートル未満のもの一個につき	六四円	
	控長三〇センチメートル以上四〇センチメートル未満のもの一個につき	八六円	

		につき	
		控長四〇センチメートル以上六〇センチメートル未満のもの一個につき	一五四円
転石 (割石を含む。)	につき	控長六〇センチメートル以上六〇センチメートル未満のもの一個につき	一、一〇〇円
あし(よし)		径三三センチメートル東一束につき	六四円
かや		径三三センチメートル東一束につき	六四円
備考 (略)			

		につき	
		控長四〇センチメートル以上六〇センチメートル未満のもの一個につき	一五一円
転石 (割石を含む。)	につき	控長六〇センチメートル以上六〇センチメートル未満のもの一個につき	一、一六〇円
あし(よし)		径三三センチメートル東一束につき	六三円
かや		径三三センチメートル東一束につき	六三円
備考 (略)			

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- この条例の施行の日前に三重県河川流水占用料等徴収条例第四条第一項の流水占用料等の額の決定を受けたものについては、なお従前の例による。

三重県砂防設備占用料等徴収条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第二十号

三重県砂防設備占用料等徴収条例の一部を改正する条例

三重県砂防設備占用料等徴収条例（平成十二年三重県条例第十七号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後			改 正 前		
別表第一（第二条関係）			別表第一（第二条関係）		
占用料			占用料		
種 別	単 位	年額占用料	種 別	単 位	年額占用料
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
備 考			備 考		
一～四 (略)			一～四 (略)		
五 許可の期間が一月未満であるときは消費税及び地方消費税を徴収し、この表の年額占用料をもつて計算した額に百分の百十を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、許可の期間が一月以上であるときには消費税及び地方消費税は徴収しない。			五 許可の期間が一月未満であるときは消費税及び地方消費税を徴収し、この表の年額占用料をもつて計算した額に百分の百八を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、許可の期間が一月以上であるときには消費税及び地方消費税は徴収しない。		
六・七 (略)			六・七 (略)		
別表第二（第二条関係）			別表第二（第二条関係）		
土石等採取料			土石等採取料		
種 別	単 位	採 取 料	種 別	単 位	採 取 料
土 砂	一立方メートルにつき	一一一〇円	土 砂	一立方メートルにつき	一一六円
砂	一立方メートルにつき	一一一〇円	砂	一立方メートルにつき	一一六円
砂 利	一立方メートルにつき	一一一〇円	砂 利	一立方メートルにつき	一一六円
かき込み砂利	一立方メートルにつき	一一一〇円	かき込み砂利	一立方メートルにつき	一一六円
栗石及び玉石	径八センチメートル以上二〇センチメートル未満	一一一〇円	栗石及び玉石	径八センチメートル以上二〇センチメートル未満	一一六円

野 面 石	満のもの一立方メートルにつき	
	控長二〇センチメートル以上三〇センチメートル未満のもの一個につき	六六円
	控長三〇センチメートル以上四〇センチメートル未満のもの一個につき	八八円
	控長四〇センチメートル以上六〇センチメートル未満のもの一個につき	一五四円
転 (割石を含む。)	控長六〇センチメートル以上のもの一立方メートルにつき	二、二〇〇円
備考 (略)		
野 面 石	満のもの一立方メートルにつき	
	控長二〇センチメートル以上三〇センチメートル未満のもの一個につき	六四円
	控長三〇センチメートル以上四〇センチメートル未満のもの一個につき	八六円
	控長四〇センチメートル以上六〇センチメートル未満のもの一個につき	一五一円
転 (割石を含む。)	控長六〇センチメートル以上のもの一立方メートルにつき	二、一六〇円
備考 (略)		

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- この条例の施行の日前に三重県砂防設備占用料等徴収条例第二条に規定する砂防設備の占用に係る許可を受けたものについては、なお従前の例による。

三重県海岸占用料等徴収条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第二十一号

三重県海岸占用料等徴収条例の一部を改正する条例

三重県海岸占用料等徴収条例（平成十二年三重県条例第十八号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
別表第一（第二条関係）				別表第一（第二条関係）			
占用料				占用料			
種 別	単 位	年額占用料		種 別	単 位	年額占用料	
		市の区域	町の区域			市の区域	町の区域
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
備考				備考			
一～四（略）				一～四（略）			
五 許可の期間が一月未満であるときは消費税及び地方消費税を徴収し、この表の年額占用料をもつて計算した額に百分の百十を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、許可の期間が一月以上であるときは消費税及び地方消費税は徴収しない。				五 許可の期間が一月未満であるときは消費税及び地方消費税を徴収し、この表の年額占用料をもつて計算した額に百分の百八を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、許可の期間が一月以上であるときは消費税及び地方消費税は徴収しない。			
六・七（略）				六・七（略）			
別表第二（第二条関係）				別表第二（第二条関係）			
土石採取料				土石採取料			
種 別	単 位	採 取 料		種 別	単 位	採 取 料	
土 砂	一立方メートルにつき	二二〇円		土 砂	一立方メートルにつき	二二六円	
砂	一立方メートルにつき	二二〇円		砂	一立方メートルにつき	二二六円	
砂 利	一立方メートルにつき	二二〇円		砂 利	一立方メートルにつき	二二六円	
かき込み砂利	一立方メートルにつき	二二〇円		かき込み砂利	一立方メートルにつき	二二六円	
	径八センチメートル以上二〇センチメートル未満				径八センチメートル以上二〇センチメートル未満		

備考（略）	野面石	栗石及び玉石 ンチメートル未 満のもの一立 方メートルにつ き	1110円
		控長二〇センチ メートル以上三 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	六六円
		控長三〇センチ メートル以上四 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	八八円
	転 （割石を含 む。）	控長四〇センチ メートル以上六 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	154円
備考（略）	野面石	栗石及び玉石 ンチメートル未 満のもの一立 方メートルにつ き	1116円
		控長二〇センチ メートル以上三 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	六四円
		控長三〇センチ メートル以上四 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	八六円
	転 （割石を含 む。）	控長四〇センチ メートル以上六 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	151円
備考（略）	野面石	栗石及び玉石 ンチメートル未 満のもの一立 方メートルにつ き	1116円
		控長二〇センチ メートル以上三 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	六四円
		控長三〇センチ メートル以上四 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	八六円
	転 （割石を含 む。）	控長四〇センチ メートル以上六 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	151円

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- この条例の施行の日前に海岸法（昭和三十一年法律第百一号）第七條第一項、第八條第一項第一号、第三十七條の四又は第三十七條の五第一号に掲げる行為についての許可を受けたものについては、なお従前の例による。

港湾区域内の水域又は公共空地に係る占用料等徴収条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第二十二号

港湾区域内の水域又は公共空地に係る占用料等徴収条例の一部を改正する条例

港湾区域内の水域又は公共空地に係る占用料等徴収条例（平成十二年三重県条例第十九号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後			
別表第一（第二条関係）			
占用料			
種 別	単 位	年 額 占 用 料	
(略)	(略)	(略)	
備 考			
一～四（略）			
五 許可の期間が一月未満であるときは消費税及び地方消費税を徴収し、この表の年額占用料をもつて計算した額に <u>百分の百十</u> を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、許可の期間が一月以上であるときには消費税及び地方消費税は徴収しない。			
六・七（略）			
別表第二（第二条関係）			
土砂採取料			
種 別	単 位	採 取 料	
土 砂	一立方メートルにつき	一一〇円	
砂	一立方メートルにつき	一一〇円	
砂 利	一立方メートルにつき	一一〇円	
かき込み砂利	一立方メートルにつき	一一〇円	
	径八センチメートル以上二〇センチメートル以下		

改 正 前			
別表第一（第二条関係）			
占用料			
種 別	単 位	年 額 占 用 料	
(略)	(略)	(略)	
備 考			
一～四（略）			
五 許可の期間が一月未満であるときは消費税及び地方消費税を徴収し、この表の年額占用料をもつて計算した額に <u>百分の百八</u> を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、許可の期間が一月以上であるときには消費税及び地方消費税は徴収しない。			
六・七（略）			
別表第二（第二条関係）			
土砂採取料			
種 別	単 位	採 取 料	
土 砂	一立方メートルにつき	一一六円	
砂	一立方メートルにつき	一一六円	
砂 利	一立方メートルにつき	一一六円	
かき込み砂利	一立方メートルにつき	一一六円	
	径八センチメートル以上二〇センチメートル以下		

備考（略）	野面石	栗石及び玉石 ンチメートル未 満のもの一立 方メートルにつ き	1110円
		控長二〇センチ メートル以上三 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	六六円
		控長三〇センチ メートル以上四 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	八八円
	転 （割石を含 む。）	控長六〇センチ メートル以上の もの一立方メ ートルにつき	11,100円
備考（略）	野面石	栗石及び玉石 ンチメートル未 満のもの一立 方メートルにつ き	1116円
		控長二〇センチ メートル以上三 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	六四円
		控長三〇センチ メートル以上四 〇センチメート ル未満のもの 一個につき	八六円
	転 （割石を含 む。）	控長六〇センチ メートル以上の もの一立方メ ートルにつき	11,160円

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- この条例の施行の日前に港湾法（昭和二十五年法律第二百十八号）第三十七条第一項第一号又は第二号に掲げる行為についての許可を受けたものについては、なお従前の例による。

三重県介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第二十三号

三重県介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

三重県介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例（平成三十年三重県条例第三十九号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
（衛生管理等） 第二十条 （略） 2 （略） 3 介護医療院の管理者は、規則で定める業務を委託する場合は、医療法施行規則（昭和二十三年厚生省令第五十号）第九条の八、第九条の九、第九条の十二、第九条の十三、別表第一の二及び別表第一の三、臨床検査技師等に関する法律施行規則（昭和三十三年厚生省令第二十四号）第十二条並びに臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律施行規則の一部を改正する省令（平成十八年厚生労働省令第七十五号）附則第一条の規定によりなおその効力を有することとされた同令による改正前の臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律施行規則（昭和三十三年厚生省令第二十四号）第十二条の規定を準用する。この場合において、医療法施行規則第九条の八第一項中「法第十五条の三第一項第二号の病院、診療所又は前条の施設（施設告示第四号に定める施設を除く。）における厚生労働省令で定める基準」とあるのは「病院、診療所又は臨床検査技師等に関する法律第二十条の三第一項の規定に基づき厚生労働大臣が定める施設（昭和五十六年厚生省告示	（衛生管理等） 第二十条 （略） 2 （略） 3 介護医療院の管理者は、規則で定める業務を委託する場合は、医療法施行規則（昭和二十三年厚生省令第五十号）第九条の八、第九条の九、第九条の十二、第九条の十三、別表第一の二及び別表第一の三の規定を準用する。この場合において、同令第九条の八第一項中「法第十五条の二の規定による人体から排出され」とあるのは「人体から排出され」と、同条第二項中「法第十五条の二の規定による検体検査」とあるのは「検体検査」と、同令第九条の九第一項中「法第十五条の二の規定による医療機器又は医学的処置若しくは手術」とあるのは「医療機器又は医学的処置」と、同令第九条の十二中「法第十五条の二の規定による第九条の七に定める医療機器」とあるのは「医薬品医療機器等法第二条第八項に規定する特定保守管理医療機器」と、同令第九条の十三中「法第十五条の二の規定による医療」とあるのは「医療」と読み替えるものとする。

第十七号。次項において「施設告示」という。）に定める施設（第四号に掲げる施設を除く。）における検体検査の業務の適正な実施に必要なものの基準」と、同条第二項中「法第十五条の三第一項第二号の前条の施設（施設告示第四号に定める施設に限る。）における厚生労働省令で定める基準」とあるのは「施設告示第四号に掲げる施設における検体検査の業務の適正な実施に必要なものの基準」と、同令第九条の九第一項中「法第十五条の三第二項の規定による医療機器又は医学的処置若しくは手術」とあるのは「医療機器又は医学的処置」と、同令第九条の十二中「法第十五条の三第二項の規定による第九条の八の二に定める医療機器」とあるのは「医薬品医療機器等法第二条第八項に規定する特定保守管理医療機器」と、同令第九条の十三中「法第十五条の三第二項の規定による医療」とあるのは「医療」と、臨床検査技師等に関する法律施行規則第十二条第一項中「法第二十条の三第二項の厚生労働省令で定める基準」とあるのは「検体検査の業務の適正な実施に必要なものの基準」と、臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律施行規則の一部を改正する省令附則第二条の規定によりなおその効力を有することとされた同令による改正前の臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律施行規則第十条第一項中「法第二十条の三第二項の厚生労働省令で定める基準」とあるのは「検体検査の業務の適正な実施に必要なものの基準」と読み替えるものとする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

三重県身体障害者総合福祉センター条例の一部を改正する条例をここに
公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第二十四号

三重県身体障害者総合福祉センター条例の一部を改正する条例

三重県身体障害者総合福祉センター条例（昭和六十年三重県条例第一号）の一部を次の
ように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正
する。

改 正 後	改 正 前
<p>（事業）</p> <p>第二条 総合福祉センターにおいては、次の事業を行う。</p> <p>一 四 （略）</p> <p>五 介護保険法（平成九年法律第百二十三号）第四十一条第一項本文又は同法第四十六条第一項の指定を受けて行う次の事業</p> <p>イ （略）</p> <p>ロ 介護保険法第八条の二第三項の介護予防訪問看護に関する事業、同条第四項の介護予防訪問リハビリテーションに関する事業、同条第五項の介護予防居宅療養管理指導に関する事業及び同条第六項の介護予防通所リハビリテーションに関する事業</p> <p>ハ 介護保険法第八条第二十四項の居宅介護支援に関する事業</p> <p>六 （略）</p>	<p>（事業）</p> <p>第二条 総合福祉センターにおいては、次の事業を行う。</p> <p>一 四 （略）</p> <p>五 介護保険法（平成九年法律第百二十三号）第四十一条第一項本文又は同法第四十六条第一項の指定を受けて行う次の事業</p> <p>イ （略）</p> <p>ロ 介護保険法第八条の二第四項の介護予防訪問看護に関する事業、同条第五項の介護予防訪問リハビリテーションに関する事業、同条第六項の介護予防居宅療養管理指導に関する事業及び同条第八項の介護予防通所リハビリテーションに関する事業</p> <p>ハ 介護保険法第八条第二十三項の居宅介護支援に関する事業</p> <p>六 （略）</p>

別表第三を次のように改める。

別表第三（第十一条、第十八条、第十九条関係）

一 運動場

区 分	利 用 単 位	利 用 料 金							
		午前七時から 午前八時まで	午前八時三十分から 正午まで	午後一時から 午後五時まで	午後五時から 午後六時まで	午前八時三十分から 午後五時まで	午後一時から 午後六時まで	午前八時三十分から 午後六時まで	

野 球 場	一 面	五五〇 円	一、六 五〇円	二、二 〇〇円	五五〇 円	三、八 五〇円	二、七 五〇円	四、四 〇〇円
テ ニ ス コ ー ト	ク ー ト	一 面	一一〇 円	八八〇 円	一、一 〇〇円	一一〇 円	一、九 八〇円	一、三 〇〇円
	ド ー ト	一 面	三三〇 円	一、一 〇〇円	一、三 二〇円	三三〇 円	二、四 五〇円	一、六 五〇円
ゲ ー ト ボ ー ル コ ー ト	一 面	一一〇 円	三三〇 円	四四〇 円	一一〇 円	七七〇 円	五五〇 円	八八〇 円

二 体育館

区 分	利 用 料 金					
	午前八時 から 三十分か ら 正午まで	午後一時 から 午後五時 まで	午後五時 から 午後九時 まで	午前八時 から 三十分か ら 午後五時 まで	午後一時 から 午後九時 まで	午前八時 から 三十分か ら 午後九時 まで
体育館	一、三二〇 円	一、七六〇 円	二、四二〇 円	三、〇八〇 円	四、一八〇 円	五、五〇〇 円

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、第二条の改正規定及び次項の規定は、公布の日から施行する。
- この条例の施行の日前において、三重県身体障害者総合福祉センター条例第三条第一項に規定する指定管理者から同条例第十九条第二項の規定により利用料金の承認の申請があつた場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県身体障害者総合福祉センター条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

三重県生活環境の保全に関する条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第二十五号

三重県生活環境の保全に関する条例の一部を改正する条例

三重県生活環境の保全に関する条例（平成十三年三重県条例第七号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>（土壌汚染対策に係る意見の聴取）</p> <p>第七十二条の六 知事は、次に掲げる事項に関し必要があると認めるときは、あらかじめ土壌汚染対策に関し専門的知識を有する者（次項及び次条において「土壌汚染対策専門委員」という。）の意見を聴くものとする。</p> <p>一・二 （略）</p> <p>三 土壌汚染対策法第七條第十項の規定に基づく指示措置に関すること。</p> <p>四 （略）</p> <p>五 土壌汚染対策法第二十七條の五の規定に基づく協議の成立に係る施設の構造及び処理能力に関すること。</p> <p>六 （略）</p> <p>2 （略）</p> <p>（県内搬入に係る届出）</p> <p>第七十二条の八 特定有害物質による汚染の状態が土壌汚染対策法第六條第一項第一号の環境省令で定める基準に適合しない土壌を処分するために自ら又は他人に委託して当該土壌を県内に搬入しようとする土地の所有者等は、最初に搬入する日の十五日前までに、規則で定めるところにより、当該土壌の数量、処分の方法及び期間その他の規則で定める事項を知事に届け出なければならない。</p>	<p>（土壌汚染対策に係る意見の聴取）</p> <p>第七十二条の六 知事は、次に掲げる事項に関し必要があると認めるときは、あらかじめ土壌汚染対策に関し専門的知識を有する者（次項及び次条において「土壌汚染対策専門委員」という。）の意見を聴くものとする。</p> <p>一・二 （略）</p> <p>三 土壌汚染対策法第七條第五項の規定に基づく指示措置に関すること。</p> <p>四 （略）</p> <p>五 （略）</p> <p>2 （略）</p> <p>（県内搬入に係る届出）</p> <p>第七十二条の八 特定有害物質による汚染の状態が土壌汚染対策法第五條第一項の環境省令で定める基準に適合しない土壌を処分するために自ら又は他人に委託して当該土壌を県内に搬入しようとする土地の所有者等は、最初に搬入する日の十五日前までに、規則で定めるところにより、当該土壌の数量、処分の方法及び期間その他の規則で定める事項を知事に届け出なければならない。</p>

附 則

この条例は、平成三十一年四月一日から施行する。ただし、第七十二条の八の改正規定は、公布の日から施行する。

三重県環境学習情報センター条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第二十六号

三重県環境学習情報センター条例の一部を改正する条例

三重県環境学習情報センター条例（平成十一年三重県条例第三十六号）の一部を次のように改正する。

別表第一を次のように改める。

別表第一（第十二条、第十九条関係）

区 分			金 額（円）		
			午前九時から 正午まで	午後一時から 午後五時まで	午後六時から 午後九時まで
研 修 室	営利又は宣 伝を目的と する催物の 場合	全部使用	九、一一〇	一〇、九三〇	一〇、九三〇
		三分の二 使用	六、〇七〇	七、二九〇	七、二九〇
		三分の一 使用	三、〇三〇	三、六四〇	三、六四〇
	その他の場 合	全部使用	四、五五〇	五、四六〇	五、四六〇
		三分の二 使用	三、〇三〇	三、六四〇	三、六四〇
		三分の一 使用	一、五一〇	一、八二〇	一、八二〇
分 析 実 習 室	営利又は宣伝を目的とする 催物の場合		五、九七〇	七、一六〇	七、一六〇
	その他の場合		二、九八〇	三、五八〇	三、五八〇

備考

- 一 午前九時から午後五時まで、午前九時から午後九時まで又は午後一時から午後九時までの時間の金額は、それぞれ単位となっている利用時間の金額を合算した額とする。
- 二 単位となっている利用時間を超えて利用する場合の金額は、超過時間一時間（一時間未満のときは、一時間とする。）当たり直前（直前がない場合にあっては直後）の単位となっている利用時間の一時間当たりの額（その額に十円未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てた額）とする。
- 三 センターの附属設備及び備品 一点又は一式につき 二、〇九〇円

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前において、三重県環境学習情報センター条例第三条第一項に規

定する指定管理者から同条例第十九条第二項の規定により利用料金の承認の申請があった場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県環境学習情報センター条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

大気汚染防止法第四条第一項の規定に基づく排出基準及び水質汚濁防止法第三条第三項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第二十七号

大気汚染防止法第四条第一項の規定に基づく排出基準及び水質汚濁防止法第三条第三項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部を改正する条例

大気汚染防止法第四条第一項の規定に基づく排出基準及び水質汚濁防止法第三条第三項の規定に基づく排水基準を定める条例（昭和四十六年三重県条例第六十号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後					改 正 前				
別表第一（第一条関係）					別表第一（第一条関係）				
適用 区域	施設の 種類	施設の 規模	許容 限度	標準 酸素 濃度	適用 区域	施設の 種類	施設の 規模	許容 限度	標準 酸素 濃度
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
備考					備考				
1 (略)					1 (略)				
2 この表の許容限度の欄に掲げるばいじんの量は、次の式により算出されたばいじんの量とする。					2 この表の許容限度の欄に掲げるばいじんの量は、次の式により算出されたばいじんの量とする。				
$C = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \cdot C_s$					$C = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \cdot C_s$				
この式において、 C 、 O_n 、 O_s 及び C_s は、それぞれ次の値を表すものとする。 C ばいじんの量（単位 グラム） O_n この表の標準酸素濃度の欄に掲げる値 O_s 排出ガス中の酸素の濃度（当該濃度が二〇パーセントを超える場合にあつては、二〇パーセントとする。）（単位 百分率） C_s <u>日本産業規格</u> （以下「規格」という。）Z 8808に定める方					この式において、 C 、 O_n 、 O_s 及び C_s は、それぞれ次の値を表すものとする。 C ばいじんの量（単位 グラム） O_n この表の標準酸素濃度の欄に掲げる値 O_s 排出ガス中の酸素の濃度（当該濃度が二〇パーセントを超える場合にあつては、二〇パーセントとする。）（単位 百分率） C_s <u>日本工業規格</u> （以下「規格」という。）Z 8808に定める方				

<p>法により測定されたばいじんの 量（単位 グラム）</p> <p>3・4 （略）</p>	<p>法により測定されたばいじんの 量（単位 グラム）</p> <p>3・4 （略）</p>
--	--

附 則

この条例は、平成三十一年七月一日から施行する。

三重県人権センター条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第二十八号

三重県人権センター条例の一部を改正する条例

三重県人権センター条例（平成八年三重県条例第二十三号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後					改 正 前					
別 表（第七条関係）					別 表（第七条関係）					
区 分	使 用 料（円）			区 分	使 用 料（円）					
								午前九時 から正午 まで	午後一時 から午後 五時まで	午前九時 から正午 まで
平 日	入 場 料 を徴収 しない 場合及 び入場 料の額 が千円 以下 の場合	入 場 料 を徴収 しない 場合及 び入場 料の額 が千円 以下 の場合	営 利 又 は 宣 伝 を 目 的 と する 催 物 の と き	六、四〇〇	九、六〇〇	入 場 料 を徴収 しない 場合及 び入場 料の額 が千円 以下 の場合	入 場 料 を徴収 しない 場合及 び入場 料の額 が千円 以下 の場合	営 利 又 は 宣 伝 を 目 的 と する 催 物 の と き	六、二八〇	九、四三〇
		その他	四、二六〇	六、四〇〇	その他		四、一八〇	六、二八〇		
	入 場 料 の 額 が 千 一 円 以 上 三 千 円 以 下 の 場 合	入 場 料 の 額 が 千 一 円 以 上 三 千 円 以 下 の 場 合	営 利 又 は 宣 伝 を 目 的 と する 催 物 の と き	八、五三〇	一三、八一〇	入 場 料 の 額 が 千 一 円 以 上 三 千 円 以 下 の 場 合	入 場 料 の 額 が 千 一 円 以 上 三 千 円 以 下 の 場 合	営 利 又 は 宣 伝 を 目 的 と する 催 物 の と き	八、三八〇	一三、五七〇
		その他	六、四〇〇	九、六〇〇	その他		六、二八〇	九、四三〇		
入 場 料 の 額 が 三 千 一 円 以 上 五 千 円 以 下 の 場 合	入 場 料 の 額 が 三 千 一 円 以 上 五 千 円 以 下 の 場 合	一〇、六七〇	一六、〇一〇	入 場 料 の 額 が 三 千 一 円 以 上 五 千 円 以 下 の 場 合	一〇、四八〇	一五、七二〇	入 場 料 の 額 が 五 千 一 円 以 上	入 場 料 の 額 が 五 千 一 円 以 上	一八、八六〇	
	入 場 料 の 額 が 五 千 一 円 以 上	一三、八一〇	一九、二一〇	入 場 料 の 額 が 五 千 一 円 以 上	一三、五七〇	一九、八六〇				

[illegible]

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前に三重県人権センター条例第三条第一項に規定する使用の許可を受けたものについては、なお従前の例による。

みえ県民交流センター条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第二十九号

みえ県民交流センター条例の一部を改正する条例

みえ県民交流センター条例（平成十三年三重県条例第四号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
別表（第十二条、第十九条関係） 一 ミーディングルーム				別表（第十二条、第十九条関係） 一 ミーディングルーム			
区 分		単 位	金 額（円）	区 分		単 位	金 額（円）
ミーティングルーム A	営利又は	一時間に	一、〇四〇	ミーティングルーム A	営利又は	一時間に	一、〇二〇
	宣伝を目的とする催物に利用する場合	つき	〇		宣伝を目的とする催物に利用する場合	つき	〇
ミーティングルーム B	営利又は	一時間に	一、〇四〇	ミーティングルーム B	営利又は	一時間に	一、〇二〇
	宣伝を目的とする催物に利用する場合	つき	〇		宣伝を目的とする催物に利用する場合	つき	〇
ミーティングルーム A	営利又は	一時間に	一、〇四〇	ミーティングルーム A	営利又は	一時間に	一、〇二〇
	宣伝を目的とする催物に利用する場合	つき	〇		宣伝を目的とする催物に利用する場合	つき	〇
ミーティングルーム B	営利又は	一時間に	一、〇四〇	ミーティングルーム B	営利又は	一時間に	一、〇二〇
	宣伝を目的とする催物に利用する場合	つき	〇		宣伝を目的とする催物に利用する場合	つき	〇
備考（略）				備考（略）			
二 交流スペース				二 交流スペース			
区 分		単 位	金 額（円）	区 分		単 位	金 額（円）
交流スペース A	営利又は	一時間に	五、二三〇	交流スペース A	営利又は	一時間に	五、一四〇
	宣伝を目的とする催物に利用する場合	つき	〇		宣伝を目的とする催物に利用する場合	つき	〇

	用 合 場 合	用 合 場 合	
	そ 利 場 合	そ 利 場 合	
	に 用 場 合	に 用 場 合	
	一 時 間 に 一 、 五 七 〇	一 時 間 に 一 、 五 四 〇	
	つ き	つ き	
備考（略）			
三 センターの附属設備			
区 分	単 位	金 額（円）	
一 点 又 は 一 式	一 回 に つ き	五 二 〇	

	用 合 場 合	用 合 場 合	
	そ 利 場 合	そ 利 場 合	
	に 用 場 合	に 用 場 合	
	一 時 間 に 一 、 五 四 〇	一 時 間 に 一 、 五 四 〇	
	つ き	つ き	
備考（略）			
三 センターの附属設備			
区 分	単 位	金 額（円）	
一 点 又 は 一 式	一 回 に つ き	五 一 〇	

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前において、みえ県民交流センター条例第三条第一項に規定する指定管理者から同条例第十九条第二項の規定により利用料金の承認の申請があつた場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後のみえ県民交流センター条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

三重県地方卸売市場条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第三十号

三重県地方卸売市場条例の一部を改正する条例

三重県地方卸売市場条例（平成十八年三重県条例第七十三号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
（卸売予定数量等の報告） 第五十三条 （略） 2 （略） 3 卸売業者は、毎月、規則で定めるところにより、前月中に卸売をした物品の数量及び卸売金額（単価に数量を乗じて得た金額にその百分の十に相当する金額を加えた金額をいう。以下同じ。）を指定管理者に報告しなければならない。 （仕切り及び送金） 第五十五条 卸売業者は、受託物品の卸売をしたときは、委託者に対して、その卸売をした日の翌日（売買仕切書又は売買仕切金の送付について委託者との特約がある場合には、その特約の期日）までに、当該卸売をした物品の品目、等級、単価、数量、単価に数量を乗じて得た金額の合計額、当該合計額の百分の十に相当する金額（当該委託者の責めに帰すべき理由により、第五十八条ただし書の規定による卸売代金の変更をした物品については、当該変更に係る品目、等級、単価、数量、単価に数量を乗じて得た金額の合計額及び当該合計額の百分の十に相当する金額）、控除すべき 第五十六条第一項に規定する委託手数料の率により算出された委託手数料、当該卸売に係る費用のうち委託者の負担となる費用の項目及び金額（消費税額及び地方消	（卸売予定数量等の報告） 第五十三条 （略） 2 （略） 3 卸売業者は、毎月、規則で定めるところにより、前月中に卸売をした物品の数量及び卸売金額（単価に数量を乗じて得た金額にその百分の八に相当する金額を加えた金額をいう。以下同じ。）を指定管理者に報告しなければならない。 （仕切り及び送金） 第五十五条 卸売業者は、受託物品の卸売をしたときは、委託者に対して、その卸売をした日の翌日（売買仕切書又は売買仕切金の送付について委託者との特約がある場合には、その特約の期日）までに、当該卸売をした物品の品目、等級、単価、数量、単価に数量を乗じて得た金額の合計額、当該合計額の百分の八に相当する金額（当該委託者の責めに帰すべき理由により、第五十八条ただし書の規定による卸売代金の変更をした物品については、当該変更に係る品目、等級、単価、数量、単価に数量を乗じて得た金額の合計額及び当該合計額の百分の八に相当する金額）、控除すべき 第五十六条第一項に規定する委託手数料の率により算出された委託手数料、当該卸売に係る費用のうち委託者の負担となる費用の項目及び金額（消費税額及び地方消

<p>費税額を含む。)並びに差引仕切金の額を明記した売買仕切書並びに売買仕切金を送付しなければならない。</p> <p>(買受代金の即時支払義務)</p>	<p>費税額を含む。)並びに差引仕切金の額を明記した売買仕切書並びに売買仕切金を送付しなければならない。</p> <p>(買受代金の即時支払義務)</p>
<p>第五十七条 買受人は、卸売業者から買い受けた物品の引渡しを受けると同時に(卸売業者が買受人と支払猶予の特約をしたときは、その特約において定められた期日までに)、買い受けた物品の代金(買い受けた額にその百分の十に当たる額を加えた額とする。)を支払わなければならない。</p>	<p>第五十七条 買受人は、卸売業者から買い受けた物品の引渡しを受けると同時に(卸売業者が買受人と支払猶予の特約をしたときは、その特約において定められた期日までに)、買い受けた物品の代金(買い受けた額にその百分の八に当たる額を加えた額とする。)を支払わなければならない。</p>
<p>2 (略)</p> <p>(利用料金等)</p>	<p>2 (略)</p> <p>(利用料金等)</p>
<p>第六十六条 指定管理者は、市場施設の利用料金を月単位で自己の収入として收受するものとし、その額は、別表の金額に百分の百十を乗じて得た金額(卸売業者市場利用料金及び仲卸業者市場利用料金にあつては、同表の金額)の範囲内で知事の承認を得て定めるものとする。</p>	<p>第六十六条 指定管理者は、市場施設の利用料金を月単位で自己の収入として收受するものとし、その額は、別表の金額に百分の百八を乗じて得た金額(卸売業者市場利用料金及び仲卸業者市場利用料金にあつては、同表の金額)の範囲内で知事の承認を得て定めるものとする。</p>
<p>2 5 (略)</p>	<p>2 5 (略)</p>

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、附則第四項の規定は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の第五十三条、第五十五条及び第五十七条の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後に卸売をされ、又は買い受けられた物品について適用し、施行日前に卸売をされ、又は買い受けられた物品については、なお従前の例による。
- 3 施行日から平成三十五年九月三十日までの間において飲食料品(食品表示法(平成二十五年法律第七十号)第二条第一項に規定する食品(酒税法(昭和二十八年法律第六号)第二条第一項に規定する酒類を除く。)をいう。)として卸売をされ、又は買い受けられた物品に係る改正後の第五十三条、第五十五条及び第五十七条の規定の適用については、これらの規定中「百分の十」とあるのは「百分の八」とする。

(準備行為)

- 4 施行日前において、三重県地方卸売市場条例第二条第一項に規定する指定管理者から同条例第六十六条第一項の規定により利用料金の承認の申請があつた場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県地方卸売市場条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

三重県漁港管理条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第三十一号

三重県漁港管理条例の一部を改正する条例

三重県漁港管理条例（昭和三十八年三重県条例第六十三号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前									
別表第一（第十四条関係）				別表第一（第十四条関係）									
料 占 用	料 利 用	類 の 種 等	施 設 の 種 類	料 利 用	類 の 種 等	施 設 の 種 類	利 用 料 等 の 額						
料 占 用	料 利 用	類 の 種 等	施 設 の 種 類	料 利 用	類 の 種 等	施 設 の 種 類	利 用 料 等 の 額						
（略）				（略）									
備考				備考									
1 利用若しくは占用の期間、面積等が一日、一月、一平方メートル、一メートル若しくは総トン数一トン未満であるとき又は利用若しくは占用の期間、面積等に一日、一月、一平方メートル、一メートル若しくは総トン数一トン未満の端数があるときは、これらをそれぞれ一日、一月、一平方メートル、一メートル又は総トン数一トンとして額を計算する。				1 一日、一月、一平方メートル、一メートル又は総トン数一トン未満の端数があるときは、これをそれぞれ一日、一月、一平方メートル、一メートル又は総トン数一トンとして額を計算する。									
2 占用の期間が一年未満であるとき				2 一年未満の端数があるときは、月割									

又は占用の期間に一年未満の端数があるときの占用料の算定は月割で計算する。この場合において、占用の期間が一月未満であるとき又は占用の期間に一月未満の端数があるときは、その占用の期間又はその占用の期間の端数は、一月として計算する。

- 3| この表に掲げる占用料については、
 占用の期間が一月未満であるときには消費税及び地方消費税を徴収し、この表の利用料等の額をもつて計算した額に百分の百十を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、占用の期間が一月以上であるときには消費税及び地方消費税は徴収しない。

別表第二（第十四条の二関係）

一 土砂採取料

種 別	単 位	金 額
土 砂	一立方メートルにつき	一一一〇円
砂	一立方メートルにつき	一一一〇円
砂 利	一立方メートルにつき	一一一〇円
かき込み 砂 利	一立方メートルにつき	一一一〇円
栗石及び 玉石	径八センチメートル以上二〇センチメートル未満のもの の一立方メートルにつき	一一一〇円
	控長二〇センチメートル以上三〇センチメートル未満のもの の 一 個につき	六六円
	控長三〇センチ	

によつて額を計算する。この場合において、一月未満の端数があるときは、これを一月とする。

別表第二（第十四条の二関係）

一 土砂採取料

種 別	単 位	金 額
土 砂	一立方メートルにつき	一一六円
砂	一立方メートルにつき	一一六円
砂 利	一立方メートルにつき	一一六円
かき込み 砂 利	一立方メートルにつき	一一六円
栗石及び 玉石	径八センチメートル以上二〇センチメートル未満のもの の一立方メートルにつき	一一六円
	控長二〇センチメートル以上三〇センチメートル未満のもの の 一 個につき	六四円
	控長三〇センチ	

野面石	チメートル以上四〇センチメートル未満のもの一個につき	八八円
転石（割石を含む。）	チメートル以上六〇センチメートル未満のもの一個につき	一五四円
	控長六〇センチメートル以上一立方メートルにつき	一一、二〇〇円

備考（略）

二 占用料

種 別	単 位	年額占用料
（略）	（略）	（略）

備考

- 1 占用の面積若しくは埋設管線類等の長さが一平方メートル若しくは一メートル未満であるとき又は占用の面積若しくは埋設管線類等の長さに一平方メートル若しくは一メートル未満の端数があるときは、これらをそれぞれ一平方メートル又は一メートルとする。
- 2 占用の期間が一年未満であるとき又は占用の期間に一年未満の端数があるときの占用料の算定は月割で計算する。この場合において、占用の期間が一月未満であるとき又は占用の期間に一月未満の端数があるときは、その占用の期間又はその占用の期間の端数は、一月として計算する。
- 3 占用の期間が一月未満であるときには消費税及び地方消費税を徴収し、

野面石	チメートル以上四〇センチメートル未満のもの一個につき	八六円
転石（割石を含む。）	チメートル以上六〇センチメートル未満のもの一個につき	一五一円
	控長六〇センチメートル以上一立方メートルにつき	一一、一六〇円

備考（略）

二 占用料

種 別	単 位	年額占用料
（略）	（略）	（略）

備考

- 1 占用の期間が一年未満であるとき、又は占用の期間に一年未満の端数があるときの占用料の算定は月割で計算する。この場合において、占用の期間が一月未満であるとき、又は占用の期間に一月未満の端数があるときは、その占用の期間又はその占用の期間の端数は、一月として計算する。
- 2 占用の面積が一平方メートル未満であるとき、又は占用の面積に一平方メートル未満の端数があるときは、その占用の面積又はその占用の面積の端数は一平方メートルとする。
- 3 占用の期間が一月未満であるときには消費税及び地方消費税を徴収し、

<p>この表の年額占用料をもつて計算した額に百分の百十を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、占用の期間が一月以上であるときには消費税及び地方消費税は徴収しない。</p> <p>4 (略)</p>	<p>この表の年額占用料をもつて計算した額に百分の百八を乗じて得た額を徴収する額とする。ただし、占用の期間が一月以上であるときには消費税及び地方消費税は徴収しない。</p> <p>4 (略)</p>
---	---

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前に三重県漁港管理条例第十一条第一項若しくは第十二条第一項の許可を受けたもの又は漁港漁場整備法（昭和二十五年法律第百三十七号）第三十九条第一項の規定による土砂の採取若しくは水面若しくは土地の占用の許可を受けたものについては、なお従前の例による。

三重県港湾施設管理条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第三十二号

三重県港湾施設管理条例の一部を改正する条例

三重県港湾施設管理条例（昭和四十八年三重県条例第二十一号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>（使用料）</p> <p>第十五条 第三条の規定による許可を受けた者は、別表第四に定める額の使用料を当該許可を受けた日から<u>三十日以内</u>に納付しなければならない。ただし、当該許可に係る使用の期間が翌年度以降にわたる場合においては、翌年度以降に係る使用料は、毎年度、当該年度分を四月三十日まで に納付しなければならない。</p> <p>（入港料）</p> <p>第十七条 船舶（前条各号に掲げる船舶、次項に規定する船舶及び法第四十四条の二第一項ただし書に規定する船舶を除く。）が別表第三に掲げる港湾に入港したときは、入港一回につき、総トン数一トンまでごとに二円（専ら本邦と外国との間の旅客又は貨物の輸送の用に供される船舶（以下「外航船舶」という。）を除く船舶については、<u>一円十銭</u>）の入港料をその届出をした日から<u>三十日以内</u>に納付しなければならない。ただし、次の各号に掲げる入港については、この限りでない。</p> <p>一・二 （略）</p> <p>2 海上運送法（昭和二十四年法律第百八十七号）第二条第十項に規定する自動車航送をする船舶（前条各号に掲げる船舶を除く。）が別表第三に掲げる港湾に入港したときは、入港一回につき、総トン数に<u>一円</u></p>	<p>（使用料）</p> <p>第十五条 第三条の規定による許可を受けた者は、別表第四に定める額の使用料を当該許可を受けた日から<u>十五日以内</u>に納付しなければならない。ただし、当該許可に係る使用の期間が翌年度以降にわたる場合においては、翌年度以降に係る使用料は、毎年度、当該年度分を四月三十日まで に納付しなければならない。</p> <p>（入港料）</p> <p>第十七条 船舶（前条各号に掲げる船舶、次項に規定する船舶及び法第四十四条の二第一項ただし書に規定する船舶を除く。）が別表第三に掲げる港湾に入港したときは、入港一回につき、総トン数一トンまでごとに二円（専ら本邦と外国との間の旅客又は貨物の輸送の用に供される船舶（以下「外航船舶」という。）を除く船舶については、<u>一円八銭</u>）の入港料をその届出をした日から<u>十五日以内</u>に納付しなければならない。ただし、次の各号に掲げる入港については、この限りでない。</p> <p>一・二 （略）</p> <p>2 海上運送法（昭和二十四年法律第百八十七号）第二条第十項に規定する自動車航送をする船舶（前条各号に掲げる船舶を除く。）が別表第三に掲げる港湾に入港したときは、入港一回につき、総トン数に<u>一円</u></p>

<p>十銭を乗じて得た額の範囲内において知事が定める額の入港料をその届出をした日から三十日以内に納付しなければならない。</p> <p>3 (略)</p>	<p>八銭を乗じて得た額の範囲内において知事が定める額の入港料をその届出をした日から十五日以内に納付しなければならない。</p> <p>3 (略)</p>
---	---

別表第四を次のように改める。

別表第四 (第十五条関係)

港湾施設使用料

区分	港湾施設の		使用料	
	種類		単 位	金 額
一	岸壁、さん橋、浮き場又は物揚	定期航路事業に従事する船舶	けい留一回当たり トン数一トンにつき	外航船舶四円 その他の船舶四円 四〇銭
		定期航路事業に従事する船舶以外の船舶	けい留一回当たり トン数一トンにつき	外航船舶五円 その他の船舶五円 五〇銭
二	荷さばき地	一日当たり 一平方メートルにつき		四円四〇銭 (五円五〇銭)
三	上屋	津松阪(松阪区)	一般使用	一日当たり 一平方メートルにつき
		引本港	専用使用	一月当たり 一平方メートルにつき
			一般使用	一日当たり 一平方メートルにつき
		引本港	専用使用	一月当たり 一平方メートルにつき
四	野積場	一般使用	一日当たり 一平方メートルにつき	四円四〇銭 (五円五〇銭)
		専用使用	一月当たり 一平方メートルにつき	八八円 (一一〇円)
		広告物設置	一平方メートル 一年につき	一〇〇円
		第一種電柱	一本 一年につき	一、二〇〇円
		第二種電柱	一本 一年につき	一、八〇〇円
		第三種電柱	一本 一年につき	一、五〇〇円
		第一種電話柱	一本 一年につき	一、一〇〇円
		第二種電話柱	一本 一年につき	一、七〇〇円
		第三種電話柱	一本 一年につき	一、四〇〇円
		その他の柱類	一本 一年につき	八二円

五	地 港 湾 施 設 用	鉄 塔	一平方メートル 一年につ	一、六〇〇円
			外口径一〇センチメートル未満のもの 一メートル一年につ	五五円
			外口径一〇センチメートル以上一五センチメートル未満のもの 一メートル一年につ	八二円
			外口径一五センチメートル以上二〇センチメートル未満のもの 一メートル一年につ	一一〇円
			外口径二〇センチメートル以上四〇センチメートル未満のもの 一メートル一年につ	一二二〇円
			外口径四〇センチメートル以上一メートル未満のもの 一メートル一年につ	五五〇円
			外口径一メートル以上のもの 一メートル一年につ	一、一〇〇円
		架 設	一日当たり 一平方メートルにつ	五円五〇銭
			一月当たり 一平方メートルにつ	一〇〇円
			その他	
六	給 水 施 設	一 般 使 用	給水量一立方メートルにつ	外航船舶四七〇円 その他の船舶五一七円
		専 用 使 用	一基 一年につ	二四、八一七円
七	港 湾 設 備 等	二〇トンクレーン	一基 一月につ	三五六、〇〇〇円
		県有船（ぬのびき）	一隻 一月につ	六一、〇〇〇円

備考 一 定期航路事業とは、海上運送法第二条第三項に規定する定期航路事業をいふ。

二 一般使用とは、使用の期間が一月未満のものをいい、専用使用とは、使用の

- 期間が一月以上のものをいう。
- 三 引き続き二十四時間以上けい留する場合のけい留回数については、けい留時間が二十四時間までごとに一回とする。
- 四 総トン数が一トン未満であるとき又は総トン数に一トン未満の端数があるときは、当該総トン数又は総トン数の端数は、一トンとする。
- 五 使用の面積が一平方メートル未満であるとき又は使用の面積に一平方メートル未満の端数があるときは、当該使用の面積又は使用の面積の端数は、一平方メートルとする。
- 六 管類の埋設又は架設をする場合において、当該管類の長さが一米メートル未満であるとき又はその長さに一米メートル未満の端数があるときは、当該管類の長さ又は管類の長さの端数は、一米メートルとする。
- 七 使用料の金額が年額で定められている港湾施設に係る使用料の額の算定については、使用の期間が一年未満であるとき又は使用の期間に一年未満の端数があるときは、月割により計算する。この場合において、使用の期間に一月未満の端数があるときは、当該端数は一月とみなして計算する。
- 八 使用料の金額が月額で定められている港湾施設に係る使用料の額の算定については、使用の期間に一月未満の端数があるときは、日割により計算する。この場合において、日割計算は、一月を二十日として計算する。
- 九 かつこ内に定める使用料の額は、舗装されている荷さばき地又は野積場に係る使用の場合について適用する。
- 十 荷さばき地又は上屋に係る使用の期間が一日である場合における使用料は、無料とする。
- 十一 使用料の額に一円未満の端数があるときは、当該使用料の額の端数は、切り捨てるものとする。
- 十二 広告物の面積が、使用の面積より大きいときは、その面積をもつて使用の面積とする。
- 十三 第一種電柱とは、電柱（当該電柱に設置される変圧器を含む。以下この号及び次号において同じ。）のうち三条以下の電線（当該電柱を設置する者が設置するものに限る。以下この号において同じ。）を支持するものを、第二種電柱とは、電柱のうち四条又は五条の電線を支持するものを、第三種電柱とは、電柱のうち六条以上の電線を支持するものをいうものとする。
- 十四 第一種電話柱とは、電話柱（電話その他の通信又は放送の用に供する電線を支持する柱をいい、電柱であるものを除く。以下この号において同じ。）のうち三条以下の電線（当該電話柱を設置する者が設置するものに限る。以下この号において同じ。）を支持するものを、第二種電話柱とは、電話柱のうち四条又は五条の電線を支持するものを、第三種電話柱とは、電話柱のうち六条以上の電線を支持するものをいうものとする。
- 十五 港湾施設用地のうち、使用料の金額が年額で定められているものについて、使用の期間が一月未満であるときには消費税及び地方消費税を徴収し、この表の年額使用料をもつて計算した額に百分の百十を乗じて得た額を徴収する額と

する。ただし、使用の期間が一月以上であるときには消費税及び地方消費税は徴収しない。

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前に三重県港湾施設管理条例第三条の規定による許可を受けたものに係る使用料又は同条例第十六条の規定による届出をしたものに係る入港料については、なお従前の例による。

三重県都市公園条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第三十三号

三重県都市公園条例の一部を改正する条例

三重県都市公園条例（昭和四十七年三重県条例第三十三号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後			改 正 前		
別表第二（第十条、第十四条の十六関係）			別表第二（第十条、第十四条の十六関係）		
種 別	単 位	金 額	種 別	単 位	金 額
一 （略）	（略）	（略）	一 （略）	（略）	（略）
二 公園施設を管理する場合	年額一平方メートル	六六〇円	二 公園施設を管理する場合	年額一平方メートル	六四〇円
三 （略）	（略）	（略）	三 （略）	（略）	（略）
四 行為の許可受者が次に掲げる行為をする場合	（略）	（略）	四 行為の許可受者が次に掲げる行為をする場合	（略）	（略）
イ （略）	（略）	（略）	イ （略）	（略）	（略）
ロ ロケーションを行うもの	日額一台	一、三二〇円	ロ ロケーションを行うもの	日額一台	一、二九〇円
ハ （略）	（略）	（略）	ハ （略）	（略）	（略）
五 北勢中央公園の公園施設を利用する場合	（略）	（略）	五 北勢中央公園の公園施設を利用する場合	（略）	（略）
イ 野球場	一時間	児童生徒等 五五〇円 その他の者 一、一〇〇円 〔夜間照明設備を利用〕	イ 野球場	一時間	児童生徒等 五四〇円 その他の者 一、〇八〇円 〔夜間照明設備を利用〕

六 大仏山公園 の公園施設を	ハ テニスコ ート	一時間一面	ロ 野球場附 属施設等（本 部室、放送室 及び放送設 備をいう。）	一時間	児童生徒 等 三三	〇円	その他の 者 六六	〇円	（ とす した額 を加算 〇〇円 五、五 れぞれ 額の金 右の合 する場 る。）
六 大仏山公園 の公園施設を	ハ テニスコ ート	一時間一面	ロ 野球場附 属施設等（本 部室、放送室 及び放送設 備をいう。）	一時間	児童生徒 等 三三	〇円	その他の 者 五五	〇円	（ とす した額 を加算 〇〇円 一、一 れぞれ 額の金 右の合 する場 る。）
六 大仏山公園 の公園施設を	ハ テニスコ ート	一時間一面	ロ 野球場附 属施設等（本 部室、放送室 及び放送設 備をいう。）	一時間	児童生徒 等 三二	〇円	その他の 者 六四	〇円	（ とす した額 を加算 〇〇円 五、四 れぞれ 額の金 右の合 する場 る。）

利用する場合		利用する場合	
イ 野球場		イ 野球場	
一 時間		一 時間	
ロ テニスコート		ロ テニスコート	
一 時間一面		一 時間一面	
児童生徒	児童生徒	児童生徒	児童生徒
等 五五	等 三三	等 五五	等 三三
〇円	〇円	〇円	〇円
その他の	その他の	その他の	その他の
者 一、一	者 五五	者 一、一	者 五五
〇〇円	〇円	〇〇円	〇円
〔 夜間照明設備を利用する場合、右の金額にそれぞれ五、五〇〇円を加算した額とする。 〕		〔 夜間照明設備を利用する場合、右の金額にそれぞれ一、一〇〇円を加算した額とする。 〕	
八〇〇円		八〇〇円	
八〇〇円		八〇〇円	
八〇〇円		八〇〇円	

七	ゲートボール場 (略)	一時間一面 (略)	とす る。 一〇〇円 (略)

備考

一〜七 (略)

八 公園施設の設置又は都市公園の占
用に係る許可の期間が一月未満であ
るときには消費税及び地方消費税を
徴収し、この表に掲げる金額をもつて
計算した額に百分の百十を乗じて得
た額を徴収する額とする。ただし、許
可の期間が一月以上であるときには
消費税及び地方消費税は徴収しない。

九 使用料の額に一円未満の端数があ
るときは、当該使用料の額の端数は、
切り捨てるものとする。

別表第三(五十鈴公園の公園施設を利用する
場合)

一 三重県営総合競技場の施設(会議室及
びステージを除く。)

イ 全部利用の場合

区分			金額
体 育 館	アマチュ アスポー ツに利用 する場合	入場料を 徴収しな い場合	三、〇四〇円
		入場料を 徴収する 場合	九、〇一〇円
	営利を目的として 利用する場合		七四、二八 〇円
	その他の催物に利 用する場合		一四、八八 〇円
体 育 館	アマチュ アスポー ツに利用 する場合	入場料を 徴収しな い場合	一、五六〇円
		入場料を 徴収する 場合	四、五〇〇円

七	ハ ゲートボ ール場 (略)	一時間一面 (略)	とす る。	
			一〇〇円	
			(略)	
備考 一〜七 (略)				

別表第三(五十鈴公園の公園施設を利用する 場合)				
一 三重県営総合競技場の施設(会議室及 びステージを除く。)				
イ 全部利用の場合				
区分			金額	
体 育 館	アマチュ アスポー ツに利用 する場合	入場料を 徴収しな い場合	二、九九〇円	
		入場料を 徴収する 場合	八、八五〇円	
	営利を目的として 利用する場合		七二、九三 〇円	
	その他の催物に利 用する場合		一四、六一 〇円	
体 育 館	アマチュ アスポー ツに利用 する場合	入場料を 徴収しな い場合	一、五四〇円	
		入場料を 徴収する 場合	四、四二〇円	

別館	陸上競技場			多目的広場
	営利を目的として 利用する場合	アマチュアスポーツに利用する場合	入場料を徴収しない場合	
		入場料を徴収する場合	入場料を徴収する場合	
			入場料を徴収する場合	
別館	営利を目的として 利用する場合	アマチュアスポーツに利用する場合	入場料を徴収しない場合	
		入場料を徴収する場合	入場料を徴収する場合	
			入場料を徴収する場合	
	補助競技場	営利を目的として 利用する場合	アマチュアスポーツに利用する場合	入場料を徴収しない場合
入場料を徴収する場合			入場料を徴収する場合	
			入場料を徴収する場合	
付帯投てき場	営利を目的として 利用する場合	アマチュアスポーツに利用する場合	入場料を徴収しない場合	
		入場料を徴収する場合	入場料を徴収する場合	
			入場料を徴収する場合	
	多目的広場	営利を目的として 利用する場合	アマチュアスポーツに利用する場合	入場料を徴収しない場合
入場料を徴収する場合			入場料を徴収する場合	
			入場料を徴収する場合	

備考 (略)

ロ 部分利用の場合

区分		金額
体育館	児童生徒等	五八〇円
	その他の者	一、二〇〇円
体育館別館	児童生徒等	(略)
	その他の者	七八〇円

備考 (略)

ハ (略)

ニ 飲食サービス、物品販売サービスその他のサービスを提供する場合

別館			場合	
	営利を目的として 利用する場合			三六、五一〇円
	その他の催物に利 用する場合			七、四〇〇円
陸上競技場	アマチュア スポーツに利用 する場合	入場料を 徴収しない 場合		三、五一〇円
		入場料を 徴収する 場合		一〇、一六〇円
	営利を目的として 利用する場合			八四、〇七〇円
	その他の催物に利 用する場合			一六、九三〇円
補助競技場	アマチュアスポーツ に利用する場合			一、八〇〇円
	営利を目的として 利用する場合			四二、八〇〇円
	その他の催物に利 用する場合			八、五〇〇円
付帯投てき場	アマチュアスポーツ に利用する場合			一、八〇〇円
	営利を目的として 利用する場合			四二、八〇〇円
	その他の催物に利 用する場合			八、五〇〇円
多目的広場				一、五〇〇円

備考 (略)

ロ 部分利用の場合

区分		金額
体育館	児童生徒等	五七〇円
	その他の者	一、一八〇円
体育館別館	児童生徒等	(略)
	その他の者	七七〇円

備考 (略)

ハ (略)

ニ 飲食サービス、物品販売サービスその他のサービスを提供する場合

区分	金額
一平方メートル当たり	一、〇一〇円

備考 (略)

二 三重県営総合競技場の会議室及びステージ

区分		金額
体育館	第一会議室	九一〇円
	第二会議室	一、一五〇円
	第三会議室	九一〇円
	ステージ(アマチュアスポーツに利用する場合を除く。)	二、四一〇円
陸上競技場	会議室(一室当たり)	一、三九〇円
	特別室	三、四六〇円

備考 (略)

三 三重県営総合競技場の設備等

イ 体育館

区分	金額
設備及び器具一点又は一式につき	一九、九〇〇円の範囲内において知事が定める額

ロ 体育館別館

区分	金額
設備及び器具一点又は一式につき	一九、九〇〇円の範囲内において知事が定める額

ハ 陸上競技場

区分		金額
設備及び器具一点又は一式につき(次に掲げるものを除く。)		一九、九〇〇円の範囲内において知事が定める額
大型映像装置	アマチュアスポーツに利用する場合	六、三九〇円
	アマチュアスポーツ以外に	一、二、七八〇円

区分	金額
一平方メートル当たり	一、〇〇〇円

備考 (略)

二 三重県営総合競技場の会議室及びステージ

区分		金額
体育館	第一会議室	九〇〇円
	第二会議室	一、一三〇円
	第三会議室	九〇〇円
	ステージ(アマチュアスポーツに利用する場合を除く。)	二、三七〇円
陸上競技場	会議室(一室当たり)	一、三七〇円
	特別室	三、四〇〇円

備考 (略)

三 三重県営総合競技場の設備等

イ 体育館

区分	金額
設備及び器具一点又は一式につき	一九、五四〇円の範囲内において知事が定める額

ロ 体育館別館

区分	金額
設備及び器具一点又は一式につき	一九、五四〇円の範囲内において知事が定める額

ハ 陸上競技場

区分		金額
設備及び器具一点又は一式につき(次に掲げるものを除く。)		一九、五四〇円の範囲内において知事が定める額
大型映像装置	アマチュアスポーツに利用する場合	六、二八〇円
	アマチュアスポーツ以外に	一、二、五五〇円

照明灯 (全灯)	利用する場合	
	アマチュアス ポーツに利用 する場合	三二、五九〇円
	アマチュアス ポーツ以外に 利用する場合	三九、一一〇円
照明灯 (二分の 一灯)	利用する場合	
	アマチュアス ポーツに利用 する場合	一六、二九〇円
	アマチュアス ポーツ以外に 利用する場合	一九、五五〇円
照明灯 (五分の 一灯)	利用する場合	
	アマチュアス ポーツに利用 する場合	六、五一〇円
	アマチュアス ポーツ以外に 利用する場合	七、八二〇円
照明灯 (十分の 一灯)	利用する場合	
	アマチュアス ポーツに利用 する場合	三、二五〇円
	アマチュアス ポーツ以外に 利用する場合	三、九一〇円

備考 (略)

ニ 補助競技場

区分		金額
器具一点又は一式につき		一九、九〇〇円の 範囲内において知 事が定める額
写真判定棟		一、〇一〇円
(略)		(略)
照明灯 (四基)	利用する場合	
	アマチュアス ポーツに利用 する場合	三、五六〇円
	アマチュアス ポーツ以外に 利用する場合	四、二七〇円

照明灯 (全灯)	利用する場合	
	アマチュアス ポーツに利用 する場合	三二、〇〇〇円
	アマチュアス ポーツ以外に 利用する場合	三八、四〇〇円
照明灯 (二分の 一灯)	利用する場合	
	アマチュアス ポーツに利用 する場合	一六、〇〇〇円
	アマチュアス ポーツ以外に 利用する場合	一九、二〇〇円
照明灯 (五分の 一灯)	利用する場合	
	アマチュアス ポーツに利用 する場合	六、四〇〇円
	アマチュアス ポーツ以外に 利用する場合	七、六八〇円
照明灯 (十分の 一灯)	利用する場合	
	アマチュアス ポーツに利用 する場合	三、二〇〇円
	アマチュアス ポーツ以外に 利用する場合	三、八四〇円

備考 (略)

ニ 補助競技場

区分		金額
器具一点又は一式につき		一九、五四〇円の 範囲内において知 事が定める額
写真判定棟		一、〇〇〇円
(略)		(略)
照明灯 (四基)	利用する場合	
	アマチュアス ポーツに利用 する場合	三、五〇〇円
	アマチュアス ポーツ以外に 利用する場合	四、二〇〇円

備考（略）		備考（略）	
ホ 付帯投てき場		ホ 付帯投てき場	
区分		金額	
器具一点又は一式につき		一九、九〇〇円の範囲内において知事が定める額	
照明灯 (三基)	アマチュアスポーツに利用する場合	二、八五〇円	
	アマチュアスポーツ以外に利用する場合	三、五六〇円	
備考（略）		備考（略）	
ヘ 補助競技場及び付帯投てき場		ヘ 補助競技場及び付帯投てき場	
区分		金額	
照明灯 (五基)		四、〇七〇円	
照明灯 (五基)	アマチュアスポーツに利用する場合	四、〇〇〇円	
	アマチュアスポーツ以外に利用する場合	五、〇九〇円	
備考（略）		備考（略）	
ト 多目的広場		ト 多目的広場	
区分		金額	
設備及び器具一点又は一式につき		一九、九〇〇円の範囲内において知事が定める額	
設備及び器具一点又は一式につき		一九、五四〇円の範囲内において知事が定める額	

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 この条例の施行の日前において、三重県都市公園条例第十四条の三第一項に規定する指定管理者から同条例第十四条の十六第二項の規定により利用料金の承認の申請があつた場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県都市公園条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

(経過措置)

- 3 この条例の施行の日前に都市公園法（昭和三十二年法律第七十九号）第五条第一項、第六条第一項若しくは第三項又は三重県都市公園条例第四条第一項若しくは第二項の許可を受けたものに係る使用料については、なお従前の例による。

三重県流域下水道条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第三十四号

三重県流域下水道条例の一部を改正する条例

三重県流域下水道条例（昭和六十二年三重県条例第二十八号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
別表（第十八条関係） 松阪処理区高須町公園のオートキャンプ場				別表（第十八条関係） 松阪処理区高須町公園のオートキャンプ場			
区 分	単 位	金 額 (円)	内 容	区 分	単 位	金 額 (円)	内 容
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
料 使 用 施 設	バン ガ ー ロ ー オ ト サ イ ト	一棟一泊 につき 〇	六、三〇	料 使 用 施 設	バン ガ ー ロ ー オ ト サ イ ト	一棟一泊 につき 〇	六、二〇
	フ リ ー サ イ ト	一区画一 泊につき 〇	五、三〇		フ リ ー サ イ ト	一区画一 泊につき 〇	五、二〇
	管 理 棟 和 室	半日につ き 〇	一、一〇		管 理 棟 和 室	半日につ き 〇	一、〇〇
	ベ ー キ ユ ー ー サ イ ト	一区画一 回につき 〇	一、一〇		ベ ー キ ユ ー ー サ イ ト	一棟一回 につき 〇	二、〇〇

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- この条例の施行の日前に三重県流域下水道条例第十四条第一項に規定する松阪処理区高須町公園の施設の使用の許可を受けたものについては、なお従前の例による。

三重県営住宅条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第三十五号

三重県営住宅条例の一部を改正する条例

三重県営住宅条例（平成九年三重県条例第五十二号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>（入居者の決定等）</p> <p>第九条（略）</p> <p>2（略）</p> <p>3 知事は、令第七条各号に掲げる者のうち、次の各号のいずれかに該当する者で速やかに県営住宅に入居することを必要としているものについては、前二項の規定にかかわらず、知事が割当をした県営住宅に優先的に選考して入居の決定をすることができる。</p> <p>一・二（略）</p> <p>三 現に同居し、又は同居しようとする子（<u>十八歳に達する日以後の最初の三月三十一日までの間にある者で、扶養親族である子に限る。</u>）を有する者</p> <p>四・五（略）</p> <p>4～6（略）</p>	<p>（入居者の決定等）</p> <p>第九条（略）</p> <p>2（略）</p> <p>3 知事は、令第七条各号に掲げる者のうち、次の各号のいずれかに該当する者で速やかに県営住宅に入居することを必要としているものについては、前二項の規定にかかわらず、知事が割当をした県営住宅に優先的に選考して入居の決定をすることができる。</p> <p>一・二（略）</p> <p>三 現に同居し、又は同居しようとする子（<u>十八歳未満の扶養親族である子に限る。</u>）を<u>三人以上</u>有する者</p> <p>四・五（略）</p> <p>4～6（略）</p>

附 則

この条例は、平成三十一年四月一日から施行する。

公立学校職員定数条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第三十六号

公立学校職員定数条例の一部を改正する条例

公立学校職員定数条例（昭和二十二年三重県条例第九号）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>（県立学校職員の定数）</p> <p>第三条 県立学校の職員の定数は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>一 高等学校</p> <p>校長、教員、養護教員及び実習助手 三、〇九一人</p> <p>事務職員及び技術職員 二七三人</p> <p>その他の職員 五九人</p> <p>計 三、四二三人</p> <p>二 特別支援学校</p> <p>校長、教員、養護教員、実習助手及び 寄宿舎指導員 一、一八四人</p> <p>栄養教諭及び学校栄養職員 一三人</p> <p>事務職員 八三人</p> <p>その他の職員 四人</p> <p>計 一、二八四人</p> <p>（市町立学校職員の定数）</p> <p>第四条 市町立学校職員の定数は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>一 小学校（義務教育学校の前期課程を含む。）</p> <p>校長及び教員 六、〇四二人</p> <p>養護教員 三五七人</p> <p>栄養教諭及び学校栄養職員 一一四人</p> <p>事務職員 三七三人</p> <p>計 六、八八六人</p> <p>二 中学校（義務教育学校の後期課程を含む。）</p> <p>校長及び教員 三、三二八人</p>	<p>（県立学校職員の定数）</p> <p>第三条 県立学校の職員の定数は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>一 高等学校</p> <p>校長、教員、養護教員及び実習助手 三、一六〇人</p> <p>事務職員及び技術職員 二三一人</p> <p>その他の職員 一〇七人</p> <p>計 三、四九八人</p> <p>二 特別支援学校</p> <p>校長、教員、養護教員、実習助手及び 寄宿舎指導員 一、一七九人</p> <p>栄養教諭及び学校栄養職員 一三人</p> <p>事務職員 六〇人</p> <p>その他の職員 三三人</p> <p>計 一、二八五人</p> <p>（市町立学校職員の定数）</p> <p>第四条 市町立学校職員の定数は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>一 小学校（義務教育学校の前期課程を含む。）</p> <p>校長及び教員 六、〇七一人</p> <p>養護教員 三六三人</p> <p>栄養教諭及び学校栄養職員 一一九人</p> <p>事務職員 三七五人</p> <p>計 六、九二八人</p> <p>二 中学校（義務教育学校の後期課程を含む。）</p> <p>校長及び教員 三、三六五人</p>

養護教員	一五二人	養護教員	一五一人
栄養教諭及び学校栄養職員	三〇人	栄養教諭及び学校栄養職員	二九人
事務職員	一六七人	事務職員	一六七人
計	三、六七七人	計	三、七二二人

附 則

この条例は、平成三十二年四月一日から施行する。

三重県総合博物館条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第三十七号

三重県総合博物館条例の一部を改正する条例

三重県総合博物館条例（平成二十五年三重県条例第六十四号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後					改 正 前				
別表第二（第二十二條関係）					別表第二（第二十二條関係）				
区 分	観 覧 料				区 分	観 覧 料			
	基本展示		企画展 示及びポ ート券 特別企 による観 覧	年間パス		基本展示		企画展 示及びポ ート券 特別企 による観 覧	年間パス
	個人	団体				個人	団体		
小学生、 中学生、 高校生及 びこれら に準ずる 者	—	—	展示等 を行う のに要 する費 用を勘 案して	—	小学生、 中学生、 高校生及 びこれら に準ずる 者	—	—	展示等 を行う のに要 する費 用を勘 案して	—
大学生及 びこれに 準ずる者	三〇〇 円	二四〇 円	その都 度知事 が定め る額	一、〇四〇 円	大学生及 びこれに 準ずる者	三〇〇 円	二四〇 円	その都 度知事 が定め る額	一、〇二〇 円
一 般	五二〇 円	四一〇 円		一、六七〇 円	一 般	五一〇 円	四〇〇 円		一、六四〇 円
備考（略）					備考（略）				
別表第三（第二十三條関係）					別表第三（第二十三條関係）				
区 分	使 用 料				区 分	使 用 料			
博物館資料	一回につき、一点五、二三〇円以下の範囲内において知事が定める額				博物館資料	一回につき、一点五、一四〇円以下の範囲内において知事が定める額			
交流展示室	一時間につき一、九八〇円				交流展示室	一時間につき一、九四〇円			
レクチャールーム	一時間につき一、七六〇円				レクチャールーム	一時間につき一、七二〇円			
備考（略）					備考（略）				

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前に三重県総合博物館条例第十八条又は第十九条に規定する許可を受けたもの又は改正前の第二十二条の規定により同条第一項の観覧料を納付したものについては、なお従前の例による。

斎宮歴史博物館条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第三十八号

斎宮歴史博物館条例の一部を改正する条例

斎宮歴史博物館条例（平成元年三重県条例第六号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
(観覧料)				(観覧料)			
第十一条 (略)				第十一条 (略)			
2 第七条の規定により特別観覧をしようとする者は、一点一回につき、三、一四〇円の範囲内で知事が定める額の特別観覧料を納付しなければならない。				2 第七条の規定により特別観覧をしようとする者は、一点一回につき、三、〇八〇円の範囲内で知事が定める額の特別観覧料を納付しなければならない。			
別表第一 (第十一条関係)				別表第一 (第十一条関係)			
区 分	観 覧 料			区 分	観 覧 料		
	個 人	団 体			個 人	団 体	
		人 (二〇人以上)	特別展、企画展その他特別な催物			人 (二〇人以上)	特別展、企画展その他特別な催物
小学生、中学生及びこれらに準ずる者	—	—	展示等を行うのに要する費用を勘	小学生、中学生及びこれらに準ずる者	—	—	展示等を行うのに要する費用を勘
大学生及びこれに準ずる者	二三〇円	一八〇円	案して、その都度知事が定める額	大学生及びこれに準ずる者	二三〇円	一八〇円	案して、その都度知事が定める額
一 般	三四〇円	二七〇円		一 般	三四〇円	二六〇円	
別表第二 (第十二条関係)				別表第二 (第十二条関係)			
施設等の名称	使 用 料			施設等の名称	使 用 料		
	九時から十二時まで	十三時から十七時まで	九時から十七時まで		九時から十二時まで	十三時から十七時まで	九時から十七時まで
特別展示	五、三三	六、四〇	一〇、六	特別展示	五、二三	六、二八	一〇、四

室	〇円	〇円	七〇円
講堂	五、三三 〇円	六、四〇 〇円	一〇、六 七〇円
研修室	一、五九 〇円	二、一二 〇円	三、一九 〇円
設備、機械等	一点又は一式につき、三、一九〇円の範囲内において知事が定める額		

備考（略）

室	〇円	〇円	八〇円
講堂	五、二三 〇円	六、二八 〇円	一〇、四 八〇円
研修室	一、五六 〇円	二、〇八 〇円	三、一三 〇円
設備、機械等	一点又は一式につき、三、一三〇円の範囲内において知事が定める額		

備考（略）

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前に斎宮歴史博物館条例第八条に規定する使用の許可を受けたもの又は改正前の第十一条の規定により同条第一項の観覧料若しくは同条第二項の特別観覧料を納付したものについては、なお従前の例による。

三重県立美術館条例の一部を改正する条例をここに公布します。
平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第三十九号

三重県立美術館条例の一部を改正する条例

第一条 三重県立美術館条例（昭和五十七年三重県条例第一号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
別表第一（第二十二条関係）				別表第一（第二十二条関係）			
区 分	観 覧 料			区 分	観 覧 料		
	個 人	常 設 展			個 人	常 設 展	
		団 体 （二十人以上）	企画展			団 体 （二十人以上）	企画展
小学生、中学生、高校生及びこれらに準ずる者	—	—	展示を行うのに要する費用を勘案し	小学生、中学生、高校生及びこれらに準ずる者	—	—	展示を行うのに要する費用を勘案し
大学生及びこれに準ずる者	一一〇円	一六〇円	で、その都度知事が定める	大学生及びこれに準ずる者	一一〇円	一六〇円	で、その都度知事が定める
一 般	三二〇円	二四〇円	額	一 般	三〇〇円	二四〇円	額

別表第二を次のように改める。

別表第二（第二十三条関係）

施設名	使用区分		使用料		
			午前九時から 正午まで	午後一時から 午後五時まで	午前九時から 午後五時まで
県民 ラビリンス	全部使用 （四三〇平方メートル）	観覧料又は 入場料を徴 収しない場 合	九、九〇〇円	一三、二〇〇円	一一、〇〇〇円
		観覧料又は 入場料を徴 収する場合	一四、八五〇円	一九、八〇〇円	三三、〇〇〇円

講堂	全部使用 (二四〇 平方メー トル)	観覧料又は 入場料を徴 収しない場 合	一〇、四五〇円	一三、七五〇円	一二、五五〇円
		観覧料又は 入場料を徴 収する場合	一五、六七〇円	二〇、六一〇円	三三、八二〇円
	部分使用 (一七七 平方メー トル)	観覧料又は 入場料を徴 収しない場 合	四、九五〇円	六、六〇〇円	一一、〇〇〇円
		観覧料又は 入場料を徴 収する場合	七、四二〇円	九、九〇〇円	一六、五〇〇円
	部分使用 (二五三 平方メー トル)	観覧料又は 入場料を徴 収しない場 合	七、一五〇円	九、三五〇円	一五、九五〇円
		観覧料又は 入場料を徴 収する場合	一〇、七二〇円	一四、〇二〇円	二二、九二〇円

第二条 三重県立美術館条例の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>(事業)</p> <p>第二条 美術館においては、次の事業を行う。</p> <p>一・二 (略)</p> <p>三 <u>別表第二に掲げる美術館の施設及び設備(以下「講堂等」という。)</u>を美術に関する展覧会等のために使用させること。</p> <p>四 <u>別表第三に掲げる美術館の施設及び設備(以下「県民ギャラリー等」という。)</u>を美術に関する展覧会等のために利用に供すること。</p> <p>五・六 (略)</p> <p>(指定管理者が行う業務の範囲)</p>	<p>(事業)</p> <p>第二条 美術館においては、次の事業を行う。</p> <p>一・二 (略)</p> <p>三 <u>美術館の施設又は設備(以下「施設等」という。)</u>を美術に関する展覧会等のために使用させること。</p> <p>四・五 (略)</p> <p>(指定管理者が行う業務の範囲)</p>

<p>第四条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。</p> <p>一 県民ギャラリー等の利用の許可等に関する業務</p> <p>二 第二十八条第一項に規定する利用料金の收受等に関する業務</p> <p>三 美術館の施設又は設備（以下「施設等」という。）の維持管理及び修繕に関する業務</p> <p>四 （略）</p> <p>（指定等の告示）</p> <p>第八条 （略）</p> <p>2 知事は、第二十八条第二項の規定により利用料金を承認したときは、その旨を告示するものとする。</p> <p>（事業報告書の作成及び提出）</p> <p>第十条 指定管理者は、毎年度終了後二月以内に、次に掲げる事項を記載した事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。ただし、年度の途中において法第二百四十四条の二第十一項の規定により指定を取り消されたときは、その取り消された日から起算して二月以内に当該年度の当該日までの間の事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。</p> <p>一・二 （略）</p> <p>三 第二十八条第一項に規定する利用料金の収入の実績</p> <p>四 （略）</p> <p>五 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理の業務の実態を把握するために必要な事項</p> <p>（教育委員会による管理）</p> <p>第十二条 （略）</p> <p>2 前項の規定により教育委員会が管理の業務を行うときは、知事は、別表第三に掲げる金額の範囲内において、知事が定める使用料を徴収するものとする。</p>	<p>第四条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。</p> <p>一 施設等の維持管理及び修繕に関する業務</p> <p>二 （略）</p> <p>（指定等の告示）</p> <p>第八条 （略）</p> <p>（事業報告書の作成及び提出）</p> <p>第十条 指定管理者は、毎年度終了後二月以内に、次に掲げる事項を記載した事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。ただし、年度の途中において法第二百四十四条の二第十一項の規定により指定を取り消されたときは、その取り消された日から起算して二月以内に当該年度の当該日までの間の事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。</p> <p>一・二 （略）</p> <p>三 （略）</p> <p>四 前三号に掲げるもののほか、美術館の管理の業務の実態を把握するために必要な事項</p> <p>（教育委員会による管理）</p> <p>第十二条 （略）</p>
---	--

<p>3 第二十九条から第三十一条まで及び別表第三の規定は、前項の規定による使用料の徴収について準用する。この場合において、これらの規定中「利用料金」とあるのは「使用料」と、第二十九条から第三十一条までの規定中「指定管理者」とあるのは「知事」と読み替えるものとする。</p> <p>(指示)</p>	<p>(指示)</p>
<p>第十五条 館長は、施設等及び美術資料の保全、館内の秩序の維持その他管理上必要があると認めるときは、入館者又は使用者(第十九条の使用の許可を受けた者をいう。以下同じ。)その他の関係者に対し必要な指示をすることができる。</p> <p>(使用の許可)</p>	<p>第十五条 館長は、美術館の施設及び美術資料の保全、館内の秩序の維持その他管理上必要があると認めるときは、入館者又は使用者(第十九条の使用の許可を受けた者をいう。以下同じ。)その他の関係者に対し必要な指示をすることができる。</p> <p>(施設等の使用の許可)</p>
<p>第十九条 第二条第三号の規定により講堂等を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも同様とする。</p> <p>(許可の条件等)</p>	<p>第十九条 第二条第三号の規定により施設等を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。</p> <p>(許可の条件等)</p>
<p>第二十条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前条の許可を与えないものとする。</p> <p>一 (略)</p> <p>二 講堂等を損傷するおそれのあるとき。</p> <p>三 (略)</p>	<p>第二十条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前条の許可を与えないものとする。</p> <p>一 (略)</p> <p>二 美術館の施設等を損傷するおそれのあるとき。</p> <p>三 (略)</p>
<p>2 (略)</p> <p>第二十三条 (略)</p> <p>(利用の許可)</p>	<p>2 (略)</p> <p>第二十三条 (略)</p>
<p>第二十四条 第二条第四号の規定により県民ギャラリー等を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも同様とする。</p>	
<p>2 県民ギャラリー等を利用することができる時間は、午前九時から午後五時までとする。</p>	

3	<p>指定管理者は、その利用が次の各号のいずれかに該当するときは、第一項の許可を与えないことができる。</p> <p>一 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。</p> <p>二 県民ギャラリー等を損傷するおそれがあると認められるとき。</p> <p>三 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）第二条第二号に規定する暴力団をいう。第二十七条第一項第四号において同じ。）の利益になると認められるとき。</p> <p>四 前三号に掲げる場合のほか、美術館の管理上支障があると認められるとき。</p>
4	<p>指定管理者は、美術館の管理上必要があると認めるときは、第一項の許可に条件を付けることができる。</p> <p>（利用権の譲渡及び転貸の禁止）</p>
第二十五条	<p>前条第一項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、県民ギャラリー等を利用する権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。</p> <p>（利用者等に対する指示）</p>
第二十六条	<p>指定管理者は、美術館の管理上必要があるときは、利用者その他の関係者（第三十三条において「利用者等」という。）に対し必要な指示をすることができる。</p> <p>（利用の制限等）</p>
第二十七条	<p>指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命じることができる。</p> <p>一 利用者が許可を受けた利用の目的に違反したとき。</p> <p>二 利用者がこの条例又は指定管理者の指示した事項に違反したとき。</p> <p>三 利用者が偽りその他不正の行為によ</p>

	り許可を受けたとき。
四	暴力団の利益になると認められるとき。
五	天災その他やむを得ない事由により必要があると認められるとき。
六	公益上必要があると認められるとき。
七	前各号に掲げる場合のほか、美術館の管理上特に必要があると認められるとき。
2	<p>利用者は、その利用が終了したとき、又は前項の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命じられたときは、その利用した県民ギャラリー等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、指定管理者の承認を受けたときは、この限りでない。</p> <p>(利用料金の収入)</p>
第二十八条 指定管理者は、県民ギャラリー等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を自己の収入として収受するものとする。	
2	<p>利用料金は、指定管理者が別表第三に掲げる金額の範囲内で定めるものとする。この場合において、指定管理者は、あらかじめ利用料金について知事の承認を受けなければならない。</p> <p>(利用料金の納入)</p>
第二十九条 利用者は、利用料金を指定管理者に前納しなければならない。ただし、指定管理者が全部又は一部の後納を認める場合は、この限りでない。	
(利用料金の減免)	
第三十条 指定管理者は、公益上必要があると認められるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。	
(利用料金の返還)	
第三十一条 既に納入された利用料金は、返還しない。ただし、利用者の責めに帰さない事由により県民ギャラリー等を利用で	

きないとき、又は指定管理者が指定する日 までに利用の申込みを取り消したときは、 指定管理者は、利用料金の全部又は一部を 返還することができる。	第二十四条（略） （損害賠償義務）
第三十二条（略） （損害賠償義務）	第二十五条 指定管理者は、故意又は過失に より施設等を損壊し、又は滅失したとき は、それによつて生じた損害を県に賠償し なければならない。
第三十三条 指定管理者又は利用者等は、故 意又は過失により施設等を損傷し、又は滅 失したときは、それによつて生じた損害を 県に賠償しなければならない。	第二十六条（略） （罰則）
第三十四条（略） （罰則）	第二十七条 次の各号のいずれかに該当す る者は、五万円以下の過料に処する。 一 四（略） 五 第十九条の許可を受けないで講堂等 を使用した者 六（略）
第三十五条 次の各号のいずれかに該当す る者は、五万円以下の過料に処する。 一 四（略） 五 第十九条の許可を受けないで講堂等 を使用した者 六（略）	第二十八条 次の各号のいずれかに該当す る者は、五万円以下の過料に処する。 一 四（略） 五 第十九条の許可を受けないで施設等 を使用した者 六（略）
第三十六条 第三十四條（略）	第二十九条 第三十三條（略）

別表第二を次のように改める。

別表第二（第二条、第二十三条関係）

施 設 名	使 用 区 分		使 用 料		
			午前九時から 正午まで	午後一時から 午後五時まで	午前九時から 午後五時まで
講 堂	全部使用 （二四〇 平方メー トル）	観覧料又は 入場料を徴 収しない場 合	一〇、四五〇円	一三、七五〇円	一二、五五〇円
		観覧料又は 入場料を徴 収する場合	一五、六七〇円	二〇、六二〇円	三三、八二〇円

備考 施設には、付帯する設備を含むものとする。

別表に次の一表を加える。

別表第三（第二条、第十二条、第二十八条関係）

施 設 名	利 用 区 分	金 額		
		午前九時から 正午まで	午後一時から 午後五時まで	午前九時から 午後五時まで

県民 ラ ギ ャ ー	全部利用 (四三〇 平方メー トル)	観覧料又は 入場料を徴 収しない場 合	九、九〇〇円	一三、二〇〇円	一一一、〇〇〇円
		観覧料又は 入場料を徴 収する場合	一四、八五〇円	一九、八〇〇円	三三、〇〇〇円
	部分利用 (二五三 平方メー トル)	観覧料又は 入場料を徴 収しない場 合	七、一五〇円	九、三五〇円	一五、九五〇円
		観覧料又は 入場料を徴 収する場合	一〇、七二〇円	一四、〇二〇円	一二、九二〇円
	部分利用 (一七七 平方メー トル)	観覧料又は 入場料を徴 収しない場 合	四、九五〇円	六、六〇〇円	一一、〇〇〇円
		観覧料又は 入場料を徴 収する場合	七、四二〇円	九、九〇〇円	一六、五〇〇円

備考

- 一 施設には、付帯する設備を含むものとする。
- 二 単位となつている利用時間を超えて利用する場合の金額は、超過時間三十分（三十分未満のときは、三十分とする。）当たり直前（直前がない場合にあつては直後）の単位となつている利用時間の三十分当たりの額（その額に十円未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てた額）とする。
- 三 入場料とは、入場料以外に会費等これに類するものを含むものとする。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める日から施行する。
 - 一 次項の規定 公布の日
 - 二 第一条、附則第三項及び附則第四項の規定 平成三十一年十月一日
 - 三 前二号に掲げる規定以外の規定 平成三十二年四月一日

（準備行為）

- 2 第二条の規定による改正後の三重県立美術館条例第三条第一項の規定による指定及びそれに関し必要な手続その他の行為は、前項第三号に掲げる規定の施行の日前においても、第二条の規定による改正後の三重県立美術館条例の規定の例により行うことができる。

(経過措置)

- 3 附則第一項第二号に掲げる規定の施行の日前に、第一条の規定による改正前の三重県立美術館条例第十九条に規定する使用の許可を受けたものについては、なお従前の例による。
- 4 附則第一項第二号に掲げる規定の施行の日前に、第一条の規定による改正前の三重県立美術館条例第二十一条の規定により同条第一項の観覧料を納付したものについては、なお従前の例による。
- 5 附則第一項第三号に掲げる規定の施行の日前に、第二条の規定による改正前の三重県立美術館条例の規定によりされた処分、手続その他の行為は、同条の規定による改正後の三重県立美術館条例の規定によりされた処分、手続その他の行為とみなす。

三重県営鈴鹿スポーツガーデン条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第四十号

三重県営鈴鹿スポーツガーデン条例の一部を改正する条例

三重県営鈴鹿スポーツガーデン条例（平成四年三重県条例第三十二号）の一部を次のように改正する。

別表の一を次のように改める。

一 スポーツガーデンのサッカー・ラグビー場

(一) 施設

区 分				金 額（円）	
				午前九時から 午後五時まで	午後五時から 午後九時まで
メインサ ッカー・ ラグビー 場	入 場 料 を 徴 収 す る 場 合	アマチュアス ポーツに利用 する場合	児童生徒等	一 一、三 一 〇	一 三、二 〇 〇
			その他の者	一 五、〇 八 〇	一 七、九 一 〇
		アマチュアスポーツ以外 に利用する場合		一 五 〇、八 六 〇	一 七 九、一 三 〇
	入 場 料 を 徴 収 し な い 場 合	アマチュアス ポーツに利用 する場合	児童生徒等	三、七 六 〇	四、四 〇 〇
			その他の者	五、〇 三 〇	五、九 六 〇
		アマチュアスポーツ以外 に利用する場合		一 一 〇、一 一 〇	一 二 三、八 八 〇
第一グラウンド				一、八 八 〇	
第二グラウンド				一、八 八 〇	
第三グラウンド				一、八 八 〇	一、八 八 〇
第四グラウンド				一、八 八 〇	一、八 八 〇
本部室				一、二 六 〇	一、五 六 〇
第一会議室				一 一、一 〇 〇	一 一、八 三 〇
第二会議室				一、二 六 〇	一、五 六 〇

備考 一 金額は、一時間（一時間に満たない時間は、一時間とする。）当たりの額とする。

二 午前九時から午後九時までを除く時間に施設を利用する場合の金額は、その時間の直前又は直後の金額とする。

三 準備又は撤去のためにメインサッカー・ラグビー場又は第一グラウンドから第四グラウンドまでを利用する場合の金額は、それぞれメインサッカー・ラグビー場の項における「入場料を徴収しない場合」の「アマチュアスポーツに利用する場合」又は第一グラウンドから第四グラウンドまでの項に掲げる金額と

する。

四 児童生徒等とは、次に掲げる者とする。

- (一) 小学校就学前の者
- (二) 小学生、中学生及び高校生並びにこれらに準ずる者

五 本部室、第一会議室又は第二会議室において冷暖房を利用する場合の金額は、この表に定める金額に一時間（一時間に満たない時間は、一時間とする。）当たり百円を加算した額とする。

(二) 設備

区 分			金 額 (円)
メインサッカークラゲ ビー場	電光掲示板	アマチュアスポーツに利用する場合	三七〇
		アマチュアスポーツ以外に利用する場合	一、二六〇
	照明灯	アマチュアスポーツに利用する場合	一四、六六〇
		アマチュアスポーツ以外に利用する場合	一二四六、一八〇
	放送設備	アマチュアスポーツ以外に利用する場合	一、一五〇
第三グラウンド	照明灯	アマチュアスポーツに利用する場合	八、三七〇
		アマチュアスポーツ以外に利用する場合	一四〇、三七〇
第四グラウンド	照明灯	アマチュアスポーツに利用する場合	八、三七〇
		アマチュアスポーツ以外に利用する場合	一四〇、三七〇

備考 金額は、一時間（一時間に満たない時間は、一時間とする。）当たりの額とする。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
二 スポーツガーデンの水泳場 (一) 施設 イ 専用利用の場合				二 スポーツガーデンの水泳場 (一) 施設 イ 専用利用の場合			
メインプール	入場料を徴収する場合	児童生徒等	七、八、五、六〇	メインプール	入場料を徴収する場合	児童生徒等	七、七、一、四〇
		その他の者	七、一、五、三〇			その他の者	四、二、一、五、八〇
	入場料を徴収しない場合	児童生徒等	七、八、六〇		入場料を徴収しない場合	児童生徒等	七、七、二、一〇
		その他の者	七、一、五、三〇			その他の者	四、三、一、五、八〇
	入場料を徴収	児童生徒等	六、九、一、三〇		入場料を徴収	児童生徒等	六、七、八、八〇
		その他の者	一、三			その他の者	一、三

サブ グループ	入場料を徴収する場合		入場料を徴収しない場合	入場料を徴収する場合		入場料を徴収しない場合
	児童生徒等	その他の者		児童生徒等	その他の者	
第一会議室	八、二〇	六、九〇	一、三〇	四、七〇	一、三〇	九、四〇
第二会議室	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇
第三会議室	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇

備考 (略)

ロ 個人利用の場合

区分	単 位	金額(円)
メインプール、サブプール、飛び込みプール及びトレーニングルーム	(略)	(略)
その他の者	一人一回につき	五七〇

備考 (略)

(二) 設備等

区分	単 位	金額(円)
電光掲示板	入場料を徴収する場合	一時間につき 二五、一三〇
	入場料を徴収しない場合	一時間につき 一、五〇〇
放送設備	入場料を徴収する場合	一時間につき 一、一五〇

サブ グループ	入場料を徴収する場合		入場料を徴収しない場合	入場料を徴収する場合		入場料を徴収しない場合
	児童生徒等	その他の者		児童生徒等	その他の者	
第一会議室	五、七〇	六、七〇	九、〇〇	四、六〇	二、八〇	九、二〇
第二会議室	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇
第三会議室	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇

備考 (略)

ロ 個人利用の場合

区分	単 位	金額(円)
メインプール、サブプール、飛び込みプール及びトレーニングルーム	(略)	(略)
その他の者	一人一回につき	五六〇

備考 (略)

(二) 設備等

区分	単 位	金額(円)
電光掲示板	入場料を徴収する場合	一時間につき 二四、六八〇
	入場料を徴収しない場合	一時間につき 一、四七〇
放送設備	入場料を徴収する場合	一時間につき 一、一三〇

各種競技用器具一式		入場料を徴収する場合	一日につき	五、〇三〇
各種競技用器具一式		入場料を徴収しない場合	一日につき	五、〇三〇
三 スポーツガーデンの庭球場				
(一) 施設				
区 分		金額(円)		
トータルセンター	入場料を徴収する場合	アマチュア	児童生	三、〇四〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	六、〇八〇
	入場料を徴収しない場合	アマチュア	児童生	一、一五〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	二、三〇〇
ターゲットコート	入場料を徴収する場合	アマチュア	児童生	一、二六〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	二、五一〇
	入場料を徴収しない場合	アマチュア	児童生	一、二六〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	二、五一〇
ターゲットコート	入場料を徴収する場合	アマチュア	児童生	一、二六〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	二、五一〇
	入場料を徴収しない場合	アマチュア	児童生	一、二六〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	二、五一〇

各種競技用器具一式		入場料を徴収する場合	一日につき	四、九四〇
各種競技用器具一式		入場料を徴収しない場合	一日につき	四、九四〇
三 スポーツガーデンの庭球場				
(一) 施設				
区 分		金額(円)		
トータルセンター	入場料を徴収する場合	アマチュア	児童生	二、九九〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	五、九七〇
	入場料を徴収しない場合	アマチュア	児童生	一、一三〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	二、二六〇
ターゲットコート	入場料を徴収する場合	アマチュア	児童生	一、二四〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	二、四七〇
	入場料を徴収しない場合	アマチュア	児童生	一、二四〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	二、四七〇
ターゲットコート	入場料を徴収する場合	アマチュア	児童生	一、二四〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	二、四七〇
	入場料を徴収しない場合	アマチュア	児童生	一、二四〇
		アスポート	徒等	〇
		ツに利用する場合	その他	二、四七〇

屋 外 コ ー ト	徴収する場合	する場合	の者	〇	
		アマチュアスポーツ以外に利用する場合		二〇、一 一〇	
		アマチュアスポーツに利用する場合	(略)	(略)	
		その他 の者	七五〇		
合 い 場 合	アマチュアスポーツ以外に利用する場合			三、二四 〇	
会議室				六三〇	
備考 (略)					
(二) 設備					
区 分			金 額 (円)		
電光掲示板	(略)		(略)		
	アマチュアスポーツ以外に利用する場合		一、〇〇 〇		
灯 照 明	セ ン タ ー コ ー ト	アマチュアスポーツに利用する場合		一、二六 〇	
		アマチュアスポーツ以外に利用する場合		二、五 六〇	
	シ ェ ル ー ト	(略)	(略)		
		アマチュアスポーツ以外に利用する場合		一、四一 〇	
	屋外コ ー ト	(略)		(略)	
		アマチュアスポーツ以外に利用する場合		一、〇九 〇	
放送設備		アマチュアスポーツ以外に利用する場合		一、一五 〇	
備考 (略)					
四 スポーツガーデンの体育館					
(一) 施設 (会議室を除く。)					

[illegible]

イ 全部利用の場合

区 分		金額(円)
アマチュアスポーツに利用する場合	入場料を徴収する場合	七、一一〇 (九、〇一〇)
	入場料を徴収しない場合	一一、四一〇 (三、〇四〇)
営利を目的として利用する場合		五九、四〇〇 (七四、一一〇)
その他の催物に利用する場合	入場料を徴収する場合	三三、六二〇 (四四、六三〇)
	入場料を徴収しない場合	一一、八四〇 (一四、八八〇)

備考 (略)

ロ 部分利用の場合

区 分		金額(円)
一競技種目一面又は一台につき	児童生徒等	五八〇
	その他の者	一、一一〇〇

備考 (略)

ハ (略)

(二) 会議室

区 分	金額(円)
会議室	六五〇 (九一〇)

備考 (略)

(三) 設備

区 分	金額(円)
設備及び器具一点又は一式につき	一九、九〇〇

イ 全部利用の場合

区 分		金額(円)
アマチュアスポーツに利用する場合	入場料を徴収する場合	六、九九〇 (八、八五〇)
	入場料を徴収しない場合	一一、三七〇 (二、九九〇)
営利を目的として利用する場合		五八、三二〇 (七二、九三〇)
その他の催物に利用する場合	入場料を徴収する場合	三四、九八〇 (四三、八二〇)
	入場料を徴収しない場合	一一、六三〇 (一四、六一〇)

備考 (略)

ロ 部分利用の場合

区 分		金額(円)
一競技種目一面又は一台につき	児童生徒等	五七〇
	その他の者	一、一八〇〇

備考 (略)

ハ (略)

(二) 会議室

区 分	金額(円)
会議室	六四〇 (九〇〇)

備考 (略)

(三) 設備

区 分	金額(円)
設備及び器具一点又は一式につき	一九、五四〇

備考（略）			備考（略）		
五 スポーツガーデンの多目的広場			五 スポーツガーデンの多目的広場		
施設			施設		
区分	単 位	金額（円）	区分	単 位	金額（円）
多目的広場	一時間につき	一、〇九〇	多目的広場	一時間につき	一、〇六〇
六 スポーツガーデンのクライミングウォール			六 スポーツガーデンのクライミングウォール		
施設			施設		
区分	単 位	金額（円）	区分	単 位	金額（円）
クライミングウォール	一時間につき	一、五六〇	クライミングウォール	一時間につき	一、五四〇

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- この条例の施行の日前において、三重県営鈴鹿スポーツガーデン条例第三条第一項に規定する指定管理者から同条例第十八条第二項の規定により利用料金の承認の申請があった場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県営鈴鹿スポーツガーデン条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

三重県営サンアリーナ条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第四十一号

三重県営サンアリーナ条例の一部を改正する条例

三重県営サンアリーナ条例(平成六年三重県条例第四号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
別表(第十一条、第十七条関係)				別表(第十一条、第十七条関係)			
一 施設				一 施設			
区 分			一時間当たりの 金額(円)	区 分			一時間当たりの 金額(円)
メイ ン ア リ ー ナ	アマチュ アスポー ツ又はレ ィの場合	入場料を 徴収しな い場合	「一八、三三〇 (二二、九九〇)」	メイ ン ア リ ー ナ	アマチュ アスポー ツ又はレ ィの場合	入場料を 徴収しな い場合	「一八、〇〇〇 (二二、六〇〇)」
	クリエー ションに 利用する 場合	入場料を 徴収する 場合	「一八八、四二〇 (二二六、一〇 〇)」		クリエー ションに 利用する 場合	入場料を 徴収する 場合	「一八五、〇〇〇 (二二二、〇〇 〇)」
	音楽、プロスポー ツ等の興行に利用 する場合		「一八八、四二〇 (二二六、一〇 〇)」		音楽、プロスポー ツ等の興行に利用 する場合		「一八五、〇〇〇 (二二二、〇〇 〇)」
	式典、集会等に利 用する場合		「五六、〇一〇 (六七、二二〇)」		式典、集会等に利 用する場合		「五五、〇〇〇 (六六、〇〇〇)」
	展示会、見本市等 に利用する場合		「七五、三七〇 (九〇、四四〇)」		展示会、見本市等 に利用する場合		「七四、〇〇〇 (八八、八〇〇)」
サブ ア リ ー ナ	アマチュ アスポー ツ又はレ ィの場合	入場料を 徴収しな い場合	「五、〇九〇 (六、一〇〇)」	サブ ア リ ー ナ	アマチュ アスポー ツ又はレ ィの場合	入場料を 徴収しな い場合	「五、〇〇〇 (六、〇〇〇)」
	クリエー ションに 利用する 場合	入場料を 徴収する 場合	「五一、九四〇 (六一、三二〇)」		クリエー ションに 利用する 場合	入場料を 徴収する 場合	「五一、〇〇〇 (六一、二〇〇)」
	音楽、プロスポー ツ等の興行に利用 する場合		「五一、九四〇 (六一、三二〇)」		音楽、プロスポー ツ等の興行に利用 する場合		「五一、〇〇〇 (六一、二〇〇)」
	式典、集会等に利 用する場合		「一〇、三七〇 (二〇、〇〇〇)」		式典、集会等に利 用する場合		「一〇、〇〇〇 (二〇、〇〇〇)」

		用する場合	(一四、四四〇)
		展示会、見本市等に利用する場合	(三〇、五五〇)
		に利用する場合	(三六、六六〇)
第一特別室			一〇、一八〇
第二特別室			一〇、一八〇
国際会議室	営利又は 宣伝を目的とする 催物に利用する場合		一〇、三七〇
	その他に 利用する場合		一〇、一八〇
レセプション 室	営利又は 宣伝を目的とする 催物に利用する場合		一〇、三七〇
	その他に 利用する場合		一〇、一八〇
第一会議室			一一、〇三〇
第二会議室			一一、〇三〇
第三会議室	営利又は 宣伝を目的とする 催物に利用する場合		八、一四〇
	その他に 利用する場合		四、〇七〇
第四会議室		営利又は 宣伝を目的とする 催物に利用する場合	八、一四〇

		用する場合	(一四、〇〇〇)
		展示会、見本市等に利用する場合	(三〇、〇〇〇)
		に利用する場合	(三六、〇〇〇)
第一特別室			一〇、〇〇〇
第二特別室			一〇、〇〇〇
国際会議室	営利又は 宣伝を目的とする 催物に利用する場合		一〇、〇〇〇
	その他に 利用する場合		一〇、〇〇〇
レセプション 室	営利又は 宣伝を目的とする 催物に利用する場合		一〇、〇〇〇
	その他に 利用する場合		一〇、〇〇〇
第一会議室			一一、〇〇〇
第二会議室			一一、〇〇〇
第三会議室	営利又は 宣伝を目的とする 催物に利用する場合		八、〇〇〇
	その他に 利用する場合		四、〇〇〇
第四会議室		営利又は 宣伝を目的とする 催物に利用する場合	八、〇〇〇

第五会議室	合	
	その他に	四、〇七〇
	利用する場合	
第五会議室	営利又は	八、一四〇
	宣伝を目的とする	
	催物に利用する場合	
フィットネスタジオ	合	
	その他に	四、〇七〇
	利用する場合	
フィットネスタジオ		一、〇三〇 (一、四三〇)

備考 (略)

二 飲食サービス、物品販売サービスその他のサービスに必要な場所

区 分	一年間の金額 (円)
レストラン	一、九六三、八 八〇
その他の場所(一平方メートル当たり)	四九、九〇〇

備考 (略)

三 特定設備

区 分	単 位	金 額 (円)
電光表示盤	一台一日	四、七八〇
	につき	
大型映像装置	一時間に	一〇、三八〇
	つき	
音 響 設備	メインア	一三、〇一〇
	リーナ	
	サブア	三、七六〇
照 明 設備	メインア	七、五三〇
	リーナ	
	サブア	一、五四〇

第五会議室	合	
	その他に	四、〇〇〇
	利用する場合	
第五会議室	営利又は	八、〇〇〇
	宣伝を目的とする	
	催物に利用する場合	
フィットネスタジオ	合	
	その他に	四、〇〇〇
	利用する場合	
フィットネスタジオ		一、〇〇〇 (一、四〇〇)

備考 (略)

二 飲食サービス、物品販売サービスその他のサービスに必要な場所

区 分	一年間の金額 (円)
レストラン	一、九一〇、〇 〇〇
その他の場所(一平方メートル当たり)	四九、〇〇〇

備考 (略)

三 特定設備

区 分	単 位	金 額 (円)
電光表示盤	一台一日	四、七〇〇
	につき	
大型映像装置	一時間に	一〇、二〇〇
	つき	
音 響 設備	メインア	一一、六〇〇
	リーナ	
	サブア	三、七〇〇
照 明 設備	メインア	七、四〇〇
	リーナ	
	サブア	一、五〇〇

備 房 設 冷 暖	メインア	一 時 間 に	三 一、三 七 〇
	リーナ	つ き	
	サブア	一 時 間 に	一 三、一 三 〇
	リーナ	つ き	
壁 面 収 納 可 動	一 区 画 一		一 五、四 八 〇
席	日 に つ き		
四 設 備 等			
区 分		金 額 (円)	
設 備 及 び 器 具 一 点 又 は		一 八、八 四 〇	
一 式 に つ き			

備 房 設 冷 暖	メインア	一 時 間 に	三 〇、八 〇 〇
	リーナ	つ き	
	サブア	一 時 間 に	一 一、九 〇 〇
	リーナ	つ き	
壁 面 収 納 可 動	一 区 画 一		一 五、二 〇 〇
席	日 に つ き		
四 設 備 等			
区 分		金 額 (円)	
設 備 及 び 器 具 一 点 又 は		一 八、五 〇 〇	
一 式 に つ き			

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- この条例の施行の日前において、三重県営サンアリーナ条例第三条第一項に規定する指定管理者から同条例第十七条第二項の規定により利用料金の承認の申請があつた場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県営サンアリーナ条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

三重県営松阪野球場条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第四十二号

三重県営松阪野球場条例の一部を改正する条例

三重県営松阪野球場条例（昭和五十年三重県条例第二十号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後		改 正 前	
別表（第十条、第十七条関係）		別表（第十条、第十七条関係）	
区 分	金 額（円）	区 分	金 額（円）
入場料を徴収しない場合	一、八八〇	入場料を徴収しない場合	一、八五〇
入場料を徴収する場合	七八、五六〇	入場料を徴収する場合	七七、一四〇
備考（略）		備考（略）	

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前において、三重県営松阪野球場条例第二条第一項に規定する指定管理者から同条例第十七条第二項の規定により利用料金の承認の申請があつた場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県営松阪野球場条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

三重県営ライフル射撃場条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第四十三号

三重県営ライフル射撃場条例の一部を改正する条例

三重県営ライフル射撃場条例（昭和五十一年三重県条例第六号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前												
別表（第十条、第十七条関係） 一 専用利用の場合 <table><tr><th>区 分</th><th>金 額（円）</th></tr><tr><td>一〇メートル射場</td><td>三、六二〇</td></tr><tr><td>五〇メートル射場</td><td>四、四八〇</td></tr></table> 備考（略） 二（略）	区 分	金 額（円）	一〇メートル射場	三、六二〇	五〇メートル射場	四、四八〇	別表（第十条、第十七条関係） 一 専用利用の場合 <table><tr><th>区 分</th><th>金 額（円）</th></tr><tr><td>一〇メートル射場</td><td>三、五六〇</td></tr><tr><td>五〇メートル射場</td><td>四、四〇〇</td></tr></table> 備考（略） 二（略）	区 分	金 額（円）	一〇メートル射場	三、五六〇	五〇メートル射場	四、四〇〇
区 分	金 額（円）												
一〇メートル射場	三、六二〇												
五〇メートル射場	四、四八〇												
区 分	金 額（円）												
一〇メートル射場	三、五六〇												
五〇メートル射場	四、四〇〇												

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前において、三重県営ライフル射撃場条例第二条第一項に規定する指定管理者から同条例第十七条第二項の規定により利用料金の承認の申請があつた場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県営ライフル射撃場条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

三重県立鈴鹿青少年センター条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第四十四号

三重県立鈴鹿青少年センター条例の一部を改正する条例

三重県立鈴鹿青少年センター条例（昭和六十年三重県条例第五号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後				改 正 前			
別表（第十一条、第十七条関係）				別表（第十一条、第十七条関係）			
一 青少年センターの宿泊室を利用する場合				一 青少年センターの宿泊室を利用する場合			
区 分		単 位	金 額 (円)	区 分		単 位	金 額 (円)
県内に住所を有する者	小学生及び中学生並びにこれらに準ずる者	一人一日につき	五二〇	県内に住所を有する者	小学生及び中学生並びにこれらに準ずる者	一人一日につき	五二〇
	高校生及びこれに準ずる者	一人一日につき	九四〇		高校生及びこれに準ずる者	一人一日につき	九二〇
	その他の者	一人一日につき	一、五七〇		その他の者	一人一日につき	一、五四〇
県内に住所を有しない者	小学生及び中学生並びにこれらに準ずる者	一人一日につき	一、〇五〇	県内に住所を有しない者	小学生及び中学生並びにこれらに準ずる者	一人一日につき	一、〇三〇
	高校生及びこれに準ずる者	一人一日につき	一、八九〇		高校生及びこれに準ずる者	一人一日につき	一、八五〇
	その他の者	一人一日につき	三、一四〇		その他の者	一人一日につき	三、〇八〇
備考（略）				備考（略）			
二 青少年センターの施設又は設備等を利用する場合				二 青少年センターの施設又は設備等を利用する場合			
(一) 施設				(一) 施設			
区 分		一時間当たりの金		区 分		一時間当たりの金	

	額（円）
総合研修館	一、八九〇
大研修室	一、一三〇
オリエンテーション室	一、一三〇
研修室	七四〇
文化室	七四〇
創作室	七四〇

備考（略）

（二）設備等

区 分	金額（円）
設備及び器具一点又は一式につき	六、六〇〇

備考（略）

	額（円）
総合研修館	一、八五〇
大研修室	一、一一〇
オリエンテーション室	一、一一〇
研修室	七三〇
文化室	七三〇
創作室	七三〇

備考（略）

（二）設備等

区 分	金額（円）
設備及び器具一点又は一式につき	六、四八〇

備考（略）

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- この条例の施行の日前において、三重県立鈴鹿青少年センター条例第三条第一項に規定する指定管理者から同条例第十七条第二項の規定により利用料金の承認の申請があった場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県立鈴鹿青少年センター条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

三重県立熊野少年自然の家条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第四十五号

三重県立熊野少年自然の家条例の一部を改正する条例

三重県立熊野少年自然の家条例（昭和五十一年三重県条例第六十号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後	改正前																																						
別表（第十二条、第十八条関係） 一 少年自然の家の宿泊室を利用する場合 <table><tr><th>区 分</th><th>単 位</th><th>金 額（円）</th></tr><tr><td>一（略）</td><td>（略）</td><td>（略）</td></tr><tr><td>二 その他 の者</td><td>一人一日に つき</td><td>七七〇円</td></tr></table> 備考（略） 二 少年自然の家の施設又は設備を利用する場合 (一) 施設 <table><tr><th>区 分</th><th>一時間当たりの金 額（円）</th></tr><tr><td>体育館</td><td>三三〇円</td></tr><tr><td>（略）</td><td>（略）</td></tr></table> 備考（略） (二) 設備等 <table><tr><th>区 分</th><th>金 額（円）</th></tr><tr><td>設備及び器具一点 又は一式につき</td><td>一、一〇〇円</td></tr></table> 備考（略）	区 分	単 位	金 額（円）	一（略）	（略）	（略）	二 その他 の者	一人一日に つき	七七〇円	区 分	一時間当たりの金 額（円）	体育館	三三〇円	（略）	（略）	区 分	金 額（円）	設備及び器具一点 又は一式につき	一、一〇〇円	別表（第十二条、第十八条関係） 一 少年自然の家の宿泊室を利用する場合 <table><tr><th>区 分</th><th>単 位</th><th>金 額（円）</th></tr><tr><td>一（略）</td><td>（略）</td><td>（略）</td></tr><tr><td>二 その他 の者</td><td>一人一日に つき</td><td>七五〇円</td></tr></table> 備考（略） 二 少年自然の家の施設又は設備を利用する場合 (一) 施設 <table><tr><th>区 分</th><th>一時間当たりの金 額（円）</th></tr><tr><td>体育館</td><td>三二〇円</td></tr><tr><td>（略）</td><td>（略）</td></tr></table> 備考（略） (二) 設備等 <table><tr><th>区 分</th><th>金 額（円）</th></tr><tr><td>設備及び器具一点 又は一式につき</td><td>一、〇八〇円</td></tr></table> 備考（略）	区 分	単 位	金 額（円）	一（略）	（略）	（略）	二 その他 の者	一人一日に つき	七五〇円	区 分	一時間当たりの金 額（円）	体育館	三二〇円	（略）	（略）	区 分	金 額（円）	設備及び器具一点 又は一式につき	一、〇八〇円
区 分	単 位	金 額（円）																																					
一（略）	（略）	（略）																																					
二 その他 の者	一人一日に つき	七七〇円																																					
区 分	一時間当たりの金 額（円）																																						
体育館	三三〇円																																						
（略）	（略）																																						
区 分	金 額（円）																																						
設備及び器具一点 又は一式につき	一、一〇〇円																																						
区 分	単 位	金 額（円）																																					
一（略）	（略）	（略）																																					
二 その他 の者	一人一日に つき	七五〇円																																					
区 分	一時間当たりの金 額（円）																																						
体育館	三二〇円																																						
（略）	（略）																																						
区 分	金 額（円）																																						
設備及び器具一点 又は一式につき	一、〇八〇円																																						

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- この条例の施行の日前において、三重県立熊野少年自然の家条例第三条第一項に規定する指定管理者から同条例第十八条第二項の規定により利用料金の承認の申請があつた場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県立熊野少年自然の家条例の規定に基づき

利用料金の承認を行つておられる。

三重県立ゆめドームうえの条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第四十六号

三重県立ゆめドームうえの条例の一部を改正する条例

三重県立ゆめドームうえの条例（平成九年三重県条例第五十七号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後					改 正 前				
別表（第十一条、第十八条関係）					別表（第十一条、第十八条関係）				
一 施設の利用料金					一 施設の利用料金				
場 技 競 第 一	アマチュアスポーツクリエーション	入場料を徴収しない場合	日曜日、土曜日及び休日	一、二〇〇	アマチュアスポーツクリエーション	入場料を徴収しない場合	日曜日、土曜日及び休日	一、一六〇	
			平日	一、八八〇			平日	一、八五〇	
		入場料を徴収する場合	日曜日、土曜日及び休日	一八、八五〇		入場料を徴収する場合	日曜日、土曜日及び休日	一八、五一〇	
			平日	一五、七一〇			平日	一五、四二〇	
	音楽、プロスポーツ等の興行	日曜日、土曜日及び休日	平日	四二、二一〇	音楽、プロスポーツ等の興行	日曜日、土曜日及び休日	平日	四一、四五〇	
	式典、集会等	日曜日、土曜日及び休日	平日	七、九六〇	式典、集会等	日曜日、土曜日及び休日	平日	七、八一〇	
	展示会、見本市等	日曜日、土曜日及び休日	平日	二六、四〇〇	展示会、見本市等	日曜日、土曜日及び休日	平日	二五、九二〇	
アマチュア	(略)			(略)	アマチュア	(略)			(略)

場 技 競 第 一	アマチュアスポーツクリエーション	入場料を徴収しない場合	日曜日、土曜日及び休日	一、二〇〇	アマチュアスポーツクリエーション	入場料を徴収しない場合	日曜日、土曜日及び休日	一、一六〇	
			平日	一、八八〇			平日	一、八五〇	
		入場料を徴収する場合	日曜日、土曜日及び休日	一八、八五〇		入場料を徴収する場合	日曜日、土曜日及び休日	一八、五一〇	
			平日	一五、七一〇			平日	一五、四二〇	
	音楽、プロスポーツ等の興行	日曜日、土曜日及び休日	平日	四二、二一〇	音楽、プロスポーツ等の興行	日曜日、土曜日及び休日	平日	四一、四五〇	
	式典、集会等	日曜日、土曜日及び休日	平日	七、九六〇	式典、集会等	日曜日、土曜日及び休日	平日	七、八一〇	
	展示会、見本市等	日曜日、土曜日及び休日	平日	二六、四〇〇	展示会、見本市等	日曜日、土曜日及び休日	平日	二五、九二〇	
アマチュア	(略)			(略)	アマチュア	(略)			(略)

[illegible]

照 備 設 場	音 響 場	区 分	単 位	金 額 (円)	備 考 (略)	行
第一競技	第一競技	電光表示盤	一式	二、三〇〇	(略)	式典、集 会等
			電光得点表	一組		
第二競技	第二競技	電光表示盤	一式	二、四一〇	(略)	展示会、 見本市等
			電光得点表	一組		
第一競技	第一競技	電光表示盤	一式	二、五六〇	(略)	アマチュ アスポー ツ又はレ クリエー ション
			電光得点表	一組		
第二競技	第二競技	電光表示盤	一式	一、〇四〇	(略)	展示会、 見本市等
			電光得点表	一組		
第一競技	第一競技	電光表示盤	一式	二、三〇〇	(略)	式典、集 会等
			電光得点表	一組		

照 備 設 場	音 響 場	区 分	単 位	金 額 (円)	備 考 (略)	行
第一競技	第一競技	電光表示盤	一式	二、二六〇	(略)	式典、集 会等
			電光得点表	一組		
第二競技	第二競技	電光表示盤	一式	二、三六〇	(略)	展示会、 見本市等
			電光得点表	一組		
第一競技	第一競技	電光表示盤	一式	三、四九〇	(略)	アマチュ アスポー ツ又はレ クリエー ション
			電光得点表	一組		
第二競技	第二競技	電光表示盤	一式	一、〇二〇	(略)	展示会、 見本市等
			電光得点表	一組		
第一競技	第一競技	電光表示盤	一式	二、二六〇	(略)	式典、集 会等
			電光得点表	一組		

備考 (略)	壁面収納可		一式	九、〇一〇
	動席		一區画	二、三〇〇
	その他の設		一点又	一〇、四七〇
	備及び器具		は一式	
	備設場		第二競技	一時間
	備設場		第一競技	一時間
備考 (略)	壁面収納可		一式	八、八四〇
	動席		一區画	二、二六〇
	その他の設		一点又	一〇、二八〇
	備及び器具		は一式	
	備設場		第二競技	一時間
	備設場		第一競技	一時間

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- この条例の施行の日前において、三重県立ゆめドームうえの条例第三条第一項に規定する指定管理者から同条例第十八条第二項の規定により利用料金の承認の申請があつた場合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県立ゆめドームうえの条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

三重県総合文化センター条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第四十七号

三重県総合文化センター条例の一部を改正する条例

三重県総合文化センター条例（平成六年三重県条例第五号）の一部を次のように改正する。

別表第三を次のように改める。

別表第三（第十一条、第十八条関係）

一 三重県文化会館のホール、リハーサル室、ワークショップ及び楽屋

区 分	金 額（円）		
	午前九時から 正午まで	午後一時から 午後五時まで	午後六時から 午後十時まで
大 小	平 日	入 場 料	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合
			営利又は宣伝を目的とする催物のとき
			七六、八八〇
			一一五、三二〇
			一五三、七八〇
			一部使用（客席のうち一階部分のみを使用することをいう。以下同じ。）のとき
			四八、〇四〇
			七一、七五〇
			九六、一〇〇
			その他のとき
			五一、二五〇
			七六、八八〇
			一〇二、五二〇
			一五三、七八〇
			一二〇五、〇四〇
			一部使用のとき
			六四、〇七〇
			九六、一〇〇
			一二八、一四〇
			一五三、七八〇
			一部使用のとき
			四八、〇四〇
			七一、七五〇
			九六、一〇〇
			入場料の額が三千一円以上五千円以下の場合
			一二八、一四〇
			一九二、二二〇
			二五六、三〇〇
			一部使用のとき
			七九、四五〇
			一一九、一七〇
			一五八、九〇〇

中 示	一 ル	土曜 日、 日曜 日及 休日	平日	入場料の額が五千一百円以上の場合		入場料の額が千円以下の場合		入場料の額が三千一百円以上五千円以下の場合		入場料の額が五千一百円以上の場合		
				一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	
		土曜 日、 日曜 日及 休日	平日	入場料の額が五千一百円以上の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合	
				一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合
				一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合
				一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合
		一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合
		一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合
		一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合
		一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合
		一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合
		一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合
		一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合
		一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	一部使用のとき	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合

一 ル	土曜 日、 日曜 日及 び休 日	入場料を徴 収しない場 合及び入場 料の額が千 円以下の場 合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	四八、〇四〇	七三、〇四〇	九六、一〇〇
小 示 一 ル	平日	入場料の額 が千円以 上三千円以 下の場合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	六四、〇七〇	九七、三八〇	一二八、一四〇
土曜 日、 日曜 日及 び休 日	入場料を徴 収しない場 合及び入場 料の額が千 円以下の場 合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	四八、〇四〇	七三、〇四〇	九六、一〇〇	九六、一〇〇
平日	入場料の額 が三千円以 上五千円以 下の場合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	八〇、〇九〇	一二一、七三〇	一六〇、一八〇	一九二、一二〇
土曜 日、 日曜 日及 び休 日	入場料の額 が五千円以 上の場合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	九六、一〇〇	一四六、〇九〇	一九二、一二〇	一九二、一二〇
平日	入場料を徴 収しない場 合及び入場 料の額が千 円以下の場 合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	一一、五二〇	一七、二九〇	一一三、〇四〇	一一三、〇四〇
土曜 日、 日曜 日及 び休 日	入場料の額 が千円以 上三千円以 下の場合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	七、六七〇	一一、五二〇	一一、五二〇	一五、三六〇
平日	入場料の額 が三千円以 上五千円以 下の場合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	一九、二一〇	二八、八二〇	三八、四三〇	三八、四三〇
土曜 日、 日曜 日及 び休 日	入場料の額 が五千円以 上の場合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	一一三、〇四〇	三四、五九〇	四六、一一〇	四六、一一〇
平日	入場料を徴 収しない場 合及び入場 料の額が千 円以下の場 合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	一三、四五〇	二一、一四〇	二八、八二〇	二八、八二〇
土曜 日、 日曜 日及 び休 日	入場料の額 が千円以 上三千円以 下の場合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	八、九五〇	一四、〇九〇	一九、二一〇	一九、二一〇
平日	入場料の額 が五千円以 上の場合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	一七、九三〇	二八、一八〇	三八、四三〇	三八、四三〇
土曜 日、 日曜 日及 び休 日	入場料を徴 収しない場 合及び入場 料の額が千 円以下の場 合	営利又は宣伝 を目的とする 催物のとき	一三、四五〇	二一、一四〇	二八、八二〇	二八、八二〇

	第一 ル サ ハ リ 室 日 曜 日 及 び 休 日	平日	入場料の額が三千一百円以上五千円以下の場合	111、四〇〇	三五、一二三〇	四八、〇四〇
			入場料の額が五千一百円以上の場合	116、九〇〇	四二、二八〇	五七、六六〇
	平日	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	1〇、二四〇	1五、三六〇	11〇、五〇〇	
		その他の場合	五、一一〇	七、六七〇	1〇、二四〇	
	土曜日、日曜日	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	111、八〇〇	1九、二一〇	11五、六一〇	
		その他の場合	六、三九〇	九、五九〇	111、八〇〇	
第二 ル サ ハ リ 室 日 曜 日 及 び 休 日	平日	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	七、六七〇	11、五二〇	1五、三六〇	
		その他の場合	三、八三〇	五、七五〇	七、六七〇	
	土曜日、日曜日	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	八、九五〇	1四、〇九〇	1九、二一〇	
		その他の場合	四、四七〇	七、〇四〇	九、五九〇	
ワークショップ				11、四三〇	三、六四〇	四、八六〇
楽屋一及び楽屋二				11、五四〇	三、八三〇	五、一一〇
楽屋三から楽屋八まで				八九〇	1、二六〇	1、七八〇
楽屋九				11、一六〇	三、一八〇	四、三四〇
楽屋十				1、五三〇	11、二九〇	三、〇五〇
楽屋十一				八九〇	1、二六〇	1、七八〇
楽屋十二及び楽屋十三				11、五四〇	三、八三〇	五、一一〇
楽屋十四から楽屋十八まで				八九〇	1、二六〇	1、七八〇
楽屋十九				五〇〇	七六〇	1、〇一〇
楽屋二十				1、六五〇	11、五四〇	三、三三〇
楽屋二十一及び楽屋二十二				八九〇	1、二六〇	1、七八〇
楽屋二十三				六〇〇	九一〇	1、一二〇
楽屋二十四				七一〇	1、〇六〇	1、四二〇

備考

- 一 入場料とは入場料以外に会費等これに類するものを含み、入場料の額とは入場料のうち一人当たりの最高額をいう。
- 二 午前九時から午後五時まで、午前九時から午後十時まで又は午後一時から午後十

時までの時間の金額は、それぞれ単位となっている利用時間の金額を合算した額とする。

三 大ホール、中ホール又は小ホールにおいて、空調設備を利用する場合の金額は、別に定める。

四 単位となっている利用時間を超えて利用する場合の金額は、超過時間三十分（三十分未満のときは、三十分とする。）当たり直前（直前がない場合にあつては直後）の単位となっている利用時間の三十分当たりの額（その額に十円未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てた額）とする。ただし、大ホール、中ホール又は小ホールにおいて午前九時以前又は午後十時以降に利用する場合の金額は、超過時間三十分（三十分未満のときは、三十分とする。）当たり直前（直前がない場合にあつては直後）の単位となっている利用時間の一時間当たりの額（その額に十円未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てた額）とする。

五 練習又は準備のために大ホール、中ホール又は小ホールを利用する場合の金額は、この表に定める額の二分の一に相当する額（その額に十円未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てた額）とする。

二 三重県文化会館のギャラリー、レセプションルーム及び会議室

区 分				金 額（円）		
				午前九時から 正午まで	午後一時から 午後五時まで	午後六時から 午後九時まで
第一ギ ャラリー	平日	全部使用	営利又は宣伝 を目的とする 催物の場合	五三、八一〇	六九、一八〇	六九、一八〇
			その他の場合	一七、九三〇	一三、〇四〇	一三、〇四〇
		二分の一 使用	営利又は宣伝 を目的とする 催物の場合	二六、九〇〇	三四、五九〇	三四、五九〇
			その他の場合	八、九五〇	一一、五二〇	一一、五二〇
	土日 曜 日 及 び 休 日	全部使用	営利又は宣伝 を目的とする 催物の場合	六五、三五〇	八二、六五〇	八二、六五〇
			その他の場合	二一、七八〇	二七、五四〇	二七、五四〇
		二分の一 使用	営利又は宣伝 を目的とする 催物の場合	三二、六六〇	四二、二八〇	四二、二八〇
			その他の場合	一〇、八八〇	一四、〇九〇	一四、〇九〇
	平日	営利又は宣伝を目的と する催物の場合		三八、四三〇	四八、〇四〇	四八、〇四〇
		その他の場合		一二、八〇〇	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇

第二ギ ヤ ラ リ	日曜日、曜日	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	四六、一一〇	五七、六六〇	五七、六六〇
	日及び休日	その他の場合	一五、三六〇	一九、一一〇	一九、一一〇
レ セ プ シ ョ ン ル ー ム	平日	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	七一、七五〇	九二、一二五〇	九二、一二五〇
		その他の場合	三五、八七〇	四六、一一〇	四六、一一〇
	土曜日、曜日	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	八四、五七〇	一一一、四七〇	一一一、四七〇
	日及び休日	その他の場合	四二、二八〇	五五、七三〇	五五、七三〇
大 会 議 室		営利又は宣伝を目的とする催物の場合	三〇、七四〇	三五、八七〇	三五、八七〇
		その他の場合	一五、三六〇	一七、九三〇	一七、九三〇
中 会 議 室		営利又は宣伝を目的とする催物の場合	九、七二〇	一一、五二〇	一一、五二〇
		その他の場合	四、八六〇	五、七五〇	五、七五〇
小 会 議 室		営利又は宣伝を目的とする催物の場合	五、六二〇	六、一三〇	六、一三〇
		その他の場合	二、八〇〇	三、〇五〇	三、〇五〇

備考

- 一 午前九時から午後五時まで、午前九時から午後九時まで又は午後一時から午後九時までの時間の金額は、それぞれ単位となっている利用時間の金額を合算した額とする。
- 二 単位となっている利用時間を超えて利用する場合の金額は、超過時間三十分（三十分未満のときは、三十分とする。）当たり直前（直前がない場合にあつては直後）の単位となっている利用時間の三十分当たりの額（その額に十円未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てた額）とする。

三 三重県生涯学習センター

区 分		金 額（円）		
		午前九時から 正午まで	午後一時から 午後五時まで	午後六時から 午後九時まで
視 聴 覚 室	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	一六、九〇〇	一九、七一〇	一九、七一〇
	その他の場合	八、四四〇	九、八四〇	九、八四〇

大研修室	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	一三、八二〇	一六、一三〇	一六、一三〇
	その他の場合	六、九一〇	八、〇六〇	八、〇六〇
中研修室	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	七、一六〇	八、一九〇	八、一九〇
	その他の場合	三、五八〇	四、〇九〇	四、〇九〇
四階小研修室一	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	四、五九〇	五、六二〇	五、六二〇
	その他の場合	二、二九〇	二、八〇〇	二、八〇〇
四階小研修室二	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	四、二三〇	五、一七〇	五、一七〇
	その他の場合	二、一一〇	二、五八〇	二、五八〇
二階小研修室	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	四、五九〇	五、六二〇	五、六二〇
	その他の場合	二、二九〇	二、八〇〇	二、八〇〇

備考

- 一 午前九時から午後五時まで、午前九時から午後九時まで又は午後一時から午後九時までの時間の金額は、それぞれ単位となっている利用時間の金額を合算した額とする。
- 二 単位となっている利用時間を超えて利用する場合の金額は、超過時間三十分（三十分未満のときは、三十分とする。）当たり直前（直前がない場合にあつては直後）の単位となっている利用時間の三十分当たりの額（その額に十円未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てた額）とする。

四 三重県男女共同参画センター

区 分			金 額（円）		
			午前九時から 正午まで	午後一時から 午後五時まで	午後六時から 午後九時まで
平日	入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場合	営利又は宣伝を目的とする催物のとき	一一、五二〇	一七、二九〇	一七、二九〇
		その他のとき	七、六七〇	一一、五二〇	一一、五二〇
	入場料の額が千円以上三千円以下の場合	営利又は宣伝を目的とする催物のとき	一五、三六〇	二三、〇四〇	二三、〇四〇
		その他のとき	一一、五二〇	一七、二九〇	一七、二九〇
	入場料の額が三千円以上五千元以下の場合		一九、一一〇	二八、八二〇	二八、八二〇

多 目 的 ル	土 曜 日 、 日 曜 日 、 休 日	入場料の額が五千一百円以上の場合	入場料の額が五千一百円以上の場合	113、040	114、590	114、590
			入場料を徴収しない場合及び入場料の額が千円以下の場	113、450	111、140	111、140
		入場料の額が千円以下の場	営利又は宣伝を目的とする催物のとき	8、950	14、090	14、090
			その他のとき			
		入場料の額が千円以上の場	営利又は宣伝を目的とする催物のとき	17、930	28、180	28、180
			その他のとき	13、450	11、140	11、140
		入場料の額が三千一百円以上の場	入場料の額が三千一百円以上の場	111、400	115、130	115、130
			入場料の額が五千一百円以上の場	116、900	142、280	142、280
		特別会議室	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	11、270	13、820	13、820
			その他の場合	5、620	6、910	6、910
		セミナー室A	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	11、010	13、050	13、050
			その他の場合	5、500	6、510	6、510
生 活 工 房	セ ミ ナ ー 室 B	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	5、110	5、870	5、870
			その他の場合	11、540	11、930	11、930
		セ ミ ナ ー 室 C	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	11、010	13、050	13、050
			その他の場合	5、500	6、510	6、510
		セ ッ シ ョ ン ル ー ム	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	1、060	1、120	1、120
			その他の場合	530	610	610
		全部使用	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	13、570	15、620	15、620
			その他の場合	6、780	7、800	7、800
		三分の二使用	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	9、200	10、750	10、750
			その他の場合	4、590	5、370	5、370

	三分の一使用	営利又は宣伝を目的とする催物の場合	四、五九〇	五、三七〇	五、三七〇
		その他の場合	二、二九〇	二、六八〇	二、六八〇
和室	営利又は宣伝を目的とする催物の場合		四、三四〇	五、一一〇	五、一一〇
	その他の場合		二、一六〇	二、五四〇	二、五四〇
茶室	営利又は宣伝を目的とする催物の場合		一六、六五〇	一九、二一〇	一九、二一〇
	その他の場合		八、三一〇	九、五九〇	九、五九〇
フィットネスルーム	営利又は宣伝を目的とする催物の場合		五、八七〇	六、六六〇	六、六六〇
	その他の場合		二、九三〇	三、三三〇	三、三三〇

備考

- 一 入場料とは入場料以外に会費等これに類するものを含み、入場料の額とは入場料のうち一人当たりの最高額をいう。
- 二 午前九時から午後五時まで、午前九時から午後九時まで又は午後一時から午後九時までの時間の金額は、それぞれ単位となっている利用時間の金額を合算した額とする。
- 三 多目的ホールにおいて、空調設備を使用する場合の金額は、別に定める。
- 四 単位となっている利用時間を超えて利用する場合の金額は、超過時間三十分（三十分未満のときは、三十分とする。）当たり直前（直前がない場合にあつては直後）の単位となっている利用時間の三十分当たりの額（その額に十円未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てた額）とする。
- 五 練習又は準備のために多目的ホールを利用する場合の金額は、この表に定める額の二分の一に相当する額（その額に十円未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てた額）とする。
- 五 飲食サービス、物品販売サービスその他のサービスに必要な場所 一平方メートル（一平方メートル未満の場合は、一平方メートルとする。）当たり一年間につき四〇、三三〇円（その額に十円未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てた額とする。）
- 六 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が利用を認める場所 一平方メートル（一平方メートル未満の場合は、一平方メートルとする。）当たり一年間につき四〇、三三〇円（その額に十円未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てた額とする。）
- 七 センターの附属設備及び備品 一点又は一式につき 四七、一四〇円

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前において、三重県総合文化センター条例第三条第一項に規定する指定管理者から同条例第十八条第二項の規定により利用料金の承認の申請があつた場

合には、知事は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、この条例による改正後の三重県総合文化センター条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

三重県病院事業条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第四十八号

三重県病院事業条例の一部を改正する条例

三重県病院事業条例（昭和四十一年三重県条例第六十号）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後			改 正 前		
別表第一（第二条関係）			別表第一（第二条関係）		
名称及び位置	診療科目	病床数（床）	名称及び位置	診療科目	病床数（床）
（略）	（略）	（略）	（略）	（略）	（略）
三重県立志摩病院（志摩市）	内科、循環器科、外科、脳神経科、精神科、小児科、産婦人科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、精神科、脳神経内科、放射線科	一般病床 二二六 精神病床 一〇〇	三重県立志摩病院（志摩市）	内科、循環器科、外科、脳神経科、精神科、小児科、産婦人科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、精神科、脳神経内科、放射線科	一般病床 二二六 精神病床 一〇〇
別表第二（第十二条関係）			別表第二（第十二条関係）		
区 分	単 位	金 額	区 分	単 位	金 額
一 （略）		（略）	一 （略）		（略）
二 文書料	一通につき	円	二 文書料	一通につき	円
イ 国民年金の受給に係る診断書及びこれに類するもの		四、五〇〇	イ 国民年金の受給に係る診断書及びこれに類するもの		四、四二〇
ロ 生命保険等の請求に		三、九七〇	ロ 生命保険等の請求に		三、九〇〇

(ロ) 医師に	の	複雑なも	の内容がそ	のものでそ	を要する	よる証明	(イ) 医師に	証明書	診断書及び	ト その他の	るもの	これに類す	証明書及び	号)に係る	律第百十一	四十八年法	法律(昭和	等に関する	被害の補償	へ 公害健康	るもの	(ロ) 証明	間が一月	を越える	の	(イ) 証明	間が一月	書	領収証明	証書及び死産	ニ 出生証明	ハ 死亡診断	及び証明書	係る診断書
---------	---	------	-------	-------	------	------	---------	-----	-------	--------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-----	--------	------	------	---	--------	------	---	------	--------	--------	--------	-------	-------

一、七七〇	三、〇三〇	以下で病院事	業の管理者が	定める額	五、九四〇円	加算した額	に二〇〇円を	を越えること	明期間が一月	九三〇円に証	(ロ) 証明	間が一月	を越える	の	(イ) 証明	間が一月	書	領収証明	証書及び死産	ニ 出生証明	ハ 死亡診断	及び証明書	係る診断書
-------	-------	--------	--------	------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	------	------	---	--------	------	---	------	--------	--------	--------	-------	-------

(ロ) 医師に	の	複雑なも	の内容がそ	のものでそ	を要する	よる証明	(イ) 医師に	証明書	診断書及び	ト その他の	るもの	これに類す	証明書及び	号)に係る	律第百十一	四十八年法	法律(昭和	等に関する	被害の補償	へ 公害健康	るもの	(ロ) 証明	間が一月	を越える	の	(イ) 証明	間が一月	書	領収証明	証書及び死産	ニ 出生証明	ハ 死亡診断	及び証明書	係る診断書
---------	---	------	-------	-------	------	------	---------	-----	-------	--------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-----	--------	------	------	---	--------	------	---	------	--------	--------	--------	-------	-------

一、七四〇	二、九八〇	以下で病院事	業の管理者が	定める額	五、八三〇円	加算した額	に二〇〇円を	を越えること	明期間が一月	九二〇円に証	(ロ) 証明	間が一月	を越える	の	(イ) 証明	間が一月	書	領収証明	証書及び死産	ニ 出生証明	ハ 死亡診断	及び証明書	係る診断書
-------	-------	--------	--------	------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	------	------	---	--------	------	---	------	--------	--------	--------	-------	-------

	三 死体検案料	(二) いもの (略) (ハ) 医師に よる証明 を要しな いもの による証明 を要する ものでそ の内容が 簡易なも の	(略) 一、一七〇
	イ 死体検案料	一件につ	九、五三〇
	ロ 死体検案書料	一通につ	三、〇三〇
四	死体処理料	一件につ	七、五三〇円
		き	以下で病院事業の管理者が定める額
五～七	(略)	(略)	(略)
八	人工妊娠中絶料	一件につ	一五五、〇〇〇円以下で病院事業の管理者が定める額
		き	
九	(略)	(略)	(略)
十	新生児介補料	一日につ	四、一九〇円
		き	以下で病院事業の管理者が定める額
十一	乳児介補料	一日につ	六二〇円以下
		き	で病院事業の管理者が定める額
十二	(略)	(略)	(略)
十三	医療相談料	一件につ	一〇、〇〇〇円
		き	以下で病院事業の管理者が定める額

	三 死体検案料	(二) いもの (略) (ハ) 医師に よる証明 を要しな いもの による証明 を要する ものでそ の内容が 簡易なも の	(略) 一、一五〇
	イ 死体検案料	一件につ	九、三六〇
	ロ 死体検案書料	一通につ	二、九八〇
四	死体処理料	一件につ	七、四〇〇円
		き	以下で病院事業の管理者が定める額
五～七	(略)	(略)	(略)
八	人工妊娠中絶料	一件につ	一五三、〇〇〇円以下で病院事業の管理者が定める額
		き	
九	(略)	(略)	(略)
十	新生児介補料	一日につ	四、一一〇円
		き	以下で病院事業の管理者が定める額
十一	乳児介補料	一日につ	六一〇円以下
		き	で病院事業の管理者が定める額
十二	(略)	(略)	(略)
十三	医療相談料	一件につ	一〇、八〇〇円
		き	以下で病院事業の管理者が定める額

十四 生命保険等に係る医師面談料	一件三十分につき	五、五〇〇
十五 (略)	(略)	(略)

別表第三 (第十二条関係)

区 分	単 位	金 額 (円)
一 特別室の使用 イ (略) ロ その他の場合	一日につき	(略)
(イ) S 室		一六、五〇〇
(ロ) A 室		六、六〇〇
(ハ) B 室		五、五〇〇
(ニ) C 室		四、四〇〇
(ホ) D 室		三、三〇〇
(ヘ) E 室		一、七五〇
(ト) F 室		一、二〇〇
(チ) G 室		一、一〇〇
二～四 (略)	(略)	(略)

十四 生命保険等に係る医師面談料	一件三十分につき	五、四〇〇
十五 (略)	(略)	(略)

別表第三 (第十二条関係)

区 分	単 位	金 額 (円)
一 特別室の使用 イ (略) ロ その他の場合	一日につき	(略)
(イ) S 室		一六、二〇〇
(ロ) A 室		六、四八〇
(ハ) B 室		五、四〇〇
(ニ) C 室		四、三二〇
(ホ) D 室		三、二四〇
(ヘ) E 室		一、七〇〇
(ト) F 室		一、一六〇
(チ) G 室		一、〇八〇
二～四 (略)	(略)	(略)

附 則

- この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。
 - 次項の規定 公布の日
 - 別表第一の改正規定 平成三十一年四月一日
 - 別表第二の改正規定及び別表第三の改正規定 平成三十一年十月一日
- 前項第三号に掲げる規定の施行の日前において、三重県病院事業条例第十九条第一項に規定する指定管理者から、同条例第二十九条第二項の規定により読み替えて準用する同条例第十二条第二項及び第三項に規定する利用料金の承認の申請があつた場合には、病院事業の管理者は、当該利用料金の変更の理由が消費税法等の一部改正によるものであるときに限り、前項第三号に掲げる規定による改正後の三重県病院事業条例の規定に基づき利用料金の承認を行うことができる。

三重県水道供給条例の一部を改正する条例をここに公布します。
平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第四十九号

三重県水道供給条例の一部を改正する条例

三重県水道供給条例（昭和四十三年三重県条例第九号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
（料金の算定等） 第五条 給水に係る料金（以下「料金」という。）は、次の各号に定める額の合計額に百分の百十を乗じて得た額とする。 一 〃三 （略） 2 （略）	（料金の算定等） 第五条 給水に係る料金（以下「料金」という。）は、次の各号に定める額の合計額に百分の百八を乗じて得た額とする。 一 〃三 （略） 2 （略）

附 則

- 1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- 2 改正後の第五条の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下この項において「施行日」という。）前から継続している給水であつて、施行日から平成三十一年十月三十一日までの間に同条第一項に規定する料金（以下この項において「料金」という。）の支払を受ける権利が確定されるものに係る料金については、なお従前の例による。

三重県工業用水道条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県条例第五十号

三重県工業用水道条例の一部を改正する条例

三重県工業用水道条例（平成二年三重県条例第六号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>（料金の算定）</p> <p>第二十四条 工業用水の料金（以下「料金」という。）は、次に定める額の合計額に百分の百十を乗じて得た額とする。</p> <p>一 〃三 （略）</p> <p>2 （略）</p>	<p>（料金の算定）</p> <p>第二十四条 工業用水の料金（以下「料金」という。）は、次に定める額の合計額に百分の百八を乗じて得た額とする。</p> <p>一 〃三 （略）</p> <p>2 （略）</p>

附 則

- この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。
- 改正後の第二十四条の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下この項において「施行日」という。）前から継続している給水であつて、施行日から平成三十一年十月三十一日までの間に同条第一項に規定する料金（以下この項において「料金」という。）の支払を受ける権利が確定されるものに係る料金については、なお従前の例による。

三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第五十一号

三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

第一条 三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例（昭和三十一年三重県条例第四十四号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>第九条 （略）</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれ前項の基準日現在（同項後段に規定する者にあつては、任期満了、辞職、失職、死亡等によりその職を離れた日現在）において支給すべき議員報酬月額及び議員報酬月額に百分の四十五を乗じて得た額の合計額に、六月に支給する場合においては百分の百五十七・五、十二月に支給する場合においては百分の百七十七・五を乗じて得た額に、一般職に属する職員の期末手当の支給の例により一定の割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3 （略）</p>	<p>第九条 （略）</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれ前項の基準日現在（同項後段に規定する者にあつては、任期満了、辞職、失職、死亡等によりその職を離れた日現在）において支給すべき議員報酬月額及び議員報酬月額に百分の四十五を乗じて得た額の合計額に、六月に支給する場合においては百分の百五十七・五、十二月に支給する場合においては百分の百七十二・五を乗じて得た額に、一般職に属する職員の期末手当の支給の例により一定の割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3 （略）</p>

第二条 三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>第九条 （略）</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれ前項の基準日現在（同項後段に規定する者にあつては、任期満了、辞職、失職、死亡等によりその職を離れた日現在）において支給すべき議員報酬月額及び議員報酬月額に百分の四十五を乗じて得た額の合計額に、六月に支給する場合においては百分の百六十七・五、十二月に支給する場合においては百分</p>	<p>第九条 （略）</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれ前項の基準日現在（同項後段に規定する者にあつては、任期満了、辞職、失職、死亡等によりその職を離れた日現在）において支給すべき議員報酬月額及び議員報酬月額に百分の四十五を乗じて得た額の合計額に、六月に支給する場合においては百分の百五十七・五、十二月に支給する場合においては百分</p>

<p>の百六十七・五を乗じて得た額に、一般職に属する職員の期末手当の支給の例により一定の割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3 (略)</p>	<p>の百七十七・五を乗じて得た額に、一般職に属する職員の期末手当の支給の例により一定の割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3 (略)</p>
--	--

附 則

(施行期日等)

- この条例は、公布の日から施行する。ただし、第二条の規定は、平成三十一年四月一日から施行する。
 - 第一条の規定による改正後の三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例第九条第二項の規定（次項において「新条例の規定」という。）は、平成三十年十二月の期末手当から適用する。
- ## (期末手当の内払)
- 第一条の規定による改正前の三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例第九条第二項の規定に基づいて平成三十年十二月に支給された期末手当は、新条例の規定による期末手当の内払とみなす。

三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例をここに公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第五十二号

三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例（昭和三十一年三重県条例第四十四号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後	改正前
附 則 1 ～ 9 （略） 10 三重県議会議員の議員報酬の月額、平成三十一年五月一日から平成三十五年四月二十九日までの間において、第二条の規定にかかわらず、同条に掲げる額から当該額に百分の十を乗じて得た額を減じた額とする。ただし、期末手当の額の算出の基礎となる議員報酬の月額は、同条に掲げる額とする。	附 則 1 ～ 9 （略）

附 則

この条例は、平成三十一年四月一日から施行する。

三重県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例をここに
公布します。

平成三十一年三月十八日

三重県知事 鈴木 英 敬

三重県条例第五十三号

三重県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

三重県政務活動費の交付に関する条例（平成十二年三重県条例第四十九号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
附 則 1 ～ 8 （略） 9 平成三十一年五月一日から平成三十五年 四月二十九日までの間に交付する会派に係 る政務活動費の額は、第四条第一項の規定に かかわらず、一月当たり、五万千円に当該会 派の所属議員数を乗じて得た額とする。	附 則 1 ～ 8 （略）

附 則

この条例は、平成三十一年四月一日から施行する。

発行 三 重 県

三重県津市広明町 13 番地
三重県総務部法務・文書課
電話 059-224-2163

三重県公報は三重県ホームページにも掲載しています。 <http://www.pref.mie.lg.jp/>
